

# 保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 <b>Z810DR</b>	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗品は除く) お買い上げの日から1年
お名前	様
お客様	〒 TEL ( )
販売店	店名・住所 上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

## <無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意事項に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
  - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
  - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
  - (ヘ) 本書のご提示がない場合
  - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やリモコン電池・ディスプレイなどの付属品および消耗品の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。  
 ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



# ドライブレコーダー付レーダー探知機 Z810DR

## 取扱説明書

12V車専用 [ダウンロード対応](#)

安定してお使いいただくために、必ず1~2週間に一度、本機でカメラユニット用SDカードのフォーマットを行ってください。(P.13)



このたびは、ユピテル製品のレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、運転に関する多くの情報をドライバーに発信し、安全運転をサポートします。

### ⚠ 注意

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからカメラユニット用SDカードを抜いて保管してください。
- 電源ONの状態ではカメラユニット用SDカードの抜き差しを行わないでください。カメラユニット用SDカード破損の原因となります。必ず、画面が10秒以上消灯したことを確認し、カメラユニット用SDカードの抜き差しを行ってください。

※ 本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」「SDカードアダプター」を「SDカード」と表記しています。

## 確認とご注意

安全上のご注意	5
使用上のご注意	9
もしも事故が起きたら・・・	12
SDカードフォーマットする	13

## 基礎知識

各部の名称と働き	14
1. 付属品	17
2. 別売品	17

### ディスプレイユニット用SDカードの 取り出し / 装着

1. SDカードをディスプレイユニットから取り外す	20
2. SDカードをディスプレイユニットへ装着する	20

### カメラユニット用SDカードの 取り出し / 装着

1. SDカードをカメラユニットから取り外す	21
2. SDカードをカメラユニットへ装着する	21

### 本機について

1. 測位可能な衛星の種類	22
2. GPSの測位機能について	22
3. 受信可能な電波	23
4. 画面の明るさ調節(フレックスディマー)	23
5. トンネル内の警報・警告について	24

### 取締りのミニ知識

1. スピード違反の取締り方法	25
2. 取締りレーダー波について	25
3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合	26
4. ステルス型取締りについて	26

### Active Safety(アクティブ セーフティ) 機能について

1. Start information(スタート インフォメーション)	27
2. レーンキープアシスト	28
3. 前方衝突防止アラート	28

### 録画について

1. 常時録画	29
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録)	30
3. 上書きモードについて	31

### ドライブレコーダー画面について

1. ドライブレコーダー画面	33
2. AS作動時画面	34

## すぐに使う

### 取り付け(コードの接続)

1. コードの接続	35
-----------	----

### ディスプレイユニット取り付け

1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで 取り付ける	36
2. 直付け用両面テープでダッシュボードに 直接取り付ける	39
3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける	40
4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける	41

### カメラユニット取り付け

1. カメラユニットの取り付け	43
-----------------	----

### アンテナユニット取り付け

1. ダッシュボードに取り付ける	44
2. アンテナ用取り付けステーで純正ルーム ミラーに取り付ける	44

### ジャンクションユニット取り付け

1. 車両に取り付ける	45
-------------	----

### 電源コードの配線

1. 電源直結コードによる配線	47
2. OBDIIアダプターによる配線	48

### メンテナンス(ヒューズの交換)

1. 電源直結コード	49
2. OBDIIアダプター	50

### ブレーキ・ウィンカー検出ケーブル接続

1. エレクトロタップの使いかた	51
2. ブレーキ検出ケーブル接続確認方法	51
3. ウィンカー検出ケーブル接続確認方法	52

### わき見・居眠り運転警報器との接続

1. わき見・居眠り運転警報器(EWS-CM1) 使用時の本機の動作	54
---------------------------------------	----

### 初期値について

### 電源ON/OFF

1. 電源ONする	57
2. 電源OFFする	57

### 音量

1. 音量を調節	58
----------	----

## アフターサービス

### ●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

### ●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

### ●修理をご依頼される時

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

### ○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

### ○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

## 1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ  0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ  0120-958-955

●本機は、「レーダー探知機」の製品になります。お問い合わせの際は、ご注意ください。

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。  
<http://www.yupiteru.co.jp/>

<b>ドライブレコーダー設定をする</b> ……	59
1. カメラユニット用SDカードを フォーマットする ……	59
2. ドライブレコーダー画面切り替え方法 ……	59
3. レーンキープアシスト機能と前方衝突 防止アラートの設定を行う ……	59

<b>地図スケール</b> ……	62
1. 地図スケールを変更する ……	62

<b>起動音</b> ……	63
1. 起動音をOFFする ……	63

<b>マイキャンセルエリア</b> ……	64
1. マイキャンセルエリアを登録する ……	64
2. マイキャンセルエリアを解除する ……	64

<b>マイエリア</b> ……	65
1. マイエリアを登録する ……	65
2. マイエリアを解除する ……	65

<b>投稿ピン</b> ……	66
1. 投稿ピンを登録する ……	66
2. 投稿ピンを削除する ……	67

<b>ity.MAPサービス</b> ……	68
1. 今すぐ地図表示サービス(無料)について ……	68
2. 地図閲覧サービス(無料) ……	69
3. ログ機能[特許出願中] ……	69
4. オービス・取締り系& コンテンツデータ更新 ……	72

<b>公開取締り情報</b> ……	73
-------------------	----

## 表示について

<b>画面表示について</b> ……	74
1. 待受画面の変更方法 ……	74
2. 待受画面の説明 ……	75

## 警報について

<b>警報について</b> ……	97
1. 警報画面 ……	97

<b>取締りレーダー波を受信すると</b> ……	99
1. ジングル ……	99
2. Wアラーム(ダブルアラーム) ……	99
3. 後方受信 ……	99
4. オートクワイアット ……	99

5. ミュート機能 ……	99
2. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ) ……	100
3. ステルス波を受信すると ……	100
4. レーダー波3識別(iDSP)について ……	100

## GPSターゲットに接近すると

1. フルマップレーダースコープ ……	101
---------------------	-----

## 警報ボイスについて

1. 左右方向識別ボイス ……	102
-----------------	-----

## 各種無線電波を受信すると

1. 無線14バンド受信機能 ……	107
2. ベストパートナー6識別 ……	109

## カスタマイズ ①

### 設定メニューの表示方法 …… 110

### 待受 …… 111

1. [警報画面]の説明 ……	111
2. [マップ詳細設定]の説明 ……	112
3. [クラシック詳細設定]の説明 ……	114
4. [潮汐情報]の説明 ……	115
5. [グラフ]の説明 ……	116
6. [オート項目]の説明 ……	117
7. [プリセット]の説明 ……	118
8. [フォトフレーム]の説明 ……	119
9. [ベースカラー]の説明 ……	121

### モード …… 122

1. [モード]の説明 ……	122
2. モードの変更方法 ……	122
3. マニュアルモードでのレーダー設定 ……	125
4. マニュアルモードでの無線設定 ……	126
5. マニュアルモードでのGPS設定 ……	127

### 警報 …… 128

### 画面・LED …… 130

### 音声 …… 132

### 投稿 …… 135

### リマインダー …… 139

### システム …… 140

### カスタム …… 141

**OBD** ..... 143

- [OBD]の説明 ..... 143
- 満タンスタート ..... 145
- 満タン補正 ..... 146
- 係数補正 ..... 147

**無線LAN(WLAN)** ..... 148

- [WLAN]の説明 ..... 148
- 接続先設定 ..... 151
- My Yupiteru ..... 152
- Googleカレンダーを設定する ..... 154
- 月間記録をGoogleカレンダーに登録する ..... 157
- 端末からGoogleカレンダー設定をする ..... 158
- ファームを更新する ..... 159

## カスタマイズ ②

**DR (ドライブレコーダー)** ..... 161

- [DR]の説明 ..... 161
- [解像度]を変更する ..... 165
- [Gセンサー感度]を変更する ..... 165

## 再生する

**再生モードの表示・再生方法** ..... 166

- 再生モードを表示する ..... 166
- ディスプレイユニットで録画ファイルを再生する ..... 166
- 再生中の録画ファイルを一時停止する ..... 167
- 録画を再開する ..... 167

**録画ファイルの保護について** ..... 168

- 録画ファイルを保護する ..... 168

**再生モード** ..... 169

**専用ビューアソフトで再生する** ..... 171

- 準備する ..... 171
- 専用ビューアソフトをインストールする ..... 171
- 専用ビューアソフトをバックアップ(コピー)する ..... 173
- 専用ビューアソフトを起動する ..... 174
- 録画ファイルを再生する ..... 174
- 専用ビューアソフトを終了する ..... 174

**専用ビューアソフト** ..... 175

- 専用ビューアソフトの画面について ..... 175
- 専用ビューアソフトをアンインストールする ..... 177

**録画ファイルの読み出しについて** ..... 178

- SDカードを直接パソコンと接続する ..... 179

## その他

**こんなときは** ..... 180

**故障かな?と思ったら** ..... 182

**仕様** ..... 187

**カメラユニット用SDカード対応一覧表** ..... 188

- 録画時間の目安 ..... 188
- イベント記録の最大記録件数 ..... 188

**地図データベースについて** ..... 189

**アフターサービス** ..... 191

- お客様ご相談センター ..... 191

**保証書** ..... 裏表紙

## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

**⚠ 注意**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。

**⚠ 警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

### ● 安全上お守りいただきたいこと

#### ⚠ 警告

**!** 異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。  
そのまま使用すると火災や発火、感電の恐れがあります。

#### <異常な状態の例>

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変なにおいがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。  
☛ P.191「アフターサービス」

**!** 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療機器への影響を医療用機器製造業者や担当医師に御確認下さい。

**!** 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本体を使用される前に医師にご相談下さい。

**!** 本体を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。  
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

#### 絵表示について

**!** 必ず実行していただく「強制」内容です。

**⊘** してはいけない「禁止」内容です。

**⚠** 気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

**⊘** 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色や変形、故障の原因となります。

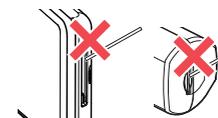
- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、湿度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

**⊘** 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

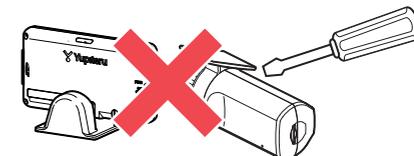
**⊘** 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



**⊘** サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整修理は販売店にご依頼ください。



⊘ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。  
電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。  
爆発や火災の原因となります。

### ⚠ 注意

⊘ 結露したまま使い続けしないでください。  
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。)

⊘ 濡れた手で操作しないでください。  
感電の原因となります。



⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。  
破損、故障の原因となります。

⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。  
誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。  
故障の原因となります。

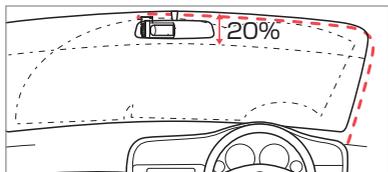
⊘ 本機の近くなどに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。  
故障の原因となります。

⚠ 本体は精密機械です。  
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

### ● 取り付けについて

### ⚠ 警告

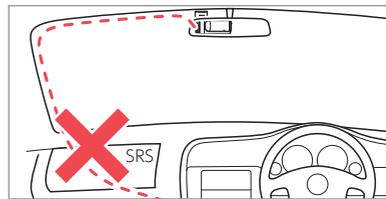
⚠ カメラユニット取付は、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。



⚠ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。  
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。  
粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⊘ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください  
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



### ⚠ 注意

⚠ 取り付けは確実に行ってください。  
また定期的に点検を行ってください。  
本体などの脱着・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠ 突起部分などにご注意ください。  
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

⚠ 接続部は確実に奥まで挿し込んでください。  
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

### ● 電源コードについて

### ⚠ 警告

⚠ 電源コードは確実に挿し込んでください。  
接触不良を起こして火災の原因となります。

⚠ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。  
感電の原因となります。

⚠ 指定以外のヒューズは使用しないでください。  
指定以外のヒューズを使用すると異常加熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと同交換してください。

⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。  
火災や感電、故障の原因となります。またソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。  
故障や感電の原因となります。

### ● OBDIIアダプター (別売品)について

### ⚠ 警告

⚠ OBDIIアダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。  
ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。

⚠ お手入れの際は、OBDIIアダプターを抜いてください。  
感電の原因となります。

### ● SDカードについて

### ⚠ 警告

⚠ SDカードの出し入れは、本機の電源ONになっていないことを確認して行ってください。

⚠ SDカードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。  
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

## ● 本機の操作・運転について

## ⚠ 警告

## ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やケガの原因となります。

## ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

## ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害を被る恐れがあります。

## ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

## ❌ 海外ではご使用にならないでください。本機は日本国内仕様です。

## ● お手入れについて

## ⚠ 警告

## ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、軟らかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

## ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた軟らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

## ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



## ● その他

## ⚠ 警告

## ❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源OFFしてください。バッテリー上がりの原因となります。

## 使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

## ■ 取り付けに関する注意

- ・GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉によりGPS衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・本機の周囲に他のものを配置しないでください。フロントガラスに映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを照度センサ+衛星情報にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定をGPSにしてご使用ください。
- ・カメラユニットは取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。

## ■ 電源直結コードに関する場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

## ■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面右下の時計表示は、GPS非測位中と電源ON直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

## ■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・フロントガラスをメタリックフィルムなどで着色している場合、GPS を測位できない場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報でできませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

## ■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんのであらかじめご了承ください。

## ■ 無線 14 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声聞くことができる更新音声受信機能（復調）を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容がわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、更新内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は、はたらきません。

## ■ ディスプレイユニットに関する注意

- ・液晶ディスプレイを強く押ししたり、衝撃を与えないでください。ディスプレイユニットの故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶パネルの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ディスプレイユニットを金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・液晶パネルは非常に高密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

## ■ SD カードに関する注意

- ・SD カードリーダーライターは、使用のSD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
- ・SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・カメラユニット用SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・カメラユニット用SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSD カードエラーになり使用できない場合があります。
- ・カメラユニット用SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・重要な記録データは、パソコンに保存やDVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

## ■ 録画に関する注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・Active Safety 機能を正常に機能させたり、映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録（手動録画）するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のような取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
  - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
  - ※ 長期間使用しなかった場合。
  - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

## ■ OBDII アダプター（別売品）で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッション OFF してから本機の電源 OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBDII アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBDII コネクターへ本機の OBDII アダプターを挿し込んでください。

## ■ 撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

## ■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

## ■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げから 1 年間の保証がついています。（ただし、電源コード、microSD カードならびに、消耗品は保証の対象となりません。）

本機は安全運転を促進するものです。本機を取り付けての違法行為（スピード違反など）に関し、当社では補償いたしかねます。

## もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずカメラユニット用SDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

### SDカードの保管

#### 1 イベント記録アイコンが表示されていないことを確認する

イベント記録アイコン



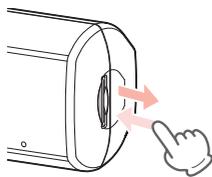
- ※ イベント記録アイコン表示中に電源OFFした場合は、見えないファイルや、壊れた状態のファイルとなる場合があります。その場合、再度電源ONすると修復されず。詳細は P.30を参照ください。
- ※ 電源OFFしたときに、他のSDカードに入れ替えないでください。修復ができなくなる場合があります。

#### 2 車両のエンジンをOFFする

エンジンOFF後、画面が10秒間以上消灯してことを確認してください。

#### 3 カメラユニット用SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

※ SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。



#### 4 カメラユニット用SDカードを保管する

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており、下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

※ 事故発生時の参考資料として使用することができません。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断られた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。



・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

## SDカードフォーマットする

必ず1～2週間に一度、本機でカメラユニット用SDカードのフォーマットを行ってください。定期的にSDカードメンテ初期化しないと、エラーの原因になります。

※ SDカードフォーマットを行うと、「保護したファイル」および「ビューアソフト」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからSDカードフォーマットを行ってください。

### SDカードフォーマットの手順

#### 1 車両のエンジンをONする

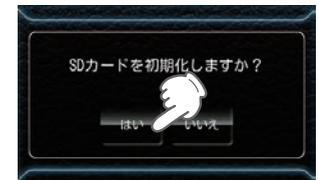
#### 5 [SD初期化]にタッチする



#### 2 待受画面にタッチする



#### 6 [はい]にタッチする



SDカードフォーマットが完了すると前の画面に戻ります

#### 3 [設定TOP]にタッチする



#### 4 [DR]にタッチする

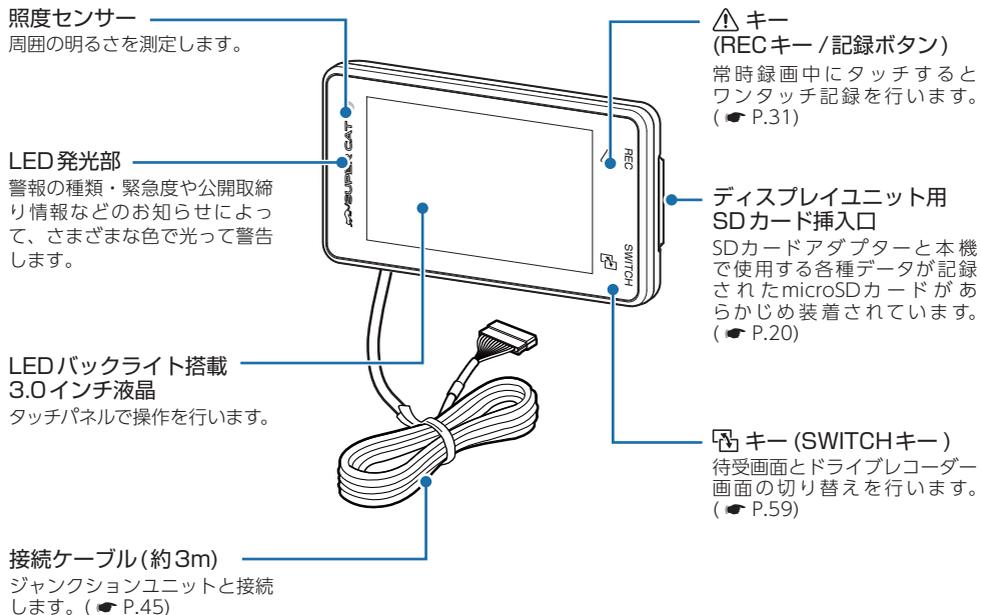


※ 常時録画中に[DR]にタッチすると録画が停止します。

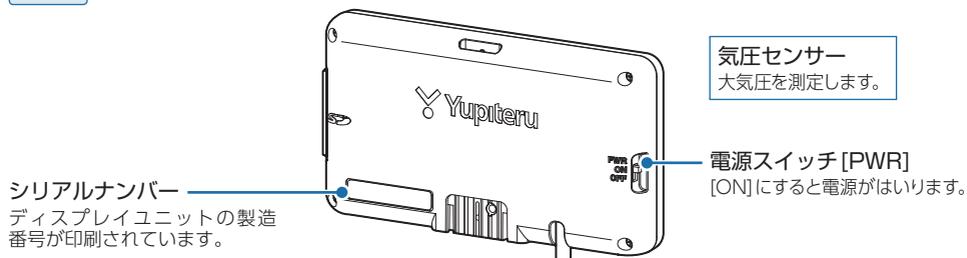
## 各部の名称と働き

### ■ ディスプレイユニット

#### 正面

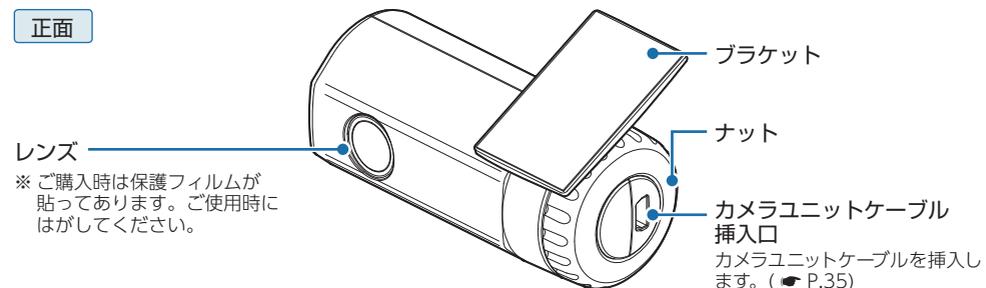


#### 背面

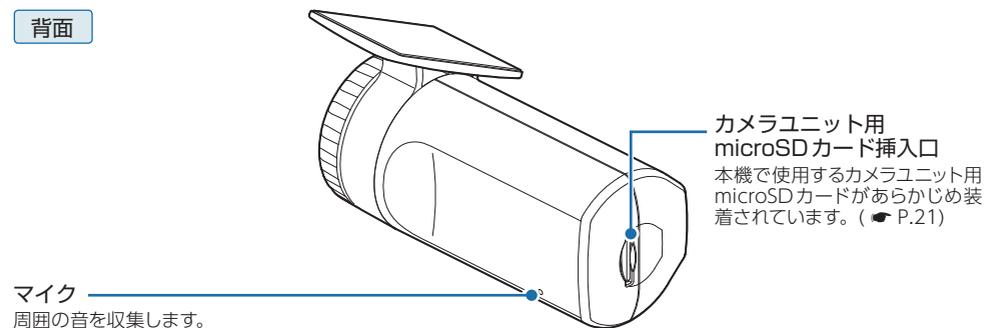


### ■ カメラユニット

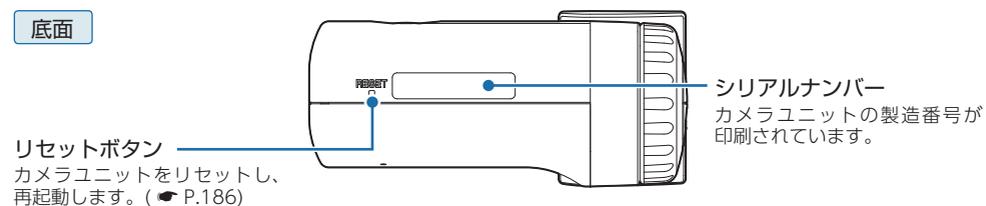
#### 正面



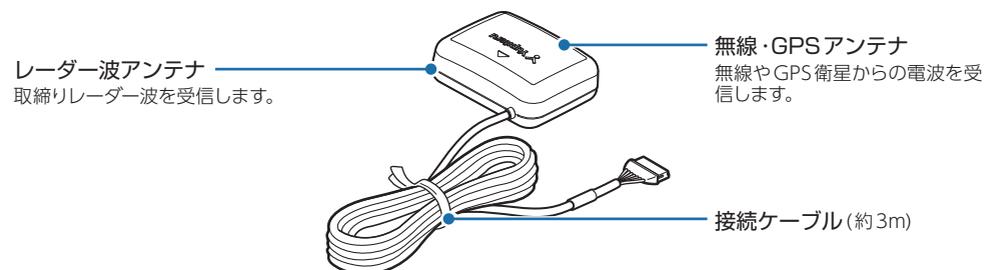
#### 背面



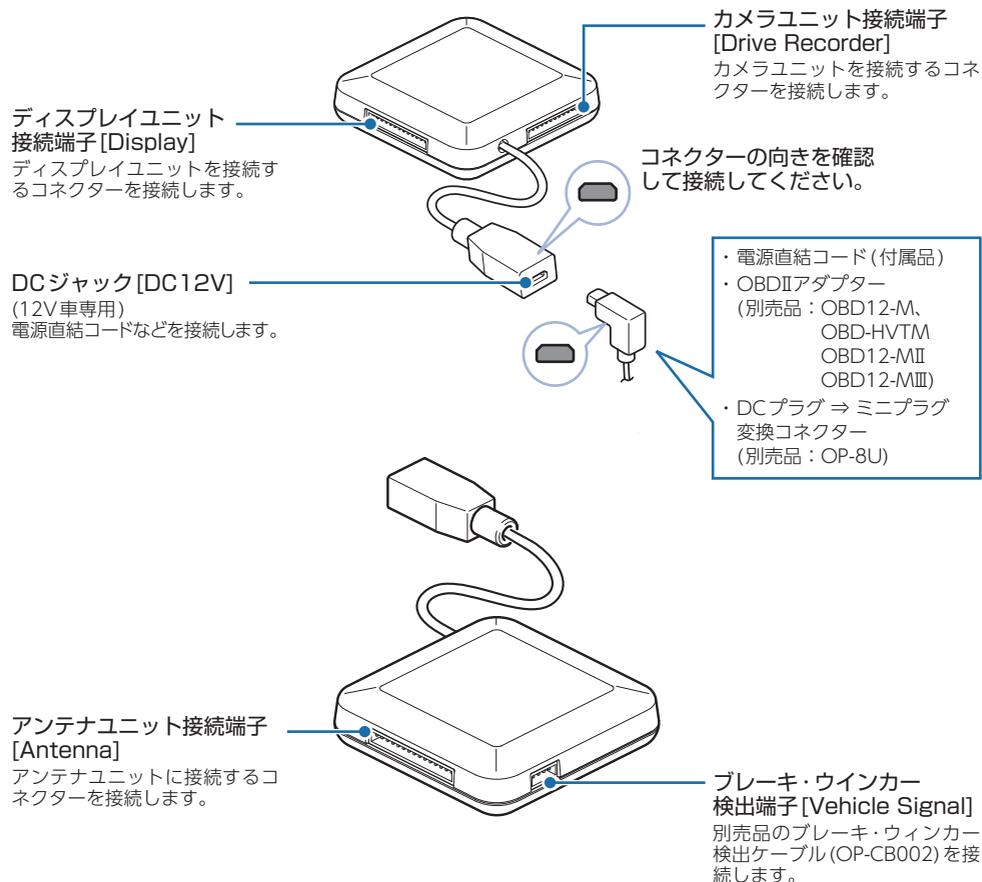
#### 底面



### ■ アンテナユニット



## ■ ジャンクションユニット



### ⚠ 警告

❗ ジャンクションユニットのDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

## 1. 付属品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

- ダッシュボード取り付け用  
ブラケット …………… 1
- 電源直結コード (ストレートミニプラグ  
DC12V出力 3m) …………… 1
- カメラユニットケーブル (約 3m) …… 1
- ダッシュボード取り付けステー …… 1
- 宙吊り取り付けステー  
(ディスプレイユニット用) …………… 1
- アンテナ用取り付けステー …………… 1
- ディスプレイユニット用SDカード
  - ・SDカードアダプター …………… 1
  - ・microSDカード …………… 1
  - ※ディスプレイユニットにあらかじめ装着されています。
- カメラユニット用SDカード
  - ・microSDカード (8GB) …………… 1
  - ※カメラユニットにあらかじめ装着されています。
- 専用ビューアソフト …………… 1
  - ※付属品のカメラユニット用SDカード内に収納されています。
- 粘着シート …………… 1
- 粘着マット …………… 1
- ディスプレイユニット用両面テープ… 2
- アンテナ・ジャンクションユニット用  
両面テープ …………… 2
- カメラユニット用両面テープ………… 1
- 取扱説明書・保証書 (本書) …………… 1

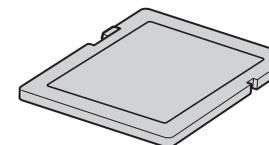
## 2. 別売品

- 無線LAN機能付SDカード OP-WLSD16  
本体 7,000円+税

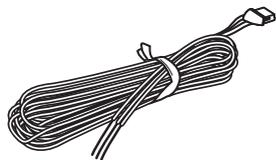
無線LAN機能が付いたディスプレイユニット用SDカードです。

データ自動更新機能が付いており、無料の公開取崩り情報やオービス・取締り系&コンテンツデータ\*を更新できます。

\*更新にはity.クラブへのご入会が必要となります。



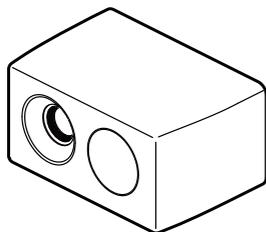
- ブレーキ・ウィンカー検出ケーブル OP-CB002 本体3,000円+税  
ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルを接続することによりアクティブセーフティ機能の動作を抑制し不要な警報を減らすことができます。



- わき見・居眠り運転警報器 EWS-CM1 本体 オープン価格

取り付け台座	1
シガープラグコード	1
両面テープ	2
粘着マット	1
粘着シート	1

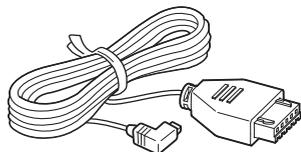
ハンドルコラムなどに設置した本体(カメラ)で撮影した映像を画像処理し、顔の角度とまぶたの開閉を検出します。オプションアダプター(OP-ADP20)で本機(レーダー探知機)と接続すると、本機にて表示します。



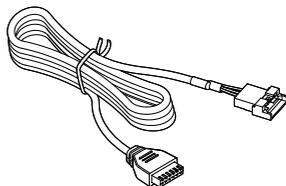
**わき見・居眠り運転警報器接続時に必要なもの**

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1)   | 1 |
| オプションアダプター (OP-ADP20)    | 1 |
| シガープラグコード (OP-ADP20 付属品) | 1 |
| 通信ケーブル (OP-CB12)         | 1 |
| 通信ケーブル (OP-CB100)        | 1 |

- 通信ケーブル(約4m) OP-CB12 本体2,000円+税  
本機とオプションアダプター (ADP-20) を接続します。



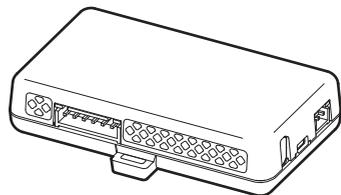
- 接続ケーブル(約2m) OP-CB100 本体2,500円+税  
わき見運転検知カメラ (EWS-CM1) とオプションアダプター (OP-ADP20) を接続します。



- オプションアダプター OP-ADP20 本体 14,500円+税

シガープラグコード (約1.5m)	1
両面テープ	1
タイラップ	2

別売品のわき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) を接続するためのアダプターです。OBDIIアダプターと同時に使用でき、OBD情報の表示もできます。

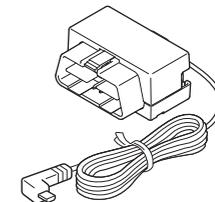


- DCプラグ⇒ミニプラグ変換コネクター OP-8U 本体800円+税  
DCプラグをミニプラグに変換するコネクターです。弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存の配線を使用できます。



- OBDIIアダプター

  - OBD12-MⅢ (約4m) 本体6,000円+税  
国産8社に対応(トヨタ(ハイブリッド車含む)日産、ホンダ、三菱、ダイハツ、スバル、マツダ、スズキ)
  - OBD-HVTM (約4m) 本体8,000円+税  
トヨタハイブリッド車専用  
・アクティブ機能対応 (車速感応ドアロック、エマージェンシーシグナル)



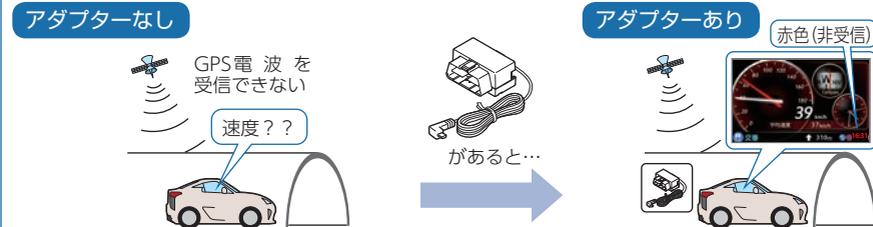
電源直結コードの代わりに本機への電源供給を行うと同時に、OBDIIコネクターから車両に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD-HVTM、OBD12-MのOBDIIアダプターに対応しています。

本書では、個別の機種名を表記せず、OBDIIアダプターと表記します。

- ※ OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡのみウィンカー/ブレーキ検出に対応します。
- ※ 対応車種については店頭もしくは、弊社ホームページOBDIIアダプター適応表にてご確認ください。
- ※ 対応車種でも取り付けを推奨していない自動車メーカーもあり、お客様のご判断で取り付けを行ってください。
- ※ ディーラーに入庫する際は、OBDIIアダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

トンネル内などGPS電波を受信できない場所では…



**注意**

- ! OBDIIアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認ください。
- ! OBDIIアダプターには、対応車種が指定されています。販売店の店頭や弊社ホームページでOBDIIアダプター適応表をご確認いただいでからお求めください。

## ディスプレイユニット用SDカードの取り出し / 装着

付属品のディスプレイユニット用SDカードには、本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO (リアルフォト)」(● P.97)や警報画面(● P.97)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

### ⚠ 重要

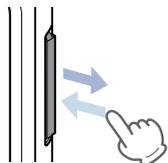
- ・ディスプレイユニット用SDカードをパソコンなどでフォーマットしないでください。
  - ・ディスプレイユニット用SDカードはディスプレイユニット専用でお使いください。カメラユニットでは絶対に使用しないでください。
- ※ 誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社お客様相談センター (0120-998-036) にご相談ください。

### 1. SDカードをディスプレイユニットから取り外す

#### 1-1 車両のエンジンをOFFする

エンジンOFF後、画面が10秒以上消灯したことを確認してください。

#### 1-2 ディスプレイユニット用SDカードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜く



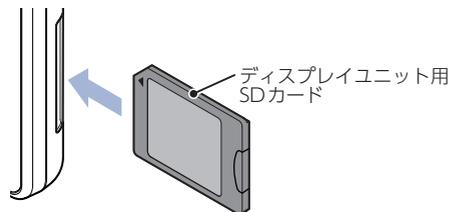
- ※ microSDカードは、必ずSDカードアダプターと一緒に取り出してください。
- ※ microSDカードが装着されたSDカードアダプターは、SDカードとして使えます。

### 2. SDカードをディスプレイユニットへ装着する

#### 2-1 車両のエンジンをOFFする

エンジンOFF後、画面が10秒以上消灯したことを確認してください。

#### 2-2 ディスプレイユニット用SDカードを挿入する



- ※ SDカードアダプターを挿入するときは、microSDカードが装着された状態で行ってください。
- ※ SDカードアダプターは一方方向にしか入りません。図のように挿入してください。無理に押し込むと、ディスプレイユニットやSDカードアダプターが壊れることがあります。

SDカード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

## カメラユニット用SDカードの取り出し / 装着

付属品のカメラユニット用SDカードには、専用ビューアソフトが収納されています。

- ※ カメラユニットと付属品以外のSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
- ※ カメラユニット用SDカードは、8GB以上、32GB以下のSDHCカードに対応しています。(SDスピードクラス「Class 10以上」)

### ⚠ 注意

- ・電源OFF、画面が10秒以上消灯したのを確認してから行ってください。
- ! SDカードは一方方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

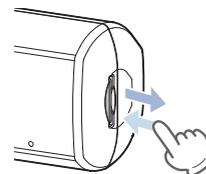
### 1. SDカードをカメラユニットから取り外す

#### 1-1 車両のエンジンをOFFする

エンジンOFF後、画面が10秒以上消灯したことを確認してください。

※ エンジンOFFにしてからも、しばらくカメラユニット用SDカードにデータの書き込みが行われています。

#### 1-2 カメラユニット用SDカードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜く



- ※ カメラユニット用SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。カメラユニット用SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

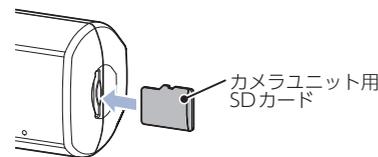
### 2. SDカードをカメラユニットへ装着する

#### 2-1 車両のエンジンをOFFする

エンジンOFF後、画面が10秒以上消灯したことを確認してください。

※ エンジンOFFにしてからも、しばらくカメラユニット用SDカードにデータの書き込みが行われています。

#### 2-2 カメラユニット用SDカードを挿入する



SDカード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

## 本機について

本書では、特にことわりのない場合、「GPS」「みちびき」「グロナス」「ひまわり」「GAGAN」「GALILEO」を総称して「GPS」と表記しています。

### 1. 測位可能な衛星の種類

本機では、最大70基の衛星を受信することができます。

#### ■ GPS(Global Positioning System)

衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測位するシステムです。

#### ■ 準天頂衛星「みちびき」

「みちびき」からの信号を受信することにより、GPSのみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、より正確な測位をします。

#### ■ グロナス(Global Navigation Satellite System)

ロシアの衛星を利用し、地上での現在位置を計算するシステムです。

#### ■ 運輸多目的衛星「ひまわり」

航空管制としての機能と気象観測の2つの機能を持つ静止衛星です。「ひまわり」からの信号を受信することにより、GPSの誤差を補正し、測位精度を向上します。

#### ■ GAGAN(GPS Aided GEO Augmented Navigation)

インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

#### ■ GALILEO(Global Navigation Satellite System)

EU(ヨーロッパ連合)の全地球広報衛星システムです。

### 2. GPSの測位機能について

GPSを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54識別]

#### ■ マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのがずれを補正します。

※トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらきます。

※新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。

※状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。



- ジャイロセンサー&Gセンサー&気圧センサー&照度センサー  
ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。  
Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。  
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。  
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。



#### ■ クイック測位

前回電源OFFした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置を素早く測位することができます。



#### ■ OBDII車速検知(※別売品のOBDIIアダプターで接続)

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

<マップマッチングシステム>、<気圧センサー&Gセンサー&ジャイロセンサー>、別売品のOBDIIアダプターを接続することによる<OBDII車速検知>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能です。

※次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源OFFしてから6日間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源OFFした時と、次に電源ONした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源ONした場合。

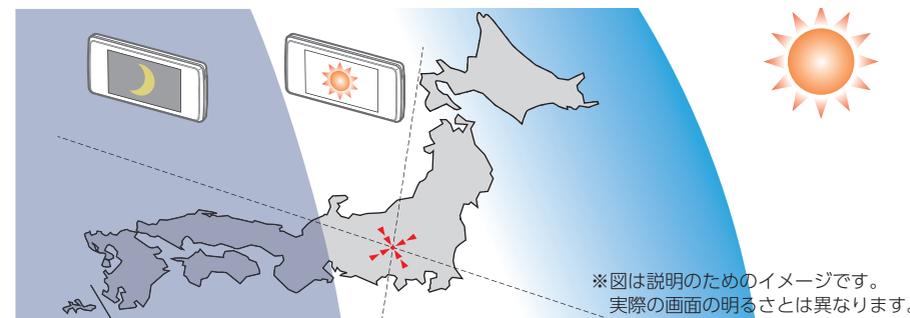
### 3. 受信可能な電波

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \begin{matrix} \text{Xバンド} \\ \text{Kバンド} \end{matrix} + \text{無線14バンド} = \text{17 BAND}$$

### 4. 画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーにより、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。



## 5. トンネル内の警報・警告について

Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締りエリアをお知らせします。さらに別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、OBD II車速検知により高精度な警報を行います。



OBD IIアダプターで接続するとGPS受信できなくても速度情報を得ることができます。  
非受信(赤色)

### トンネル内オービス3段階警報



トンネル内のオービスから約2km(高速道のみ)/1km/500m手前の最大3段階でお知らせします。

### トンネル内追尾式取締エリア警告



トンネル内の追尾取締エリア登録ポイントから約1km手前と、エリアに入った時にお知らせします。

### トンネル出口直後速度式取締エリア警告



トンネル出口直後の速度取締エリア登録ポイントから約1km手前と、エリアに入った時にお知らせします。

## 取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

### 1. スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

#### ■ レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

#### ■ 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※ この方式は取締りレーダー波を発射しません。GPSターゲットとして登録した場合のみ、警報できます。

#### ■ 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。

※ 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知できません。



### 2. 取締りレーダー波について

大きく分けて3つの方法があります。

#### ■ 定置式

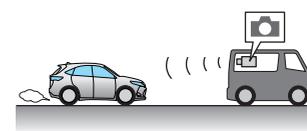
人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

#### ■ 自動速度取締り機(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

#### ■ 移動式

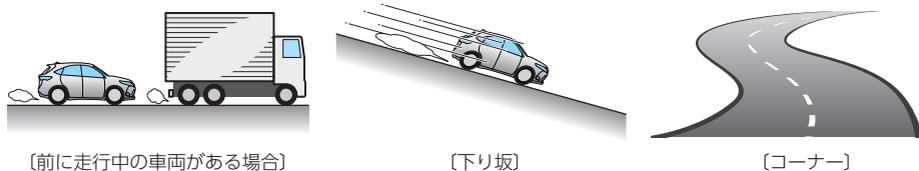
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



### 3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- ・対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ちな取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ・前に走行している車両(特に大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。



### 4. ステルス型取締りについて

事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要ときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

## Active Safety(アクティブ セーフティ)機能について

Active Safety機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的としています。

- ※ 解像度が「1080P HD(HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効になります。(P.161)
- ※ Active Safety機能の警告音と画面表示は、録画時(待受画面OFF時も含めた録画中と録画停止中)に、Active Safety機能作動時から数秒間お知らせします。
- ※ Active Safety機能の警告音と画面表示は、再生モード時、設定メニュー時やマナーモード時は、お知らせを行いません。
- ※ Active Safety機能の画面表示は、録画ファイルには録画されません。警告音は、「音声録音:ON」設定時に音声として録画ファイルに録音されます。

#### ⚠ 注意

- ・Active Safety機能を過信しないでください。あらゆる走行状態を判断してお知らせすることはできません。運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- ・運転時は、先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。

### 1. Start information(スタート インフォメーション)

信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示と警告音でお知らせします。

※ 設定でStart informationのON/OFFを変更できます。(P.163: 初期値: OFF)

・信号待ちなどで、先行車の後ろで自車が停止した状態



・先行車が発進し、自車が停止している状態



パネル表示、メッセージウィンドウと警告音でお知らせ「ピンポーン」という警告音が3回鳴り、下のパネルを表示します。



- ※ マップ表示以外の場合メッセージウィンドウのみでお知らせします。
- ※ 音量OFFの場合は、警告音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

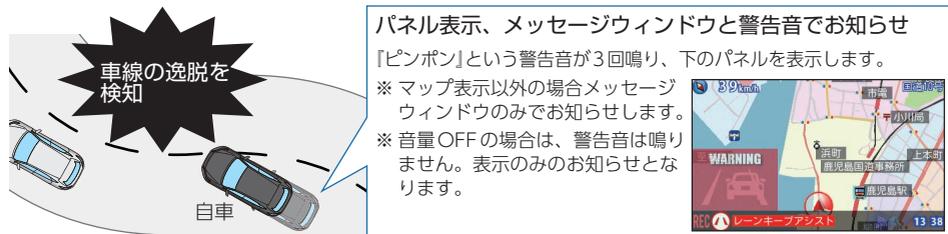
- ・先行車との距離や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ※ 前方の車両を認識してお知らせを行います。先行車を認識できない位置にカメラユニットを取り付けると、うまく働かない場合があります。

## 2. レーンキープアシスト

走行中に自車の車線逸脱(走行車線からはみ出し)を検知すると、表示と警告音でお知らせします。

※ 設定でレーンキープアシストのON/OFFを変更できます。(● P.163:初期値:OFF)

※ レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。(● P.59)



- ・ 作動する車両速度を設定できます。(● P.163[AS設定])
- ・ GPSを測位した状態で機能します。GPS測位ができない場合は機能しません。
- ・ 車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。  
※ 白色または黄色の直線や破線以外の形状の車線は認識できない場合があります。  
※ 積雪などで車線を検知できない場合は機能しません。
- ・ 別売品のブレーキ・ウィンカー検出ケーブル(OP-CB002)または、OBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ)を接続することでウィンカー操作した事を認識し、不要な警告を行いません。(● P.163[AS設定])  
※ 車種によってはOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ)を接続しても外部入力ウィンカーを設定できない場合がありますので弊社ホームページより、レーダー探知機用OBDIIアダプター適応表を確認してください。

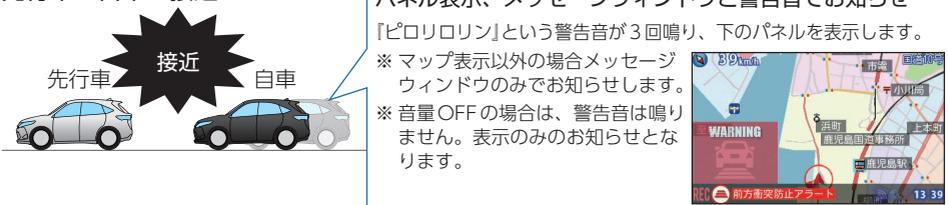
## 3. 前方衝突防止アラート

走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示と警告音でお知らせします。

※ 設定で前方衝突防止アラートのON/OFFを変更できます。(● P.163:初期値:OFF)

※ 前方衝突防止アラートを使用する場合、設定が必要です。(● P.59)

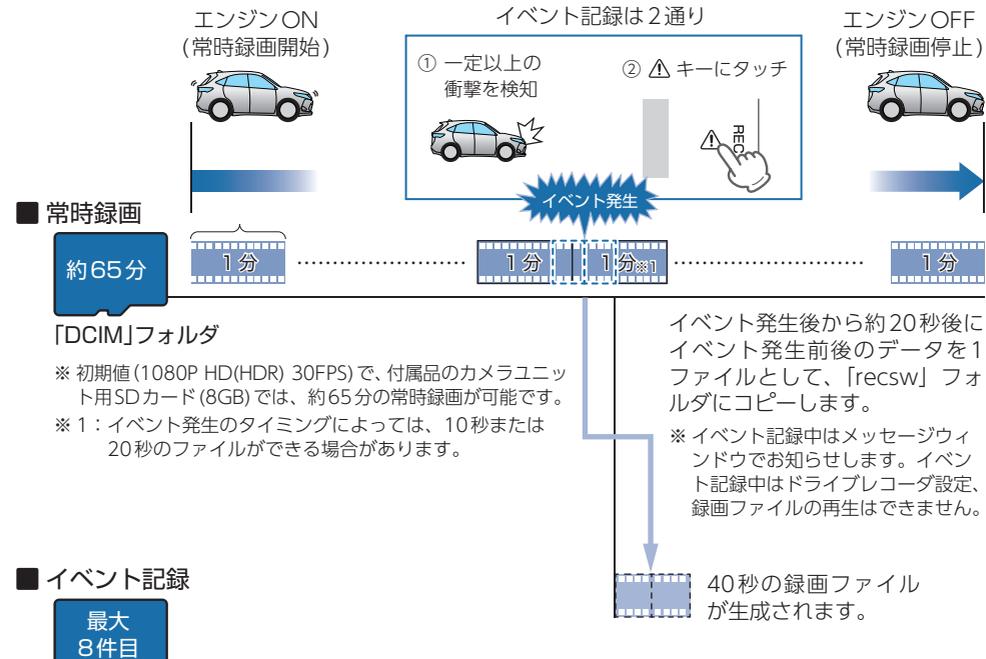
### ・ 先行車と自車が接近



- ・ 作動する車両速度を設定できます。(● P.163[AS設定])  
※ GPSを測位した状態で機能します。GPS測位ができない場合は機能しません。
- ・ 車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 車線変更時は、先行車を検知しないため、先行車と接近しすぎた場合でも、前方衝突アラートは働きません。
- ・ 別売品のブレーキ・ウィンカー検出ケーブル(OP-CB002)または、OBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ)を接続することでブレーキ操作した事を認識し、不要な警告を行いません。(● P.163[AS設定])  
※ 車種によってはOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ)を接続しても外部入力ブレーキを設定できない場合がありますので弊社ホームページより、レーダー探知機用OBDIIアダプター適応表を確認してください。

## 録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



### ■ 常時録画

約65分

### 「DCIM」フォルダ

※ 初期値(1080P HD(HDR) 30FPS)で、付属品のカメラユニット用SDカード(8GB)では、約65分の常時録画が可能です。

※ 1: イベント発生タイミングによっては、10秒または20秒のファイルができる場合があります。

### ■ イベント記録

最大  
8件目

### 「recsw」フォルダ…イベント記録

※ 付属品のカメラユニット用SDカード(8GB)では、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて8件のイベント記録が可能です。

## 1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像をカメラユニット用SDカードに常時録画します。

※ 「自動録画」の設定で、ON/OFFが可能です。(● P.163[自動録画])

### ・ 録画ファイル構成

1ファイルあたり約1分で生成します。

### ・ 録画可能時間

初期値(1080P HD(HDR) 30FPS)で、付属品のカメラユニット用SDカード(8GB)に約65分の常時録画が可能です。カメラユニット用SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(● P.188 [録画時間の目安])

### ・ 上書きモード

初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、65分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.31 [上書きモードについて])

## 2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、メッセージウィンドウにイベント記録アイコンを表示し、マップ画面上にイベント記録が行われた場所をアイコンで表示します。

- ※ マップ画面上の表示はON/OFF切替が可能です。(☛ P.161「イベント地点登録」)  
また、マップ画面上からイベント地点(アイコン)を消去することも可能です。(☛ P.140「データ消去 3/5」→「DRイベント」)
- ※ イベント記録アイコン表示中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合がありますが、再度電源ONすると修復されます。
- ※ 電源OFFしたときに、他のSDカードに入れ替えしないでください。修復ができなくなる可能性があります。

### ・録画ファイル構成

1ファイルあたり約40秒(イベント発生前20秒とイベント発生後20秒)で生成します。

### ・最大記録件数

付属品のカメラユニット用SDカード(8GB)に、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて8件のイベント記録が可能です。カメラユニット用SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.188「イベント記録の最大記録件数」)

### ・上書きモード

初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、記録件数が8件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.31「上書きモードについて」)

## Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、1ファイル単位の映像をカメラユニット用SDカードの「recsw」フォルダにコピーします。

※ 初期値では「Gセンサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。(☛ P.163「Gセンサー記録」)

### ・Gセンサー感度

Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.5G」となります。(☛ P.163「Gセンサー感度」)

一定以上の衝撃を検知



イベント記録アイコン

Gセンサー記録が行われた場所に アイコンを表示します。

## ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に キーにタッチすると、1ファイル単位の映像をカメラユニット用SDカードの「recsw」フォルダにコピーします。



イベント記録アイコン

ワンタッチ記録が行われた場所に アイコンを表示します。

### ⚠ 注意

ワンタッチ記録をするとき、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

## 3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.164「上書きモード」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 (初期値)	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※1：保護したファイル(☛ P.168「録画ファイルの保護について」)は、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(☛ P.13「SDカードフォーマットの手順」)

## 上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画がカメラユニット用SDカード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録も記録件数にかかわらず記録を停止します。

※ イベント記録は、常時録画をコピーした録画ファイルです。

### 常時録画



※ 録画可能時間はカメラユニット用SDカードの容量により異なります。

### イベント記録



※ イベント記録件数はカメラユニット用SDカードの容量により異なります。

### 常時録画上書き※1

常時録画は、カメラユニット用SDカード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。

### イベント記録



※ イベント記録件数はカメラユニット用SDカードの容量により異なります。

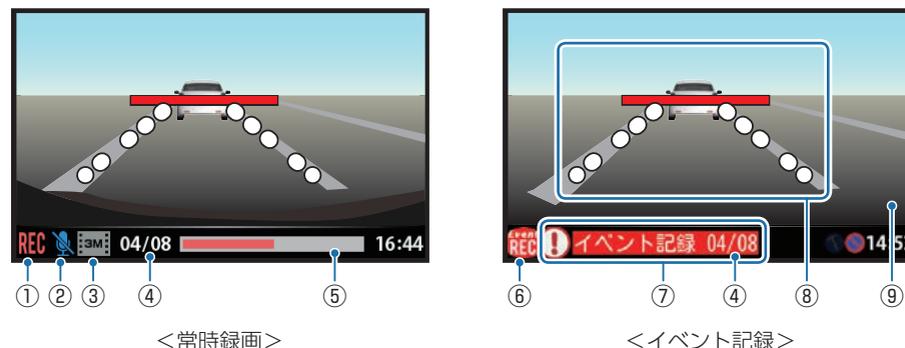
### 全て上書き(初期値)※1

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※ 1：保護したファイル( P.168「録画ファイルの保護について」)は、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、カメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。( P.13「SDカードフォーマットの手順」)  
 ※ 2：警告音は警告表示の開始時に数秒間鳴ります。音量を[0]もしくはマナーモードに設定している場合は、警告音は鳴りません。

## ドライブレコーダー画面について

### 1. ドライブレコーダー画面



No.	表示名	説明
①	録画アイコン	常時録画中に表示します。
②	音声録音アイコン	音声録音設定のON / OFFを表示します。*1
③	解像度アイコン	録画解像度を表示します。*1
④	イベント記録件数	現在のイベント記録件数 / 最大記録件数を表示します。*1
⑤	録画可能容量	常時録画の録画可能容量を表示します。*1 ※ 上書き禁止設定時のみ表示します。
⑥	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。 ※ イベント記録ファイル生成後 ① の録画アイコンに戻ります。
⑦	イベント表示	イベント発生後、イベントの種類を約5秒間表示します。 ・Gセンサー記録……「イベント記録」 ・ワンタッチ記録……「ワンタッチ記録」
⑧	AS設定ライン	ASラインを表示します。 ※ 「レーンキープアシスト」と「前方衝突アラート」がどちらもOFFの場合は表示しません。 ※ AS設定ラインは、録画ファイルには録画されません。
⑨	ファインダー	カメラのファインダーです。

※ 1：約3秒間表示します。

## 2. AS作動時画面

AS(Active Safety)が作動すると待受画面(マップ表示)にパネルとメッセージウィンドウにアイコンとASの種類を表示し、お知らせします。

※ 設定を行わずに使用すると、うまく働かない場合があります。

※ パネル表示は、マップ表示時のみ画面表示されます。

※ AS機能は録画時(待受画面OFF時も含めた録画中と録画停止中)にお知らせを行います。再生モード時、設定メニュー時やマナーモード時は、お知らせを行いません。



<スタートインフォメーション>



<レーンキープアシスト>



<前方衝突防止アラート>

アイコンの種類	説明
(スタートインフォメーション)	スタートインフォメーションが作動したとき表示されます。(メッセージウィンドウ上のみ)
(レーンキープアシスト)	レーンキープアシストが作動したとき表示されます。(メッセージウィンドウ上のみ)
(前方衝突防止アラート)	前方衝突アラートが作動したとき表示されます。(メッセージウィンドウ上のみ)

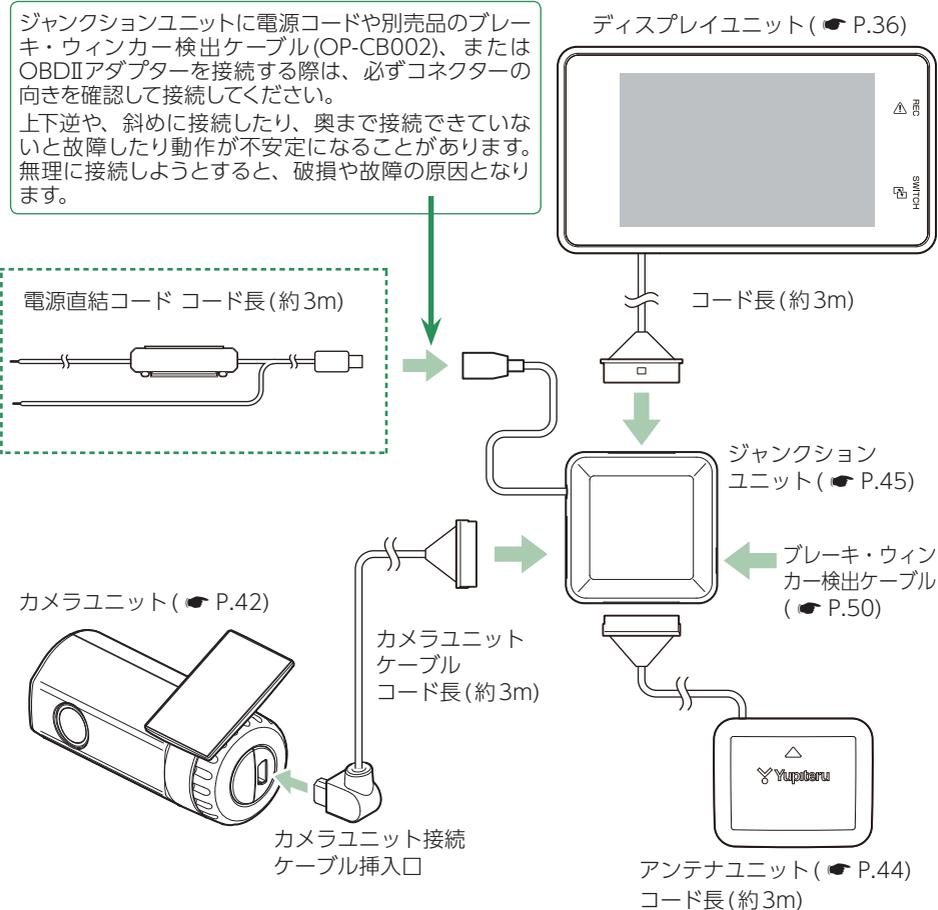
## 取り付け(コードの接続)

### ⚠ 注意

- 接続は確実に行ってください。外れたコードが運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。コードの接続または、取り外しをする場合は、電源直結コードを取り外した状態で行ってください。
- 別機種のディスプレイユニット、アンテナユニットなどは絶対に使用しないでください。必ず付属品をご使用ください。

### 1. コードの接続

- 下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- 電源直結コードのグランド側は、グランドアースに接続してください。
- 必要に応じて市販品のコードクリップなどでコードを固定してください。
- 各ユニット取付方法は P.36 ~ 45 を参照ください。



## ディスプレイユニット取り付け

本機を使用する手順として「ディスプレイユニットを取り付ける」「カメラユニットを取り付ける」「アンテナユニットを取り付ける」「ジャンクションユニットを取り付ける」「電源コードの配線」の手順に従って説明します。

まずディスプレイユニットを取り付けます。下記の4通りの取り付け方法があります。

- 『1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける』
- 『2. 直付け用両面テープで取り付ける』( ● P.39)
- 『3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける』( ● P.40)
- 『4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける』( ● P.41)

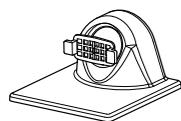
いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

### ⚠ 注意

- ・取り付けにより、車両に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。ディスプレイユニットやダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・両面テープの貼り直しは、しないでください。粘着力が弱くなり、ディスプレイユニットをしっかり固定できなくなります。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。

## 1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



### ダッシュボード取り付け用ブラケット

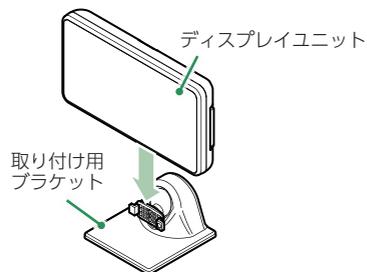
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。  
[特許 第6078725号]



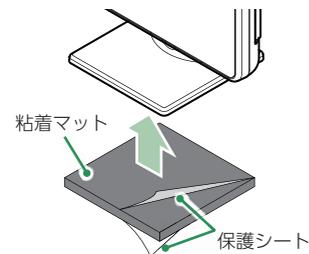
### 粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

## 1-1 ディ스플레이ユニットの溝をブラケットに合わせ取り付ける

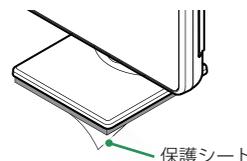


## 1-2 保護シートを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける

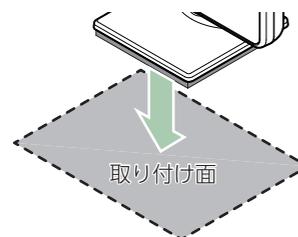


- ・粘着マットは水洗いできます。ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

## 1-3 残りの保護シートをはがす

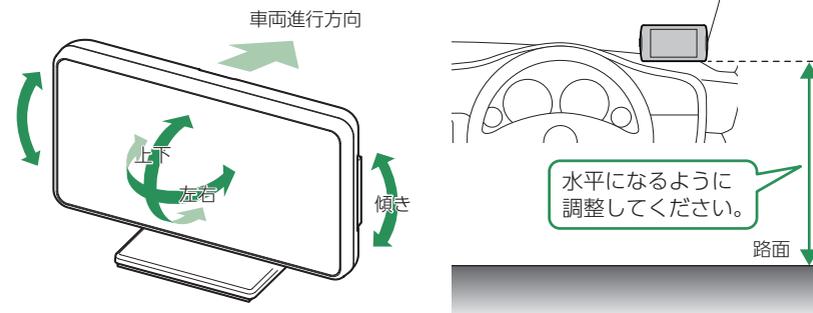


## 1-4 ダッシュボードの取り付け面に取り付ける



※ ディ스플레이ユニットを破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます。

## 1-5 ディ스플레이ユニットの背面が車両進行方向を向き、画面が見やすいように調整する

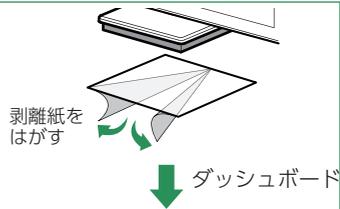


※ ディ스플레이ユニット背面が車両進行方向に向いていないと、Gセンサーやジャイロセンサーが正常に作動しません。

- ・調整ができない場合は…  
● P.38「ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整」

### 粘着シート[特許 第5958927号]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、付属品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用して取り付けてください。



### 警告

取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気を付けて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。

### ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180°変えることで、ディスプレイユニットの取り付け高さを抑えることができます。

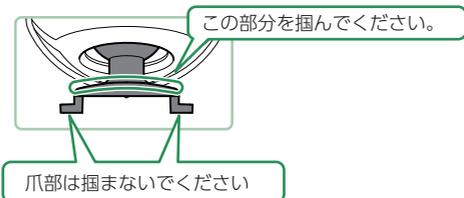
アームの向きを変えると、ディスプレイユニットを起こす角度は広がりますが、左右の調整角度は狭くなります。取り付け面の角度に応じて調整してください。



### アーム部取り外し

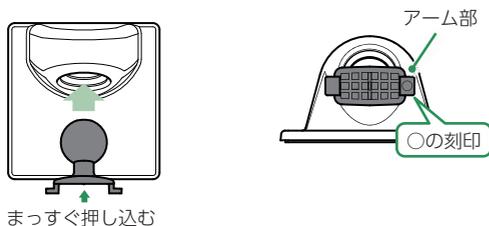
アーム部ツバの部分に布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部をつかむと爪が折れる場合があります。

※必ず布などのやわらかいもので保護してください。



### アーム部取り付け

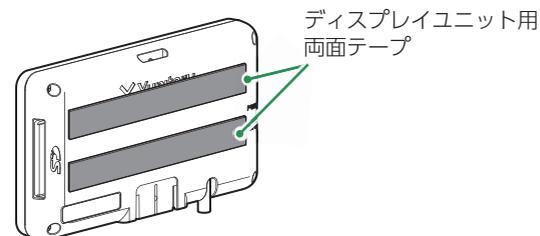
アーム部を180°反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、まっすぐ押し込んでください。



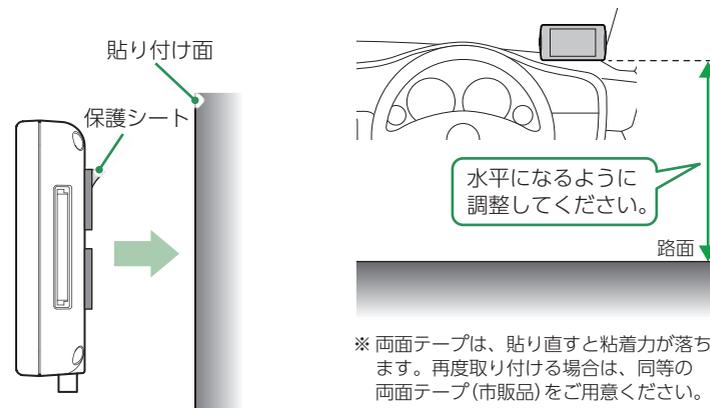
※アーム部の前面右側の爪に○の刻印があります。

## 2. 直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

### 2-1 両面テープの保護シートを片面はがし、ディスプレイユニットの背面にしっかりと貼り付ける



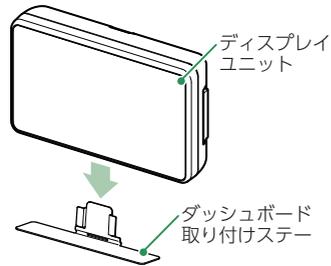
### 2-2 両面テープの保護シートをはがし、取り付け面に取り付ける



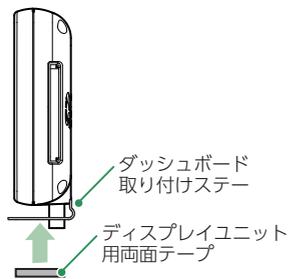
※両面テープは、貼り直すと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

### 3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける

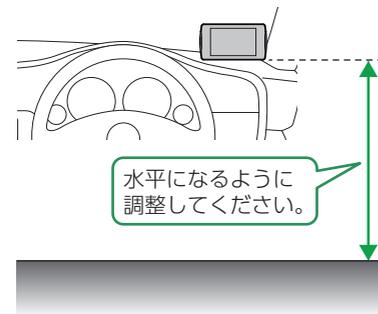
#### 3-1 ディ스플레이ユニットの溝を取り付けステーに合わせ取り付ける



#### 3-2 両面テープの保護シートをはがし、ダッシュボード取り付けステーの底面にしっかりと貼り付ける



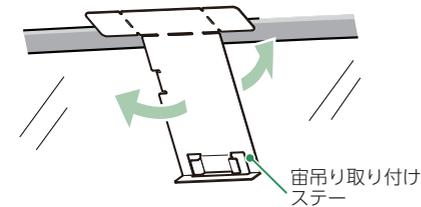
#### 3-3 両面テープの保護シートをはがし、取り付け面に取り付ける



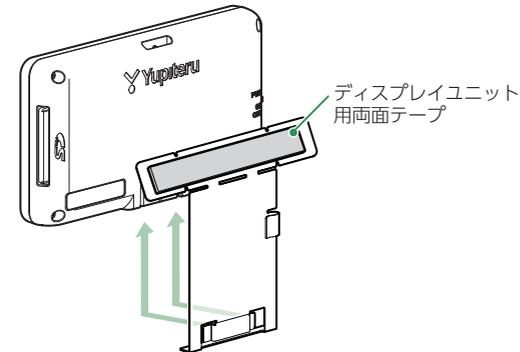
※ 両面テープは、貼り直すと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

### 4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける

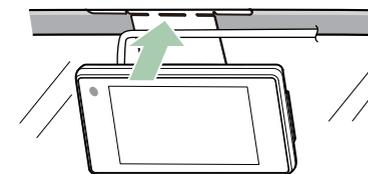
#### 4-1 取り付け場所を決め、見やすい角度になるようにステーを折り曲げ、角度の調整をする



#### 4-2 ディ스플레이ユニットを取り付け、両面テープの保護シートをはがし、宙吊り取り付けステーにしっかりと貼り付ける



#### 4-3 残りの保護シートをはがし、宙吊り取り付けステーを取り付ける



ステーをフロントガラスと天井のすき間に差し込み、フロントガラスの黒縁部分に両面テープを押しあてながら、取り付けてください。

※ 両面テープは貼り直すと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

※ ステーを折り曲げるときは、いったんディスプレイユニットから外して調整してください。そのまま折り曲げると、ディスプレイユニットの故障の原因となります。

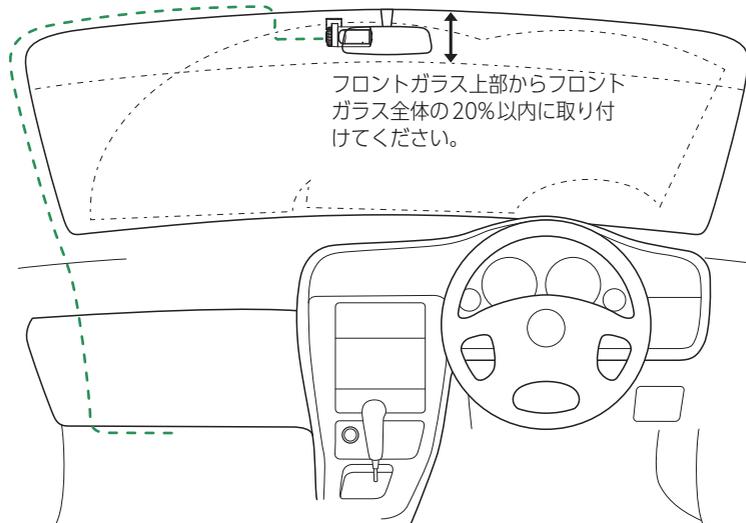
※ 黒縁部分からはみ出さないように貼り付けてください。黒縁がない車両の場合は、ダッシュボードなどにディスプレイユニットを取り付けてください。

## カメラユニット取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、カメラユニットを車両に取り付けてください。

### 取り付けの注意

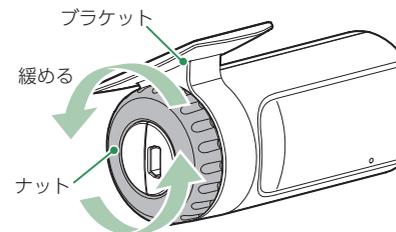
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所に取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバックの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。
- ・カメラユニットの近くにGPS機能をもつ製品やVICS受信機などを設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。



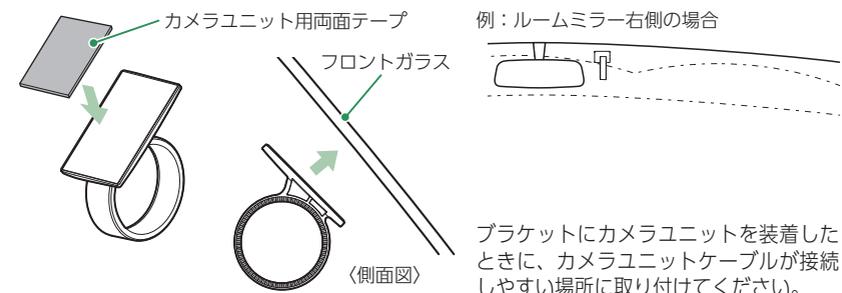
## 1. カメラユニットの取り付け

フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。(特許第4712858号) あらかじめフロントガラスの汚れや脂分をよく落とし、慎重に取り付け、車両外から貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

### 1-1 ナットを外しカメラユニットからブラケットを取り外す

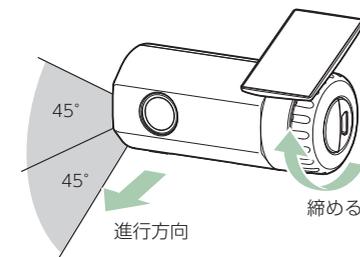


### 1-2 ブラケットに付属品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



- ※ 固定力を強くするためにカメラユニットを取り付けず、24時間以上放置してください。
- ※ 貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

### 1-3 ブラケットにカメラユニットを装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する



- ※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。
- ※ 上下45°の角度までカメラユニットを傾けて取り付けることができます。
- ※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

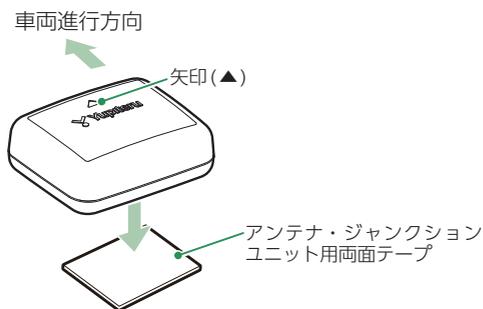
## アンテナユニット取り付け

### ⚠ 注意

- GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- 両面テープは貼りなおすと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- 両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落とししたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落のおそれがあります
- アンテナあるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ❗ 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。アンテナやダッシュボード、ルーフなどの破損の原因となります。
- ステーを折り曲げるときは、いったん本体から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- なるべく凹凸の少ない場所に取り付けてください。接着面が少ないと、脱落の恐れがあります。
- 突起部分などでケガをなさらぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。
- 折れてしまうことがあるので、ステーは繰り返し折り曲げないでください。

### 1. ダッシュボードに取り付ける

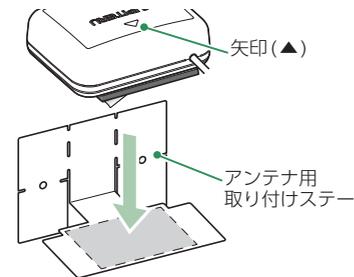
#### 1-1 アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープを貼り付け、車両に取り付ける



アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が車両進行方向を向くように、アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープで取り付けてください。

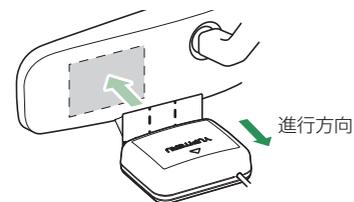
### 2. アンテナ用取り付けステーで純正ルームミラーに取り付ける

#### 2-1 アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープを貼り付け、ステーに取り付ける



- ※ あらかじめ純正ルームミラーの角度と貼り付け場所を決めておき、アンテナができるだけ道路に対して水平になるようステーを折り曲げて、角度の調整をしてください。
- ※ ステーを純正ルームミラーに取り付けた時に、アンテナの矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように貼り付けてください。

#### 2-2 ステーの保護フィルムをはがし、純正ルームミラーに貼り付ける



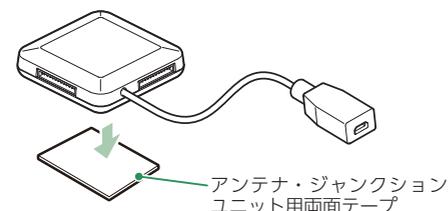
## ジャンクションユニット取り付け

### ⚠ 注意

- 両面テープは貼りなおすと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- 両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落とししたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落のおそれがあります
- ❗ ジャンクションユニットおよびコードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。ジャンクションユニットおよび貼り付け場所などの破損の原因になります。

### 1. 車両に取り付ける

#### 1-1 アンテナ・ジャンクションユニット用両面テープを貼り付け、車両に取り付ける



## 電源コードの配線

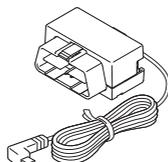
2種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

付属品



電源直結コードによる配線 (● P.47)

別売品



OBDIIアダプターによる配線 (● P.48)

### ■ ご注意ください

・特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー  
操作の邪魔



ハンドル  
操作の邪魔

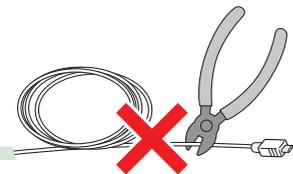


ペダル  
操作の邪魔



コードの  
挟み込み

・コードが長くても、切って短くしないでください。



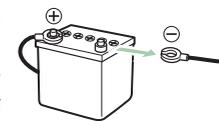
市販品のコード固定クリップでコードを固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



## 1. 電源直結コードによる配線 (付属品)

### ⚠ 警告

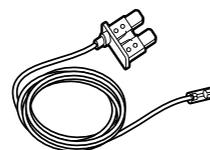
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ! カーナビやラジオ、オーディオなど搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ・平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



<準備するもの>

市販品

平型ヒューズタイプ  
電源取り出しコード

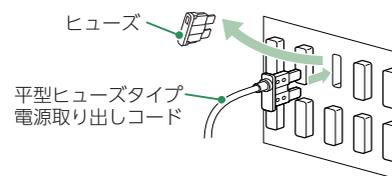


※ヒューズは、ノーマルタイプ・ミニタイプ・低背タイプがあります。平型ヒューズタイプ電源取り出しコードは、ヒューズの形状に合ったものを準備してください。



ノーマルタイプ ミニタイプ 低背タイプ

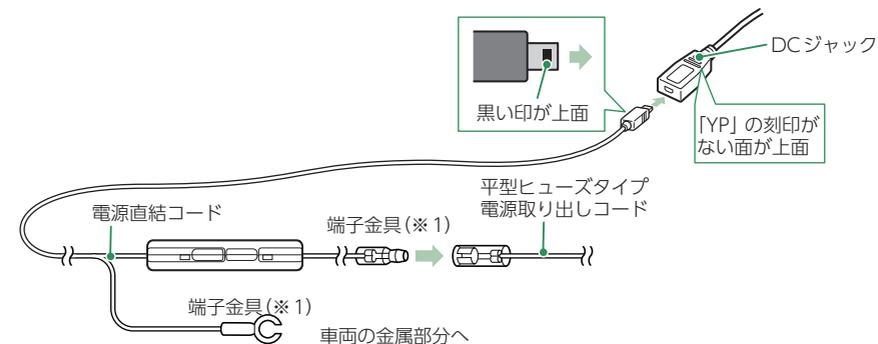
### 1-1 ヒューズを外し、平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを差し込む



※ヒューズの交換先は必ず、イグニッションキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

イグニッションキー	ACC位置	OFF位置
電圧	12V	0V

### 1-2 電源直結コードを接続する



電源直結コードをジャンクションユニットのDCジャックと平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続してください。

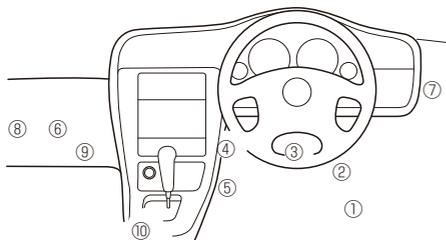
## 2. OBDIIアダプターによる配線 **OBDIIアダプター 別売品**

OBDIIアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDIIアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表を参照ください。

### 警告

故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

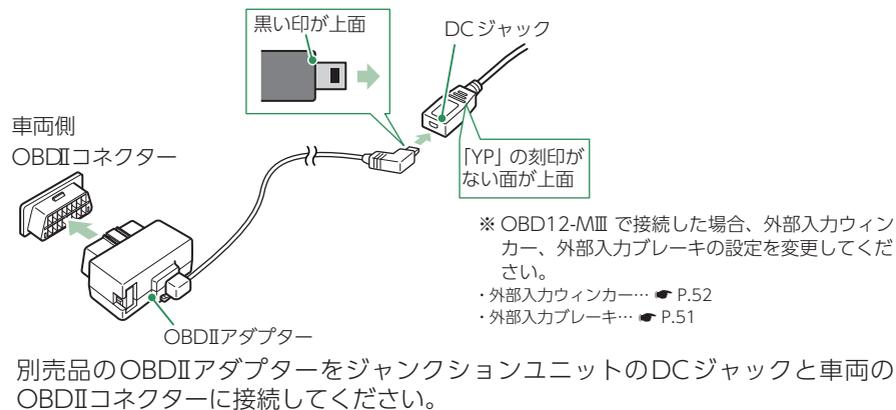
### OBDIIコネクター設置箇所



- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

※ コネクターがカバーやコンソールなどの内側にある場合があります。

## 2-1 OBDIIアダプターを接続する



別売品のOBDIIアダプターをジャンクションユニットのDCジャックと車両のOBDIIコネクターに接続してください。

## メンテナンス(ヒューズの交換)

接続状態でエンジンをかけ、ディスプレイユニットの電源スイッチがONの状態でも電源ONにならない場合は、ヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

※ 交換時、ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

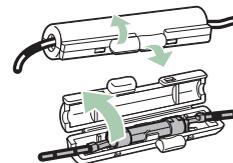
### 1. 電源直結コード

<準備するもの>:管ヒューズ 2A(30×6.5mm)

### 警告

- ・作業中のショート事故防止のため、接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ず外してから作業してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリーの内容を控えてください。
- ・平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順などを守ってください。

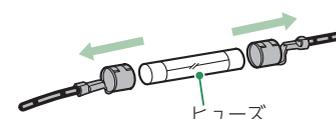
#### 1-1 ヒューズを取り出す



ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出してください。

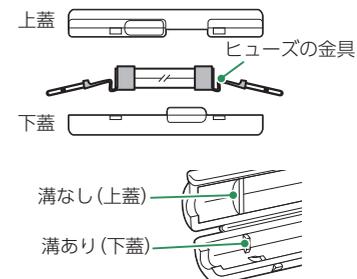
※ ヒューズは白線付き黒コードと一緒に取り外します。

#### 1-2 ヒューズを交換する



白線付き黒コードからヒューズを取り外し交換してください。

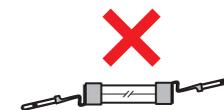
#### 1-3 ヒューズをヒューズホルダーに入れる



下蓋の溝に合わせてはめ込んでください。

※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように、図の向きにしてください。

ヒューズの金具は、必ず左右同じ方向に向けてください。



※ 上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

#### 1-4 ヒューズを閉じる

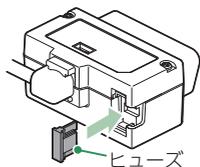
## 2. OBDIIアダプター

<準備するもの>:低背ヒューズ 2A

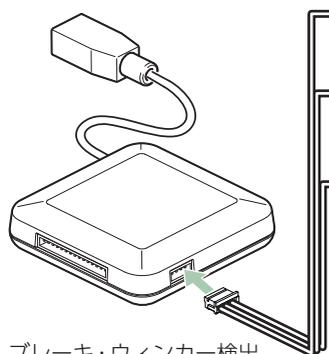
**2-1** OBDIIアダプターを車両側  
OBDIIコネクターから外す

**2-2** ペンチなどでヒューズを取り外す

**2-3** 新しいヒューズと交換する



## ブレーキ・ウィンカー検出ケーブル接続 別売品



- ・左ウィンカー検出ケーブル(緑・黒)…  
左ウィンカーランプのプラス側に接続します。
- ・右ウィンカー検出ケーブル(緑・赤)…  
右ウィンカーランプのプラス側に接続します。
- ・ブレーキ検出ケーブル(茶)…  
ブレーキランプのプラス側やブレーキスイッチの配線に  
接続します。

すべての検出ケーブルを接続する必要はありません。  
使用状況により必要な検出ケーブルを接続してください。

ブレーキ・ウィンカー検出  
ケーブル(約4m)( ● P.50)

ケーブルの種類	説明
左右ウィンカー検出ケーブル	接続することでウィンカー操作したことを認識し、レーンキープアシストで不要な警告を行いません。( ● P.28)
ブレーキ検出ケーブル	接続することでブレーキ操作したことを認識し、前方衝突防止アラートで不要な警告を行いません。( ● P.28)

※ ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルの接続先は、各車両メーカーへの問い合わせ、またはテスターなどを使用して上記の車両のケーブルに正しく接続してください。

※ 別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ)を接続している場合、OBDⅡアダプターにより車両側から情報を検出し使用することも可能です。ただし、車種によっては使用できない場合がありますので、ご購入前に弊社ホームページより、レーダー探知機用OBDIIアダプター対応表を確認してください。

・ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルの接続が完了したら…  
外部入力ウィンカー及び外部入力ブレーキの接続確認及び設定変更を行ってください。(接続確認 ● P.51～52)

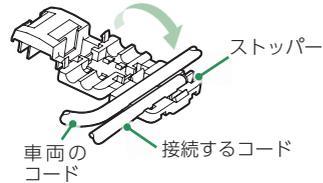
## 1. エレクトロタップの使いかた



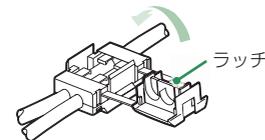
警告

! 電源直結ケーブルでの接続の場合、車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

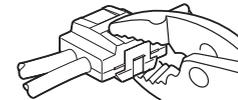
**1-1** 各検出線を図のストッパーに突き当て、車両のコードを通して矢印のように折り返す



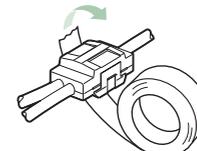
**1-2** もう一度、矢印のように折り返す



**1-3** プライヤーなどで、ラッチが噛むまで締め付ける



**1-4** 絶縁テープを巻く

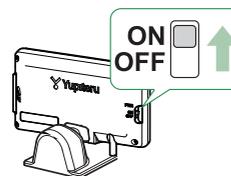


接続された箇所(エレクトロタップ部)はショートや振動などにより車両の故障を起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテープリングしてください。

## 2. ブレーキ検出ケーブル接続確認方法

ブレーキ検出線を接続後、接続が正しく行われているか本機で接続を確認してください。

**2-1** エンジンキーをONし、ディスプレイユニットの電源をONする



**2-2** 待受画面にタッチする



**2-3** [設定TOP]にタッチする



**2-4** [DR]にタッチする



※ 常時録画中に[DR]にタッチすると録画が停止します。

## 2-5 [外部入力ブレーキ]にタッチする



接続確認表示

## 2-6 車両のブレーキを踏み、接続確認表示の点灯を確認する



接続確認表示が点灯したアイコンにタッチし、設定してください。

※ 車両のブレーキを踏んでも接続確認表示が緑に光らない場合、再度ブレーキ検出ケーブルの接続を確認してください。

※ OBDIIアダプターで接続をして、接続確認表示が点灯しない場合、適応車種を弊社ホームページよりレーダー探知機用OBDIIアダプター適応表にて参照ください。

## 3. ウィンカー検出ケーブル接続確認方法

ウィンカー検出線を接続後、接続が正しく行われているか本機で確認してください。

### 3-1 P.51 手順「2-1 ~ 2-4」を行う

### 3-2 [外部入力ウィンカー]にタッチする



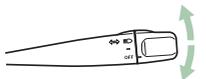
接続確認表示

接続確認表示が点灯したアイコンにタッチし、設定してください。

※ 車両のウィンカーをつけても接続確認表示が緑に光らない場合、再度ウィンカー検出ケーブルの接続を確認してください。

※ OBDIIアダプターで接続をして、接続確認表示が点灯しない場合、適応車種を弊社ホームページよりレーダー探知機用OBDIIアダプター適応表にて参照ください。

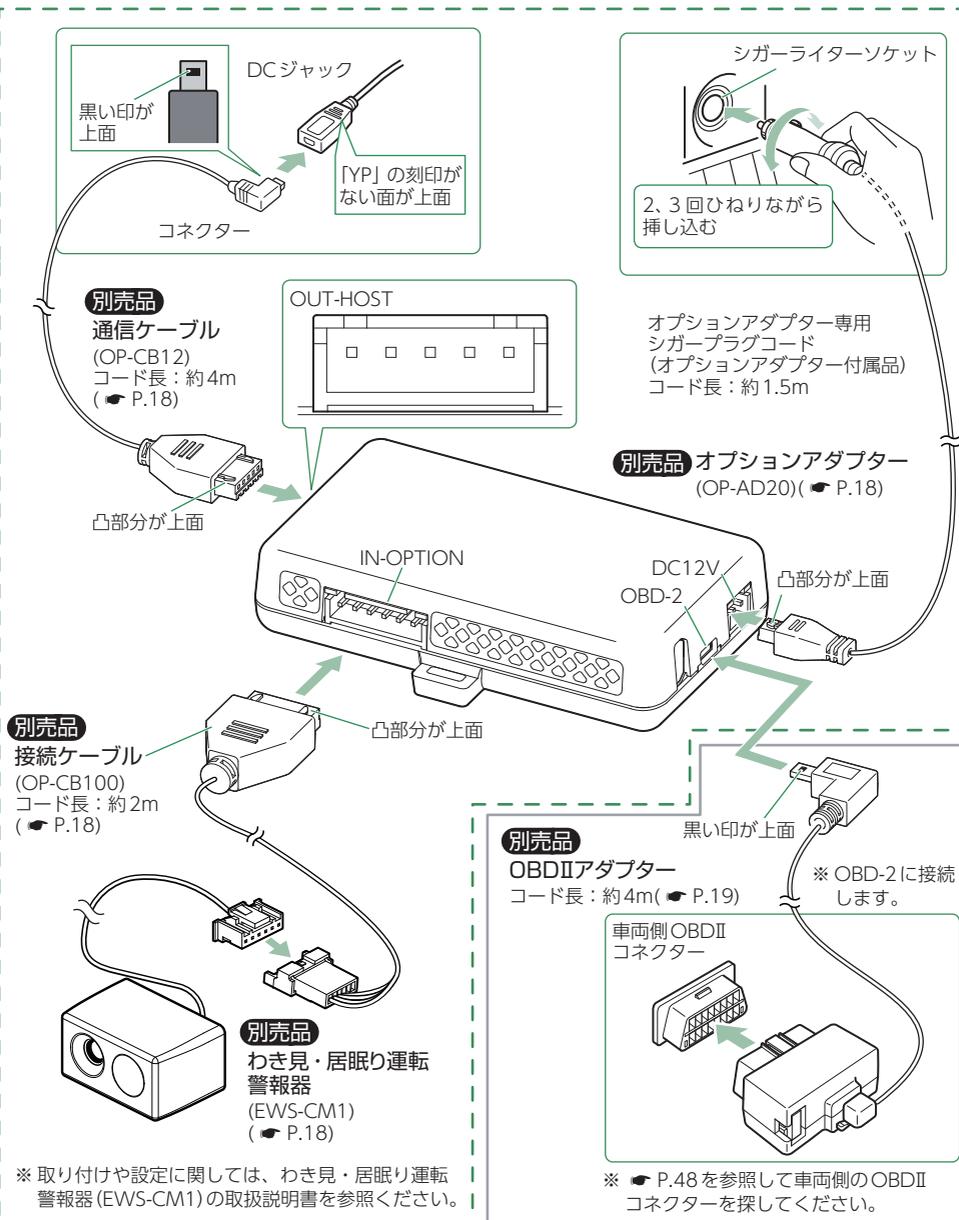
### 3-3 車両のウィンカーをつけ、接続確認表示の点灯を確認する



## わき見・居眠り運転警報器との接続

必ず接続してください。

必要に応じて接続してください。



※ 取り付けや設定に関しては、わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) の取扱説明書を参照ください。

※ P.48を参照して車両側のOBDIIコネクタを探してください。

わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) を接続する場合に、オプションアダプター (OP-ADP20) が必要です。オプションアダプターには、OBD 端子があり、OBDIIアダプターと同時に使用できます。

## 1. わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) 使用時の本機の動作

わき見・居眠り運転警報器が警告すると、本機で音と表示を5秒間行います。

※ 本機と接続時は本機のみで警告します。わき見・居眠り運転警報器 (EWS-CM1) では警告しません。  
 ※ 設定メニュー内 (P.110) では、警告を行いません。あらかじめご了承ください。

### ■ わき見警告



時速30km/h以上で運転中に約3秒以上わき見をしている場合に、警告します。

※ GPS非測位時は、速度に関係なく警告します。  
 ※ 別売品のOBDIIアダプターで接続している場合、GPS非測位時でも速度情報を得ることができるので、時速30km/h以上で警告します。

### ■ 居眠り警告 (2回目)



1回目の居眠り警告後も両目を閉じている場合に、警告します。

### ■ 居眠り警告居眠り (1回目)



運転中にまぶたを閉じている (両目を約1秒以上閉じている状態) 場合に、警告します。

本機のブザー音	
わき見警告	ピロン
居眠り警告 (1回目)	ピロピロ
居眠り警告 (2回目)	ピロピロ (繰り返し)

本機およびわき見・居眠り運転警報器に付属している電源直結コードは使用しません。オプションアダプターに付属している、オプションアダプター専用シガープラグコードを使用します。

## 初期値について

各ユニットの初期値は次のようになっています。

### ■ レーダー機能 初期値

設定項目	初期値	説明
モード設定	ノーマル	機能同士のバランスを重視した設定です。
待受画面	マップ	マップ画面が表示されます。
マップパネル	1パネル	画面全体にマップ画面が表示され、警報時には小さな警報パネルによって警報されます。
レーダー受信感度	AAC / ASS	時速30km未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また時速30km以上では速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音	メロディ 1	警報の発生時、オリジナルメロディが流れます。
無線警報音	ボイス	各種無線の電波を受信すると、その無線の種類を音声でお知らせします。
iキャンセル	ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択	オート 気圧あり	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路のGPSターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※ 一般道と高速道が並行/交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
リラックスチャイム	2時間	本機の連続電源ONで、2時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。
時報	ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時です。』と音声流れます。
明るさ	普通	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「普通」になっています。
地図スケール	3	地図スケール「1～5」の「3」(中間)で表示します。
起動音	ON	本体起動時に起動音が出ます。

※ 初期値を変更する場合は、P.110～159「カスタマイズ①」を参照ください。

## ■ カメラユニット 初期値

設定項目	初期値	説明
解像度	1080P HD(HDR) 30FPS	1920×1080、30コマ/秒、HDR有効で録画します。
自動録画	ON	エンジンキー連動で録画を開始します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
Gセンサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。(● P.30「Gセンサー記録」)
Gセンサー感度(X)	1.5G	X(前後方向)の衝撃感度を1.5Gに設定しています。
Gセンサー感度(Y)	1.5G	Y(左右方向)の衝撃感度を1.5Gに設定しています。
Gセンサー感度(Z)	1.5G	Z(上下方向)の衝撃感度を1.5Gに設定しています。
イベント地点登録	ON	イベント記録が行われた位置をマップ画面上に表示します。
レーンキープアシスト 一般道	OFF	一般道走行中に自車の車線逸脱(走行車線からはみ出し)を検知すると、表示とブザー音でお知らせします。(● P.28「レーンキープアシスト」)
レーンキープアシスト 高速道	OFF	高速道路走行中に自車の車線逸脱(走行車線からはみ出し)を検知する速度を設定します。設定した速度を超えた状態で検知すると、表示とブザー音でお知らせします。(● P.28「レーンキープアシスト」)
前方衝突防止アラート 一般道	OFF	一般道走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示とブザー音でお知らせします。(● P.28「前方衝突防止アラート」)
前方衝突防止アラート 高速道	OFF	高速道路走行中に先行車との接近を検知する速度を設定します。設定した速度を超えると前方衝突防止アラートが作動し、表示とブザー音でお知らせします。(● P.28「前方衝突防止アラート」)
Start information	OFF	信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示とブザー音でお知らせします。(● P.27「Start information」)
上書きモード	全て上書き	常時録画・・・ カメラユニット用SDカード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(● P.188「録画時間の目安」) イベント記録・・・ 最大記録件数に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(● P.188「イベント記録の最大記録件数」)

※ 初期値を変更する場合は、● P.161～165「カスタマイズ②」を参照ください。

## 電源 ON/OFF

### 1. 電源 ON する

#### 1-1 車両のエンジンをON する



エンジンキーをONにし、ディスプレイユニットの電源スイッチをONにしてください。

必ず『測位しました』のボイスを確認してから走行してください。

※ GPSの測位状況や無線の受信によっては待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。

※ GPSの非測位時は時計表示が赤くなります。

※ 初めてOBDIIアダプターを車両に取り付けた場合、本体の起動に数分かかることがあります。

※ 起動時の音(起動音)、画面(起動画面)、および測位時の音(初期測位)は変更できます。(● P.141)

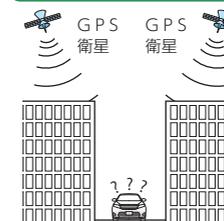
※ 初期値の場合、自動録画が「ON」に設定されているため電源ONと同時に録画が開始されます。

### ■ 測位に時間がかかる場合があります

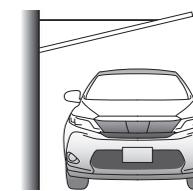
次のような場合、電源ONしてから『測位しました。』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。

#### 建物の谷間



#### 屋根の下



### 2. 電源 OFF する

#### 2-1 車両のエンジンをOFF する

本体の電源も連動してOFFになります。

※ 車種によってはエンジンキーをOFFにしても、電源OFFにならない場合があります。その場合は、ディスプレイユニットの電源スイッチを操作して電源OFFしてください。

※ OBDIIアダプターで配線を行った場合、エンジンキーをOFFにしたあと、電源OFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBDIIアダプターで接続した場合は、ディスプレイユニットの電源スイッチで電源OFFしないでください。

## 音量

### 1. 音量を調節

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 音量を調節する



[VOL▲]、[VOL▼]にタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

※ VOL7(最大)からさらに[VOL▲]にタッチすると、『ブツ』と鳴ります。

### ■ マナーモード

音量をVOL0(消音)から、さらに[VOL▼]にタッチすると、マナーモードになります。音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。



※ マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

※ 解除する場合は、画面にタッチしてください。

## ドライブレコーダー設定をする

### 1. カメラユニット用SDカードをフォーマットする

必ず1～2週間に一度、フォーマットを行ってください。  
フォーマット方法は P.13「SDカードフォーマットの手順」を参照ください。  
※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」や「専用ビューアソフト」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

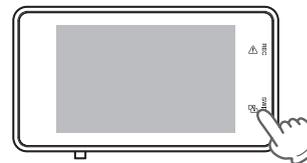
・録画ファイルのバックアップ… P.178「録画ファイルの読み出しについて」

・専用ビューアソフトのバックアップ… P.174「録画ファイルを再生する」

※ 専用ビューアソフトを削除した場合、弊社ホームページよりダウンロードできます。

### 2. ドライブレコーダー画面切り替え方法

#### 2-1 ディスプレイユニットの [F4] キーにタッチする



ドライブレコーダー画面と待受画面が切り替わります。

※ GPSターゲットに近づいたり、取締りレーダー波を感知した場合は、警報画面 (P.97「警報画面」) に切り替わります。

※ 警報画面設定を待受固定にしている場合を除く。

### 3. レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは本機にて設定が必要です。

※ レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートを使用する場合は、「設定TOP」→「DR」→「AS設定」から設定を「ON」にしてください。(P.163)

※ 設定を行わずに使用すると、うまく働かない場合があります。

#### ⚠ 注意

! レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定は、安全な場所で行ってください。また、なるべく平坦な場所で行ってください。

#### 3-1 待受画面にタッチする



### 3-2 [設定TOP]にタッチする



### 3-3 [DR]にタッチする



※ 常時録画中に[DR]にタッチすると録画が停止します。

### 3-4 [AS範囲設定]にタッチする



### 3-5 ◀、▶ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白線の左右位置を合わせ、下の▶にタッチする



・AS左右設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
◀	画面内の白線が左へ移動します。
▶	画面内の白線が右へ移動します。

### 3-6 △、▽ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白線の上下位置を合わせ、下の▶にタッチする



・AS上下設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
△	画面内の白線が上へ移動します。
▽	画面内の白線が下へ移動します。

### 3-7 ▷◁、◀▶ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白幅を合わせる



・AS車幅設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
▷◁	画面内の白線の幅を狭くします。
◀▶	画面内の白線が幅を広くします。

・画面内の白線と道路の白線が合わない場合…

▶ P.60の「手順3-5」から「手順3-7」を何度か繰り返し、白線の位置を調整します。

・良い見本  
道路上の白線とディスプレイユニット画面内の白線が重なっている



・悪い見本  
道路上の白線とディスプレイユニット画面内の白線がずれている



### 3-8 [EXIT]にタッチする



## 地図スケール

### 1. 地図スケールを変更する

地図スケールを「1～5」の5段階で変更できます。

※ 初期値は、「3」(中間)です。

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 地図スケールを変更する



ジャンプウィンドウの[ズームイン](拡大)、[ズームアウト](縮小)にタッチで地図スケールを変更できます。



<「1」(最大)>



<「3」(中間)>



<「5」(最小)>



## 起動音

本体起動時に音を出すかON/OFFで設定することができます。

※ 初期値は、「ON」です。

### 1. 起動音をOFFにする

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 [設定TOP]にタッチする



#### 1-3 [音声]にタッチする



#### 1-4 [▶]に数回タッチして「起動音 11/11」を表示する



#### 1-5 [OFF]にタッチする



#### 1-6 [EXIT]にタッチする



起動音を出す場合は、手順「1-5」で[ON]にタッチしてください。

## マイキャンセルエリア

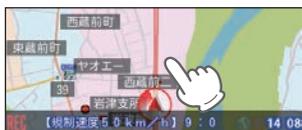
自動ドアなど、取締り機がないエリアでレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録し、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

※登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(● P.65)、アイキャンセル(● P.125)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

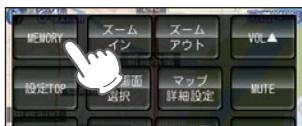
※マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54識別(● P.102)や無線14バンド識別(● P.107)・ベストパートナー6識別(● P.109)の警報はキャンセルできません。

### 1. マイキャンセルエリアを登録する

#### 1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



#### 1-2 [MEMORY]にタッチする



※MEMORY画面を約5秒間表示します。

#### 1-3 約5秒以内に[キャンセルエリア]にタッチする



<MEMORY画面>



「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録されます。

※GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

#### ・マイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

※キャンセルサウンド(● P.126)の設定がONの場合は、「キャンセル中です」とお知らせします。

### 2. マイキャンセルエリアを解除する

#### 2-1 マイキャンセルエリア登録された地点で手順「1-1～1-3」を行う



「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

※GPSを受信できていない場合、キャンセルエリアは解除できません。

## マイエリア

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

※登録数は、マイエリア、アイキャンセル(● P.125)、マイキャンセルエリア(● P.64)の合計で10,000箇所まで可能です。10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

### 1. マイエリアを登録する

#### 1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



#### 1-2 [MEMORY]にタッチする



※MEMORY画面を約5秒間表示します。

#### 1-3 約5秒以内に[マイエリア]にタッチする



<MEMORY画面>



「マイエリアにセットしました」とお知らせし登録されます。

※GPSを受信できていない場合、マイキャンセルエリアは登録できません。

#### ・マイエリアに近づくとき…

手前約1km/500mと通過時の3段階で警告します。

<手前約1km(500m)のとき…>

『右(左)方向1km(500m)先マイエリアです』とお知らせします。

※GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を「この先」や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。

### 2. マイエリアを解除する

#### 2-1 マイエリア登録された地点で手順「1-1～1-3」を行う



「マイエリアを解除しました」とお知らせし解除します。

※すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、● P.140「データ消去」を参照ください。

## 投稿ピン

「ここで取締りをやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録。携帯電話で、オービスや取締りの情報をお寄せください。

※登録数は、最大4箇所ピンを登録できます。

### 1. 投稿ピンを登録する

#### 1-1 登録したい地点で待受画面にタッチする



#### 1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

#### 1-3 約5秒以内に[ピン設定]にタッチする



<MEMORY画面>



※ピンの数は最大4箇所、少ない番号から登録されます。

※すでに4箇所のピンが登録されている場合は「ピンが一杯です」と画面表示されて登録できません。

※GPSを受信できていない場合、投稿ピンは登録できません。

### 2. 投稿ピンを削除する

■例：ピン2を消去する

#### 2-1 待受画面にタッチする



#### 2-2 [設定TOP]にタッチする



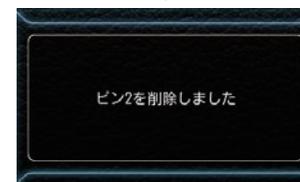
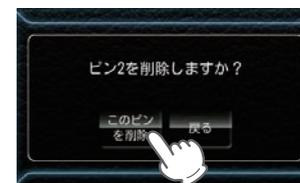
#### 2-3 [投稿]にタッチする



#### 2-4 [ピン2消去]にタッチする



#### 2-5 [このピンを削除]にタッチする



「ピン2を削除しました」と画面でお知らせします。

※削除しない場合は[戻る]にタッチします。  
※すべての投稿ピンを解除(消去)したい場合は、P.140「データ消去」を参照ください。

# ity.MAPサービス

## 1. 今すぐ地図表示サービス(無料)について

本機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。

※ バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。

※ 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

### 今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① [QRコードを表示する]を行い、QRコードを表示させます。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
- ③ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

### QRコードを表示する

※ 必ず、車両を止めてから操作してください。

※ 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。

※ GPS非測位中のときは、緯度・経度は表示できません。

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 [MEMORY]にタッチする



※ MEMORY画面を約5秒間表示します。

#### 1-3 約5秒以内に[ity.MAP]にタッチする



QRコード、緯度、経度を表示します。

※ 画面にタッチで待受画面に戻ります。

※ 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。

## 2. 地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

※ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。

※ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。

※ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

### 地図閲覧サービスの流れ

① 携帯電話専用サイトにアクセスする。(http://www.yupiteru-itymap.com/mobile/)

② 緯度(N)・経度(E)を表示させる。

③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。

④ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

● PC専用サイト

http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

※ PC専用サイトでは緯度(N)・経度(E)は入力することができません。

詳しくは、弊社ホームページ[ity.MAP サービス](http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html)をご確認ください。

## 3. ログ機能[特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(約20.5時間分)をディスプレイユニット用SDカードに記録します。

記録したデータは、付属品のディスプレイユニット用SDカードに保存し、パソコンで走行軌跡を確認できます。

● P.70 [①走行データを記録する] → ● P.70 [②走行データを出力する] →

● P.71 [③走行軌跡を確認する]の手順で行ってください。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っていません。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

※ 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。

※ ログの残量表示は「設定」→[システム]→[ログ機能]の画面下にパーセント表示されます。

※ 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。

※ 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。

※ ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っていません。

※ 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(● P.140)を行うまで、100%の表示は残ります。

※ 走行記録を消去する場合は、データ消去(● P.140)を行ってください。また必要に応じ、事前に走行データをディスプレイユニット用SDカードにコピーしてください。

・下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

OS: Microsoft Windows 7(32bit版/64bit版)、Vista(32bit版/64bit版)、XP(32bit版)

※ 64bit版は未対応、2000。

・ご用意いただくもの。

・SDカードリーダー(使用中のSDカードに対応のもの)

・GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。

・弊社ホームページ(http://www.yupiteru.co.jp)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP\_LogDateConverter\_setup.exe)をダウンロードしてください。

## ①走行データを記録する

### 3-1 待受画面にタッチする



### 3-2 [設定TOP]にタッチする



### 3-3 [システム]にタッチする



### 3-4 [ON]にタッチし、[EXIT]にタッチする



### 3-5 走行して走行データを記録する

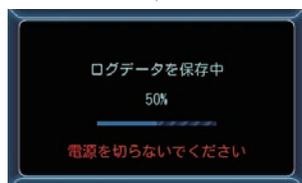
## ②走行データを出力する

### 3-1 左記手順「3-1～3-3」を行う

### 3-2 [▶]にタッチして「SD出力 2/5」を表示する



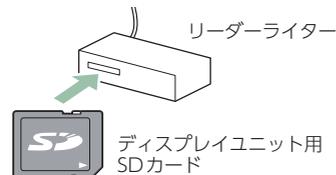
### 3-3 [ログ]にタッチする



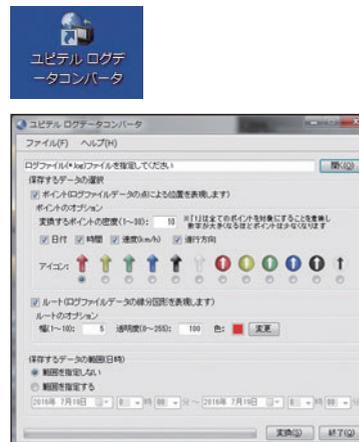
付属品のディスプレイユニット用SDカード(本体に装着済み)に走行データがコピーされます。

## ③走行軌跡を確認する

### 3-1 走行データをコピーしたディスプレイユニット用SDカードをリーダーライターに接続する



### 3-2 ユピテルログデータコンバータを起動する



「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(※.Log)を選択する。

### 3-3 保存する



「変換」ボタンをクリックしお好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

※ アイコンなどの詳細な設定は弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご覧ください。

### 3-4 保存したファイルを開く

Google Earth の画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡確認後は、ディスプレイユニット用SDカードをディスプレイユニットに装着してご使用ください。(P.20)  
※ 必要に応じて、ディスプレイユニット用SDカード内にコピーした走行データ(※.Log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようご注意ください。

#### 4. オービス・取締り系& コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

**ity.クラブ** / POWERED BY Yupiteru

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

 **0120-958-955**

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

#### 公開取締り情報

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締り情報を、画面下にテロップで流すことができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。場所、時期によっては表示されない場合もあります。

本機には公開取締り情報のデータが入っていますが、最新のデータに無料で更新することができます。詳しくは、弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp/>) をご覧ください。

- ※ 公開取締り情報を表示している場合でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。
- ※ GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。
- ※ 公開取締り情報が発表されていない地域では表示されません。
- ※ 公開取締り以外でも各都道府県にて取締りを実施しております。
- ※ 待受画面が「フォトフレーム」[OFF]の時は表示されません。
- ※ 本機の公開取締り情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締り情報を確認し、最新の情報に更新してください。
- ※ 本機の公開取締り情報が最新ではない場合、正しくお知らせすることができないことがあります。本機の公開取締り情報を「バージョン情報 5/5」( P.140) で確認し、最新の情報に更新してください。

#### ■ 速度管理指針について

速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締りの方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

#### ■ 速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締りを重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

#### ■ メッセージウィンドウの表示について

① 情報種類と所轄名 → ② 道路名称 → ③ 区間や大体の場所 → ④ 規制速度 → ⑤ 日時や時間帯

取締り情報がある路線に侵入した場合、シングル音が鳴り取締り情報を下記の順番で表示します。

- ※ 取締りエリアの場合は「取締りターゲット名」が表示されます。
- ※ 警報画面(マップ)以外では道路が認識できないため、取締り情報の表示はできません。
- ※ 取締り路線以外の場合は、所轄から公開されている情報を表示します。その際はシングル音は鳴りません。

#### ■ 取締り路線の表示について

- ※ 警報画面(マップ)以外では道路が認識できないため、取締り情報の表示はできません

## 画面表示について

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、23種類および「AUTO」と「OFF」が用意されています。待受画面の詳細は、「P.75「待受画面の説明」」をご確認ください。

初期値は、「警報画面(マップ)」に設定しています。

ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)で接続した場合は、待受画面が2項目増えより多くの情報が表示できます。

### 1. 待受画面の変更方法

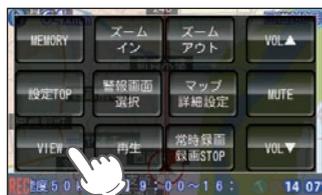
■ 例として「警報画面」から「加速度」画面に変更します。

※ 初期値は「警報/500m接近切替」です。警報時には警報画面に切り替わります。

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 [VIEW]にタッチする



#### 1-3 加速度にタッチする



加速度画面が表示されます。

### ■ 待受一覧画面内表示位置



警報画面	時計	速度	エコドライブ
加速度	傾斜	潮汐情報	グラフ
プリセット A	プリセット B	プリセット C	プリセット D
プリセット E	プリセット F	フォトフレーム	衛星情報
ハイブリッド 1*	ハイブリッド 2*	AUTO	OFF

※ ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合には表示します。待受画面の表示は、選択している待受画面の種類によってサムネイルが変わります。プリセットA～Fの表示は、選択している配置の種類によってサムネイルが変わりますが、配置内の項目は変わりません。配置イメージになります。

### 2. 待受画面の説明

#### ■ メッセージウィンドウについて

画面下に各種警報、録画状態やドライブレコーダーのエラーを表示し、必要な情報を確認できます。

警報が無い時は時刻のみ表示し、警報時、お知らせ時に情報表示されます。

※ 「フォトフレーム」、「OFF」では常時表示しません。

※ ドライブレコーダーの録画状態のメッセージウィンドウについては P.34 「AS作動時画面」を確認してください。

<p><b>GPSターゲット警報時</b></p> <p>ターゲットのアイコン ターゲットの制限速度 ターゲット名 ターゲットまでの距離</p> <p>自車から見たターゲットの方向</p>	<p><b>カーロケ受信時</b></p> <p>警報アイコン 警報の種類</p>
<p><b>レーダー波受信時</b></p> <p>ターゲットの制限速度 警報の種類 警報レベル</p>	<p><b>無線受信時</b></p> <p>警報アイコン 警報の種類</p> <p>その他無線警報例</p>

#### ■ 駐禁・車上狙いアイコンについて

メッセージウィンドウ内に駐禁エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコンが表示されます。

駐禁エリア、車上狙い多発エリアでは濃く表示・点滅し、エリア外では薄く表示または消去されます。

※ モードやマニュアルモードの設定により、駐禁エリアや車上狙い多発エリアOFFの場合は、表示されません。

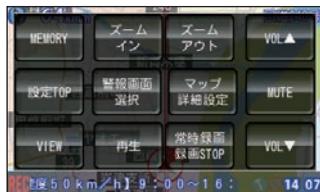


## ■ ジャンプウィンドウについて ジャンプウィンドウ

待受画面の種類によって、画面の設定変更などがしやすいように、ジャンプウィンドウが設定されています。画面タッチで表示中の待受画面の設定を簡単に呼び出せます。

ジャンプウィンドウは操作をしないと、約30秒で消えます。

※ ジャンプウィンドウとディスプレイユニットの各キー以外の部分にタッチするとジャンプウィンドウは消えます。



## ■ 警報表示 ジャンプウィンドウ

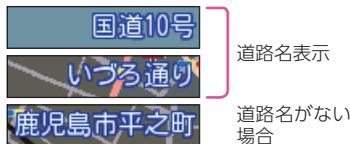
警報画面は「マップ」「クラシック」「シンプル」の3種類あります。

警報時には設定によって、他画面時でも警報画面に自動的に切り替わります。

マップ(初期値)	クラシック	シンプル
<p>全国版の地図上を自車アイコンが移動します。</p> <p>地図表示には、AUTO・昼配色・夜配色があります。AUTOの場合、衛星情報により夜と判断された場合に夜配色に切り替わります。設定により、どちらかの配色に固定することも可能です。</p> <p>※ 詳細は P.101 を参照ください。</p>	<p>警告するターゲットとの位置関係を、シンプルに表示します。ターゲットとの距離や種類により、画面色が変わります。スコープサブ表示の項目は、配置2のメーターを1つ選択できます。</p> <p>① スコープサブ表示 ② 警報中のターゲット ③ 自車位置 ④ メッセージウィンドウ</p>	<p>警告する対象がない場合は、自車速度のみを表示します。警告時には、警告パネル、miniレーダー、ターゲットとの距離カウントダウンでシンプルに警告します。</p> <p>① 自車速度 ② 警告パネル ③ miniレーダー ④ 自車とターゲットの距離カウントダウン ⑤ メッセージウィンドウ</p>

## ■ 道路名および地図表示について

現在走行している道路名を表示します。(高速道路、有料道路、国道、県道など) 道路名がない場合は、現在地の地名を表示します。



## 時計

日付および時刻は、GPS測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。

右下の時刻表示は、24時間表示です。

※ GPS非測位時は右下の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)



- ① 時計(アナログ)
- ② カレンダー(年/月/日/曜日)

## 速度

大メーターで速度を表示します。赤い針は最高速度を示します。大メーター下に平均速度・最高速度を交互に表示します。メーターの項目は変更できません。

走行速度はGPSの情報に基づき表示しています。別売品のOBDIIアダプターで接続した場合はOBDII車速情報に基づき表示しています。また車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。

※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度とは一致しません。  
※ 補正機能はありません。



- ① 速度  
車両の速度をアナログ針と数値で表示します。
- ② ヨーレート  
車両の旋回方向の角速度を表示します。
- ③ コンパス  
車両の方位を表示します。

## ■ エコドライブ ジャンプウィンドウ

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、以下の4項目から運転を評価します。また、現在の走行速度と、今回の平均速度も表示します。

※ GPS測位できない場合は、各項目の採点が行いません。  
※ GPS電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。  
※ 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。  
※ エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントが初期値の70ptになります。(P.140)  
※ データ消去を行うと、元には戻せませんので、ご注意ください。  
※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。



- ① 加速・減速バー
- ② 総合ポイント
- ③ 急加速・急減速・経済速度・アイドリング・走行速度・平均速度

急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)

経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

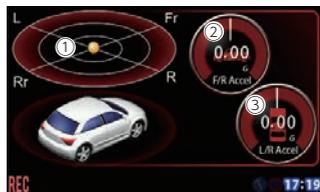
## 加速度

加速度の方向と強さをボールの位置で表します。

Fr：前、Rr：後、R：右、L：左

下の車両は、加速に応じて動きます。

※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



- ① 加速度
- ② 前後の加速度
- ③ 左右の加速度

## 傾斜

大メーターの内側でピッチとロールの状態を表示し、外側のリングでコンパスを表します。

※ 傾斜の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



- ① コンパス
- ② ロール
- ③ 傾斜 (ピッチ)
- ④ 速度
- ⑤ ヨーレート

## 潮汐情報 ジャンプウィンドウ

検潮地点名、月例、潮名を表示し、周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。

<潮汐情報について>

待受機能に表示される潮汐方法は、レジャー向けに考えられたもので、航海用途には適しません。

<潮汐推算に関わるデータ提供元>

- ・ 日本海洋データセンター
- ・ 気象庁



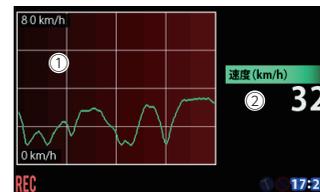
- ① 地点・月齢・潮名  
表の地点名および月の満ち欠け
- ② 潮位グラフ  
棒グラフの高さで潮位を表し、黄色と青の切り替わる時が日の出、日の入りを示します。上部に日の出(黄文字)、日の入(青文字)時刻を表示します。赤ラインが現在時刻です。
- ③ 満潮・干潮  
満潮・干潮の潮位と時刻を交互に表示します。

## グラフ ジャンプウィンドウ

グラフの種類は、「速度」、「高度」、「気圧」、「加速度」、「ジャイロ」および「マニュアル」から選択します。画面にタッチし、種類を選択します。

OBDIIアダプターで接続すると最大13種類(マニュアルでは最大21種類)から選択できます。

グラフの上下に単位を表示し、複数表示するグラフの場合はラベル色(グラフ色)の単位が表示されます。



- ① グラフ表示エリア(例：速度表示)  
数値の変化をグラフ上にリアルタイムに表示します。
- ② 速度  
車両の速度

## プリセット A/B/C/D/E/F ジャンプウィンドウ

プリセットは、それぞれ配置、項目、背景を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。(P.80「配置選択方法」)

6種類(A/B/C/D/E/F)プリセットし、画面選択で呼び出すことができます。

※ 初期値

警報画面	時計	速度	エコドライブ
加速度	傾斜	潮汐情報	グラフ
プリセットA ※ 配置1	プリセットB ※ 配置3	プリセットC ※ 配置4	プリセットD ※ 配置5
プリセットE ※ 配置6	プリセットF ※ 配置7	フォトフレーム	衛星情報
ハイブリッド1※1	ハイブリッド2※1	AUTO	OFF

※ 1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着した場合には表示します。

## ■ 配置選択

配置は7種類から選択します。

- 配置1 (大メーター：1、小メータ：2)



- ※ 初期値
- ・ 大メーター
- ・ 速度
- ・ 小メーター
- ・ コンパス
- ・ 時計

- 配置2 (中メータ：3)



- ※ 初期値
- ・ 中メーター
- ・ 時計
- ・ 速度
- ・ エコドライブ

- 配置3 (小メータ：6)



- ※ 初期値
- ・ 小メーター
- ・ 時計
- ・ 速度0-180km
- ・ コンパス
- ・ 前後加速度
- ・ 左右加速度
- ・ ヨーレート

- 配置4 (小メータ：3、1/8表示：4)



- ※ 初期値
- ・ 小メーター
- ・ 気圧
- ・ 速度0-180km
- ・ エコドライブ
- ・ 1/8表示
- ・ 前後加速度
- ・ 左右加速度
- ・ 平均速度
- ・ 最高速度

● 配置5 (小メーター：4、1/8表示：4)



※ 初期値  
小メーター  
・時計  
・コンパス  
・速度0-180km  
・気圧  
1/8表示  
・前後加速度  
・左右加速度  
・平均速度  
・最高速度

● 配置6 (1/8表示：8)



※ 初期値  
小メーター  
・時計  
・速度0-180km  
・コンパス  
・前後加速度  
・左右加速度  
・ヨーレート  
・ピッチレート  
・ロールレート

■ 配置選択方法

例：プリセットAの「配置1」を「配置2」に変更します。

2-1 待受画面にタッチする



2-2 [プリセットA配置選択]にタッチする



2-3 [配置2]にタッチする



● 配置7 (1/14表示：14)



※ 初期値  
1/14表示OBD  
IIアダプターを必  
要としない項目  
をすべて表示

■ 選択項目

項目選択にタッチすると、それぞれの配置で表示している項目が表示されます。変更したい位置の項目を選択すると、カテゴリ選択になり、現在表示しているカテゴリが青色になっています。

表示したいカテゴリを選択すると、項目が表示されるので、表示する項目を選択します。選択できない(表示できない)項目は文字がグレーになり選択できません。

● 配置1



● 配置2



● 配置3



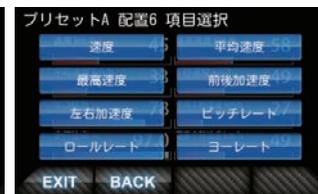
● 配置4



● 配置5



● 配置6



● 配置7



※ 配置7では、表示したい項目を選択可能な項目から選択します。(選択項目は緑色が点灯)すべて選択、すべて解除も可能です。15項目以上選択時は、スクロールして表示します。それぞれの項目の表示位置は選択できません。

2-4 [EXIT]にタッチする



変更したプリセット画面を表示します。

## ■ 項目選択方法

例：プリセットAの配置1の大メーターの項目「速度0-180km/h」を「時計」に変更します。

### 2-1 待受画面にタッチする



### 2-2 [プリセットA項目選択]にタッチする



### 2-3 [速度0-180]にタッチする



### 2-4 [時計カレンダー]にタッチする



※ 選択中の配置は青色になります。

### 2-5 [時計]にタッチする



### 2-6 [EXIT]にタッチする



変更したプリセット画面を表示します。

## 大メーター

配置1の左側に表示される大メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
時計 カレンダー	1	時計		時刻を表示します。
	2	カレンダー		年月日、曜日を表示します。
速度 加速度	3	速度 0-180km/h		速度を表示します。
	4	速度 0-240km/h		(メーター最大値が180km/hまたは240km/h) 白針：速度、赤針：最高速度 付加情報：①平均速度、②最高速度
	5	加速度		加速度待受の左側と同様。
傾斜・方位	6	傾斜・方位		傾斜待受の左側と同様。
圧力	7	気圧		気圧を表示します。 付加情報：①最低気圧、②最高気圧
	8	インマニ圧 <sup>*1</sup>	要	インマニ圧を表示します。(相対圧) 白針：インマニ圧、赤針：最大インマニ圧 付加情報：最大インマニ圧
	9	ブースト圧 <sup>*1</sup>	要	ブースト圧を表示します。(相対圧) 白針：ブースト圧、赤針：最大ブースト圧 付加情報：最大ブースト圧
燃費 燃料	10	燃費 <sup>*2</sup>	要	燃費を表示します。 白針：瞬間燃費、赤針：平均燃費 付加情報：①平均燃費、②今回燃費、③生涯燃費
	11	燃料	要	燃料流量を表示します。 白針：燃料流量、赤針：最大燃料流量 付加情報：①平均燃料流量、②最大燃料流量
温度	12	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 白針：エンジン水温、赤針：最高エンジン水温 付加情報：最高エンジン水温
	13	吸気温	要	吸気温度を表示します。 白針：吸気温、赤針：最高吸気温 付加情報：①最高吸気温
	14	外気温 <sup>*3</sup>	要	外気温度を表示します。 白針：外気温、赤針：最高外気温 付加情報：①最高外気温 ※ 車両によっては、センサーの位置により、車外の気温と異なる場合があります。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
温度	15	エンジン油温 <sup>*4</sup>	要	エンジン油温を表示します。 白針：エンジンオイル温度、赤針：エンジンオイル最高温度
エンジン	16	スロットル開度 <sup>*5</sup>	要	スロットル開度を表示します。 白針：スロットル開度、赤針：最大スロットル開度 付加情報：①平均スロットル開度、②最大スロットル開度
	17	エンジン負荷 <sup>*5</sup>	要	エンジン負荷を表示します。 白針：エンジン負荷、赤針：最大エンジン負荷 付加情報：①平均エンジン負荷、②最大エンジン負荷
	18	回転数 0-4000rpm	要	エンジン回転数を表示します。 (メーター最大値が4000rpm、6000rpm または8000rpm)
	19	回転数 0-6000rpm	要	白針：回転数、赤針：最高回転数
	20	回転数 0-8000rpm	要	付加情報：①平均回転数、②最高回転数
その他	21	マップ		現在地の地図を表示します。小メーターが右側に並びます。 ヘディングアップ、ノースアップの切替と地図色、マップデザインは、「マップ」の「マップ詳細設定」に従います。 フォーカス移動、ズーム、2マップ表示などはできません。 警報パネル、ミニレーダースコープ、道路名、地名は表示しません。
	22	レーダースコープ		レーダースコープを表示します。小メーターが右側に並びます。 スコープ色は変化しません。道路名、地名は表示しません。
	23	衛星情報		衛星情報待受の左側と同様。
	24	OFF		大メーターを表示しません。
	25	HV <sup>*6</sup>	要	エンジン・モーター等の出力を表示します。 白針：HVシステムパワー 赤針：モーターパワー (HV Fr モーターパワーとHV Rr モーターパワーを合わせた数値) 黄針：HVエンジンパワー 付加情報：HV全電池量

※ 1：この数値は1気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。

※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※ 3：車両によっては、センサーの位置により社外の気温と異なる場合があります。

※ 4：別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。

※ 5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※ 6：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) 装着時のみ選択できます。

## 中メーター

配置2で表示される中メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。また、OBDIIアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。付加情報表示「ON /OFF」が選択できます。付加情報は停車時、しばらくすると表示されます。



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
時計	1	時計		時刻を表示します。 付加情報：日付、曜日
速度 加速度	2	速度		速度を表示します。 付加情報：①平均速度 [AVESPD]、 ②最高速度 [MAXSPD]
	3	加速度		前後加速度、左右加速度を表示します。 付加情報：①最大前進加速度 [MAXFWD]、 ②最大左右加速度 [MAXL/R]
エコ ドライブ	4	エコドライブ		エコドライブモニターを表示します。ポイントの増減により、数秒間グラフの色が変化し、数字が点滅します。 acc：急加速、dec：急減速、idle：アイドリング、 esp：経済速度
傾斜・ 方位	5	傾斜		前後左右30°の車両の傾斜を、玉の動きで表示します。 車両の回頭運動を検出しているとき、玉の中に車両が出現します。
	6	方位		車両の進行方向を、画面上方向として表示します。
圧力	7	気圧		現在の気圧を表示します。
	8	インマニ圧 <sup>*1</sup>	要	インタークマニホールド圧を表示します。(相対圧) 付加情報：最大インマニ圧 [MAXINM]
	9	ブースト圧 <sup>*1</sup>	要	ブースト圧を表示します。(相対圧) 付加情報：最大ブースト圧 [MAXBST]
リマイン ダー	10	リマインダー残日数		リマインダー通知までの残り日数が表示されます。 ※ リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
	11	リマインダー残距離	要	リマインダー通知までの残り距離が表示されます。 ※ リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
燃費・ 燃料	12	瞬間燃費 <sup>*2</sup>	要	瞬間の燃費を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
燃費・燃料	13	今回燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	今回走行での平均燃費を表示します。 付加情報：最大今回燃費[MAXAVE] ※1km走行後より ※電源ONごとにリセットされます。
	14	平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	燃費の平均を表示します。
	15	一般道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	16	高速道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	17	生涯燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
温度	18	移動平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	直近16km区間での燃費を数値で、消費燃料をグラフで表示します。グラフは過去16km区間での消費燃料を表示し、2kmごとに更新されます。 付加情報：①最大移動平均燃費[MAXMOV]
	19	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。グラフは消費燃料の量を表示し、データ受信ごとに更新されます。 燃料流量0が継続すると[Fuel Cut]の文字が流れます。
	20	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。 付加情報：最高エンジン水温[MAXENG]
	21	吸気温	要	吸気温度を表示します。 付加情報：最高吸気温度[MAXITK]
エンジン	22	外気温 <sup>*3</sup>	要	車両の外気温度を表示します。 付加情報：最高外気温[MAXAMB]
	23	エンジン油温 <sup>*4</sup>	要	車両のエンジンオイルの温度を表示します。 付加情報：最高エンジンオイル温度[MAXOIL]
	24	スロットル開度 <sup>*5</sup>	要	エンジンのスロットル開度を表示します。 付加情報：①平均スロットル開度[AVETHR]、 ②最大スロットル開度[MAXTHR]
その他	25	エンジン負荷 <sup>*5</sup>	要	エンジンの負荷を0%～100%で表示します。 付加情報：①平均エンジン負荷[AVELOD]、 ②最大エンジン負荷[MAXLOD]
	26	回転数	要	エンジンの回転数をアナログと数値で表示します。 付加情報：①平均回転数[AVERPM]、 ②最大回転数[MAXRPM]
	27	OFF		指定した場所の中メーターを表示しません。
その他	28	潮汐情報		検潮地点名、月齢、潮名を表示します。周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	29	衛星情報		衛星の受信状態を表示します。受信レベルにより、色が6色に変わります。進行方向が上方向です。
	30	警報パネル		警報発生時に警報の種類をお知らせします。登録されている場合は、実写警報に切り替わります。ターゲットの方向を周囲のリングで示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
その他	31	バッテリー電圧 <sup>*4</sup>	要	バッテリーの電圧値を表示します。
	32	バッテリー電流 <sup>*4</sup>	要	バッテリーの充放電の電流値を表示します。
HV1 ※4	33	HV システムパワー <sup>*6</sup>	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	34	HV Fr モータパワー <sup>*6</sup>	要	フロントモーターの出力を表示します。
	35	HV Rr モータパワー <sup>*6</sup>	要	リヤモーターの出力を表示します。
	36	HV Rr トルク配分 <sup>*6</sup>	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	37	HV バッテリー電流 <sup>*6</sup>	要	HVバッテリーの充放電の電流値を表示します。
	38	HV バッテリー電圧 <sup>*6</sup>	要	HVバッテリーの電圧値を表示します。
	39	HV 補機バッテリー電圧 <sup>*6</sup>	要	HV補機バッテリーの電圧値を表示します。
	40	HV 補機バッテリー電流 <sup>*7</sup>	要	HV補機バッテリーの電流を表示します。
HV2 ※4	40	HV 全電池容量 <sup>*6</sup>	要	バッテリーの充電率を表示します。
	41	HV エンジンパワー <sup>*6</sup>	要	エンジンの出力を表示します。
	42	HV 昇圧後電圧 <sup>*6</sup>	要	HVバッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	43	HV アクセル開度 <sup>*6</sup> ※8	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	44	HV エアコン消費電力 <sup>*6</sup>	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	45	HVジェネレータ発電量 <sup>*6</sup>	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	46	HV 滑空 <sup>*6</sup>	要	モーター/エンジンで駆動しているときは「+」、電力を回生しているときは「-」を表示します。

注1：[OBD 設定]→[平均クリア]でリセットされます。

注2：[OBD 設定]→[オールクリア]でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

※1：この数値は1気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。

※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※4：別売品のOBD IIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※6：ハイブリッド車に別売品のOBD IIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※7：ハイブリッド車に別売品のOBD IIアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。

※8：アクセルペダルを踏んでいなくても0%にならない場合があります。

## 小メーター

例として配置1の右側に表示される小メーターは以下の種類が設定可能です。現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。また、OBDIIアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。



小メーター

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度 0-180km/h		速度を表示します。
	2	速度 0-240km/h		(メーター最大値が180km/hまたは240km/h)
エコドライブ	3	エコドライブ		エコドライブポイントを表示します。
加速度	4	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。
	5	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
傾斜・方位	6	ピッチ		前後方向の回転を表示します。
	7	ロール		左右方向の回転を表示します。
	8	コンパス(ヨー)		進行方向を表示します。
	9	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。
	10	ロールレート		ロール角速度を表示します。
圧力	11	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。
	12	気圧		現在の気圧を表示します。
	13	インマニ圧 <sup>*1</sup>	要	インタークマニホールド内の圧力を表示します。(相対圧)
燃費・燃料	14	ブースト圧 <sup>*1</sup>	要	ブースト圧を表示します。(相対圧)
	15	瞬間燃費 <sup>*2</sup>	要	瞬間の燃費を表示します。
	16	今回燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとにリセットされます。
	17	平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	燃費の平均値を表示します。
	18	一般道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。
	19	高速道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。
	20	生涯燃費 <sup>*2</sup> (注2)	要	オールクリアするまでの燃費の平均値を表示します。
温度	21	移動平均燃費 <sup>*2</sup> (注2)	要	直近16km区間での燃費を表示します。
	22	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
	23	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
	24	吸気温	要	エンジンの吸気温度を表示します。
	25	外気温 <sup>*3</sup>	要	外気の温度を表示します。
	26	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エンジン	27	スロットル開度 <sup>*4</sup>	要	エンジンのスロットル開度を表示します。
	28	エンジン負荷 <sup>*4</sup>	要	エンジンの負荷を表示します。
	29	回転数 0-4000rpm	要	エンジン回転数を表示します。
	30	回転数 0-6000rpm	要	(メーター最大値が4000rpm、6000rpmまたは8000rpm)
	31	回転数 0-8000rpm	要	
その他	32	OFF		小メーターを表示しません。
	33	時計		時刻を表示します。
	34	バッテリー電圧 <sup>*5</sup>	要	バッテリーの電圧を表示します。
	35	バッテリー電流 <sup>*5</sup>	要	バッテリーの電流を表示します。
HV1	36	HV システムパワー <sup>*6</sup>	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	37	HV Fr モーターパワー <sup>*6</sup>	要	フロントモーターの出力を表示します。
	38	HV Rr モーターパワー <sup>*6</sup>	要	リアモーターの出力を表示します。
	39	HV Rr トルク配分 <sup>*6</sup>	要	リアモーターへのトルク配分を表示します。
	40	HV バッテリー電流 <sup>*6</sup>	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	41	HV バッテリー電圧 <sup>*6</sup>	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	42	HV 補機バッテリー電圧 <sup>*6</sup>	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	43	HV 補機バッテリー電流 <sup>*7</sup>	要	HV 補機バッテリーの電流値を表示します。
HV2	44	HV 全電池容量 <sup>*6</sup>	要	バッテリーの充電率を表示します。
	45	HV エンジンパワー <sup>*6</sup>	要	エンジンの出力を表示します。
	46	HV 昇圧後電圧 <sup>*6</sup>	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	47	HV アクセル開度 <sup>*6*8</sup>	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	48	HV エアコン消費電力 <sup>*6</sup>	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	49	HV ジェネレーター発電量 <sup>*6</sup>	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	50	HV 滑空 <sup>*6</sup>	要	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」で表示します。

注1：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。

注2：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

※1：この数値は1気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は0を超えません。

※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※4：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※5：別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MIII)を装着時のみ選択できます。

※6：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MIII、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※7：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MIII)を装着時のみ選択できます。

※8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

## 1/8表示、1/14表示

1/8表示は配置4で上下に4項目、配置5で中央に4項目、および配置6で8項目表示されます。

1/14表示は配置7で14項目表示されます。

OBDIIアダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

また、OBDIIアダプターが必要な項目は、アダプターを取り付け後に有効になり表示されます。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		速度を表示します。
	2	平均速度		今回の速度の平均値を表示します。
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道の速度の平均値を表示します。
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道の速度の平均値を表示します。
	5	最高速度		今回の速度の最高値を表示します。
	6	5秒速度	要	発車から5秒後の速度を表示します。
	7	平均5秒速度	要	発車から5秒後の速度の平均値
	8	最高5秒速度	要	発車から5秒後の速度の最高値
走行時間 1	9	走行時間	要	今回の停車していない時間
	10	1-20km/h走行時間	要	各範囲速度での走行時間を表示します。
	11	20-40km/h走行時間	要	
	12	40-60km/h走行時間	要	
	13	60-80km/h走行時間	要	
	14	80-100km/h走行時間	要	
	15	100km/h以上走行時間	要	
	16	運転時間	要	今回の運転時間を表示します。
	17	停車時間	要	今回の停車時間を表示します。
	18	1000mラップ	要	電源 ON から各走行距離ごとにかかった時間を表示します。
19	5000mラップ	要		
20	10000mラップ	要		
走行時間 2	21	0-400m時間	要	発車から各走行距離にかかった時間を表示します。
	22	0-1000m時間	要	
	23	0-400m平均時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の平均時間を表示します。
	24	0-1000m平均時間	要	
	25	0-400m最短時間	要	発車から各走行距離にかかった時間の最短時間を表示します。
	26	0-1000m最短時間	要	
走行比率	27	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率
	28	1-20km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	29	20-40km/h走行比率	要	
	30	40-60km/h走行比率	要	
	31	60-80km/h走行比率	要	

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
走行比率	32	80-100km/h走行比率	要	各範囲の速度で走行している比率を表示します。
	33	100km/h以上走行比率	要	
	34	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率を表示します。
	35	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率を表示します。
	36	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率を表示します。
エコ ドライブ 1	37	エコ総合ポイント		エコドライブ画面の総合ポイントを表示します。
	38	エコ加速ポイント		エコドライブ画面の加速ポイントを表示します。
	39	エコ減速ポイント		エコドライブ画面の減速ポイントを表示します。
	40	エコ経済速度ポイント		エコドライブ画面の経済速度ポイントを表示します。
	41	エコアイドリングポイント		エコドライブ画面のアイドリングポイントを表示します。
	42	アイドリング停止時間*1	要	今回アイドリングストップした時間の累積値を表示します。
	43	最小アイドル停止時間*1	要	アイドリングストップした時間の最小値を表示します。
	44	最大アイドル停止時間*1	要	アイドリングストップした時間の最大値を表示します。
	45	アイドリング時間	要	車速0でエンジンが掛かっていた時間を表示します。
エコ ドライブ 2	46	エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数を表示します。
	47	アイドリング停止回数*1	要	今回アイドリングストップした回数を表示します。
	48	0-10秒停止回数*1	要	アイドリングストップ時間が各範囲の回数を表示します。
	49	10-20秒停止回数*1	要	
	50	20-30秒停止回数*1	要	
	51	30秒以上停止回数*1	要	
	52	0-10秒停止比率*1	要	アイドリングストップ時間が各範囲の比率を表示します。
	53	10-20秒停止比率*1	要	
	54	20-30秒停止比率*1	要	
	55	30秒以上停止比率*1	要	
加速度	56	前後加速度		前後方向の加速度を表示します。
	57	左右加速度		左右方向の加速度を表示します。
	58	最大加速度		加速度の最大値を表示します。
	59	最大減速度		減速度の最大値を表示します。
	60	最大左右加速度		左右加速度の最大値を表示します。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容	
加速時間 1	61	0-20km/h加速時間	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間を表示します。	
	62	0-40km/h加速時間	要		
	63	0-60km/h加速時間	要		
	64	0-80km/h加速時間	要		
	65	0-100km/h加速時間	要		
	加速時間 2	66	0-20km/h平均加速	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の平均時間を表示します。
		67	0-40km/h平均加速	要	
		68	0-60km/h平均加速	要	
		69	0-80km/h平均加速	要	
		70	0-100km/h平均加速	要	
傾斜・ 方位	71	0-20km/h最短加速	要	発車から各速度に達するまでにかかった時間の最短時間を表示します。	
	72	0-40km/h最短加速	要		
	73	0-60km/h最短加速	要		
	74	0-80km/h最短加速	要		
	75	0-100km/h最短加速	要		
傾斜・ 方位	76	ピッチ		前後方向の回転を表示します。	
	77	ロール		左右方向の回転を表示します。	
	78	方位		北を0°とし時計回りに359°の範囲で進行方向を表示します。	
	79	ピッチレート		ピッチ角速度を表示します。	
	80	ロールレート		ロール角速度を表示します。	
	81	ヨーレート		ヨー角速度を表示します。	
	82	最大ピッチレート		最大ピッチ角速度を表示します。	
	83	最大ロールレート		最大ロール角速度を表示します。	
	84	最大ヨーレート		最大ヨー角速度を表示します。	
圧力	85	気圧		現在の気圧を表示します。	
	86	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値を表示します。	
	87	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値を表示します。	
	88	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値を表示します。	
	89	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値を表示します。	
	90	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値を表示します。	
	91	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値を表示します。	
リマイン ダー	92	オイル残日数		オイル設定した期間の残日数	
	93	オイルエレメント残日数		オイルエレメント設定した期間の残日数	
	94	タイヤ残日数		タイヤ設定した期間の残日数	
	95	バッテリー残日数		バッテリー設定した期間の残日数	
	96	オイル残距離	要	オイル設定した距離の残距離	
	97	オイルエレメント残距離	要	オイルエレメント設定した距離の残距離	
	98	タイヤ残距離	要	タイヤ設定した距離の残距離	
	99	バッテリー残距離	要	バッテリー設定した距離の残距離	

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容	
燃費	100	瞬間燃費 <sup>*2</sup>	要	瞬間の燃費を表示します。	
	101	今回燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	今回走行での燃費の平均値を表示します。 ※電源ONごとりにリセットされます。	
	102	最大今回燃費(注1)	要	今回走行時の燃費の最大値を表示します。	
	103	平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	燃費の平均値を表示します。	
	104	一般道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	一般道での燃費の平均値を表示します。	
	105	高速道平均燃費 <sup>*2</sup> (注1)	要	高速道での燃費の平均値を表示します。	
	106	生涯燃費 <sup>*2</sup> (注2)	要	オールリセットするまでの燃費の平均値を表示します。	
	107	移動平均燃費 <sup>*2</sup>	要	直近16km区間での燃費を表示します。	
	108	最大移動平均燃費	要	16km区間での移動平均燃費の最大値を表示します。	
	燃料	109	燃料流量	要	燃料の流量を表示します。
110		平均燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の平均値を表示します。	
111		最大燃料流量	要	今回走行時での燃料流量の最大値を表示します。	
112		残燃料	要	残りの燃料を表示します。	
113		燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)を表示します。	
114		今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料を表示します。	
115		消費燃料(注1)	要	消費燃料を表示します。	
距離	116	生涯消費燃料(注2)	要	オールリセットするまでの消費燃料を表示します。	
	117	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離を表示します。	
	118	走行距離(注1)	要	走行距離を表示します。	
	119	生涯走行距離(注2)	要	オールリセットするまでの走行距離を表示します。	
	120	今回エンジン走行距離	要	エンジンで走行した距離を表示します。	
	121	生涯エンジン走行距離	要	オールリセットするまでのエンジンで走行した距離を表示します。	
	温度	122	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度を表示します。
123		最高エンジン水温	要	エンジン水温の最高値を表示します。	
124		吸気温	要	吸気温度を表示します。	
125		最高吸気温	要	吸気温の最高値を表示します。	
126		外気温 <sup>*3</sup>	要	外気温度を表示します。	
127		最高外気温	要	外気温の最高値を表示します。	
128		エンジン油温 <sup>*4</sup>	要	エンジンオイルの温度を表示します。	
129		最高エンジン油温 <sup>*4</sup>	要	エンジン油温の最高値を表示します。	
エンジン		130	スロットル開度 <sup>*5</sup>	要	スロットルバルブの開度を表示します。
		131	平均スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の平均値を表示します。
	132	最大スロットル開度	要	今回走行時のスロットル開度の最大値を表示します。	
	133	エンジン負荷 <sup>*5</sup>	要	エンジンにかかる負荷を表示します。	
	134	平均エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の平均値を表示します。	
	135	最大エンジン負荷	要	今回走行時のエンジン負荷の最大値を表示します。	
	136	MAF	要	エンジンに吸気される空気量を表示します。	

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エンジン	137	INJ	要	インジェクション噴射時間を表示します。
	138	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期を表示します。
	139	回転数	要	エンジンの回転数を表示します。
	140	平均回転数	要	今回走行時の回転数の平均値を表示します。
	141	最高回転数	要	今回走行時の回転数の最高値を表示します。
衛星	142	全衛星受信数		現在の全衛星受信数を表示します。
	143	GPS受信数		現在のGPS受信数を表示します。
	144	GLONASS受信数		現在のGLONASS受信数を表示します。
	145	QZSS受信数		現在のQZSS受信数を表示します。
	146	SBAS受信数		現在のSBAS受信数を表示します。
	147	GALILEO受信数		現在のGALILEO受信数を表示します。
その他	148	OFF(18表示のみ)		メーターを表示しません。
	149	カレンダー		カレンダーを表示します。
	150	高度		現在地の高度を表示します。
	151	バッテリー電圧*4		バッテリーの電圧を表示します。
	152	バッテリー電流*4		バッテリーの電流を表示します。
HV1	153	HVシステムパワー*6	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	154	HV Fr モータパワー*6	要	フロントモーターの出力を表示します。
	155	HV Rr モータパワー*6	要	リヤモーターの出力を表示します。
	156	HV Rr トルク配分*6	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	157	HV バッテリー電圧*6	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	158	HV バッテリー電流*6	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	159	HV 補機バッテリー電圧*6	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	160	HV 補機バッテリー電流*7	要	HV 補機バッテリーの電流を表示します。
	161	HV 全電池容量*6	要	バッテリーの充電率を表示します。
	162	HV エンジンパワー*6	要	エンジンの出力を表示します。
	163	HV 昇圧後電圧*6	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
HV2 ※2	164	HV アクセル開度*6※8	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	165	HV エアコン消費電力*6	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	166	HV ジェネレータ発電量*6	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	167	HV 滑空*6	要	モーター/エンジンで駆動している時は「+」、電力を再生している時は「-」で表示します。

注1：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。

注2：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットされます。「平均クリア」ではリセットされません。

※1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ項目名が切り替わります。

42：今回アイドリングストップ時間→今回エンジンストップ時間

43：最小アイドリングストップ時間→最小エンジンストップ時間

44：最大アイドリングストップ時間→最大エンジンストップ時間

47：今回アイドリングストップ回数→今回エンジンストップ回数

48：0-10秒アイドルストップ回数→0-10秒エンジンストップ回数

49：10-20秒アイドルストップ回数→10-20秒エンジンストップ回数

50：20-30秒アイドルストップ回数→20-30秒エンジンストップ回数

51：30秒以上アイドルストップ回数→30秒以上エンジンストップ回数

52：0-10秒アイドルストップ比率→0-10秒エンジンストップ比率

53：10-20秒アイドルストップ比率→10-20秒エンジンストップ比率

54：20-30秒アイドルストップ比率→20-30秒エンジンストップ比率

55：30秒以上アイドルストップ比率→30秒以上エンジンストップ比率

※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費と一致しない場合があります。数値の補正はできません。

※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。

※4：別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。

※5：アイドリング中でも0%にならない場合があります。

※6：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)を装着時のみ選択できます。

※7：ハイブリッド車に別売品のOBDIIアダプター(OBD12-MⅢ)を装着時のみ選択できます。

※8：アクセルペダルを踏み込んでいなくても0%にならない場合があります。

今回アイドリングストップ時間 2:20

今回エンジンストップ時間 5:51

## フォトフレーム

表示するデータは、ディスプレイユニットにあらかじめ装着されているディスプレイユニット用SDカードの所定のフォルダにパソコンなどで保存する必要があります。(P.119)



・フォトフレーム画像

写真の切替時間、切替時の表示方法、写真の表示範囲、特殊効果の設定ができます。

## 衛星情報

画面左に、進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

緑色：みちびき、ひまわり、GAGAN

橙色：グロナス

紫色：GALILEO

青色：GPS

画面右には、仰角の高い順に、6基の衛星情報を表示します。

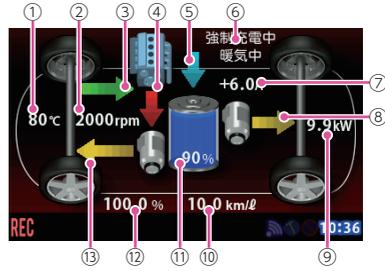


- ① 衛星位置・方位  
衛星の仰角と方位角を位置として表示。外周に方位を示します。
- ② 衛星種類・受信レベル  
電波を受信している衛星の種類と受信電波のレベルを示します。

## ハイブリッド1

ハイブリッド情報を表示します。  
 走行中はタイヤが回転します。また、エンジンやモーターが振動する場合があります。  
 エンジンの色は状態により変化します。

白色：停止  
 緑色：アイドル  
 赤色：駆動  
 水色：エンジンプレーキ



	表示内容
①	エンジン水温
②	回転数
③	緑色(→)の場合…エンジンプレーキ 黄色(←)の場合…エンジン駆動
④	赤色(↓)ジェネレータ発電
⑤	青色(↓)の場合…HVバッテリー充電 黄色(↑)の場合…HVバッテリー放電
⑥	強制充電中、暖気中の表示
⑦	HVバッテリー電流

	表示内容
⑧*	緑色(←)の場合…リアモーター回生 黄色(→)の場合…リアモーター駆動
⑨	HVエアコン消費電力
⑩	瞬間燃費
⑪	バッテリー残量
⑫	今回エンジン走行比率
⑬	緑色(→)の場合…フロントモーター回生 黄色(←)の場合…フロントモーター駆動

※ リアモーターが無い場合は表示しません。

## ■ バッテリー残量

青色のレベルでバッテリー残量を表示します。

状態	100～80%	79～60%	59～40%	39～20%	19～0%
アイコン					

## ハイブリッド2

ハイブリッド情報を表示します。  
 一定時間ごとに背景が回転します。



- ① HVシステムパワー
- ② HV Frモーターパワー
- ③ HV エンジンパワー
- ④ 回転数
- ⑤ エンジン水温
- ⑥ HV全電池容量
- ⑦ HVバッテリー電流
- ⑧ HV 昇圧後電圧
- ⑨\*1 HV Rrモーターパワー
- ⑩\*1 HV Rrトルク配分比

※ 1：リアモーターが無い場合は表示しません。

## 警報について

### 1. 警報画面

取締りレーダー波を探知したり、注意度の高いオービスや取締りエリアなどのGPSターゲットから1km(高速道では2km)に近づくと、待受画面から「フルマップレーダースコープ」や「実写警報 (REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面 (マップ・クラシック・シンプル)に切り替わります。

※ [待受⇄警報画面切替 2/3] (P.111)で、[待受固定]を選択の場合は、画面が切り替わりません。



### 警報画面 警告ムービー 4色識別アラーム



**赤** 赤警報 「嚴重注意ターゲット」  
 ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。

**黄** 黄警報 「要注意ターゲット」  
 取締りエリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

**青** 青告知 「少し注意ターゲット」  
 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青背景で告知します。

**緑** 緑情報 「安全運転のための情報」  
 ETC レーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

### 実写警報 「REAL PHOTO(リアルフォト)」

#### オービス実写例



- ・ 高速道のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- ・ 実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- ・ 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

#### 取締りエリア実写例



- ・ 実写データがない取締りエリアでは、イメージ写真で表示します。
- ・ 一時停止取締りエリアはエリア内でのみ表示します。

## マップ画面の警報パネル表示について

警報画面(マップ)での警報時に表示される警報パネルの表示を切り替えることができます。警報パネルは数秒表示したのち、登録されている地点では実写警報に切り替わります。実写警報の切り替えは待受画面→[設定TOP]→[待受]→[警報画面]→「マップ詳細設定」→[▶]×1回→[マップパネル 2/5]で設定を変更できます。

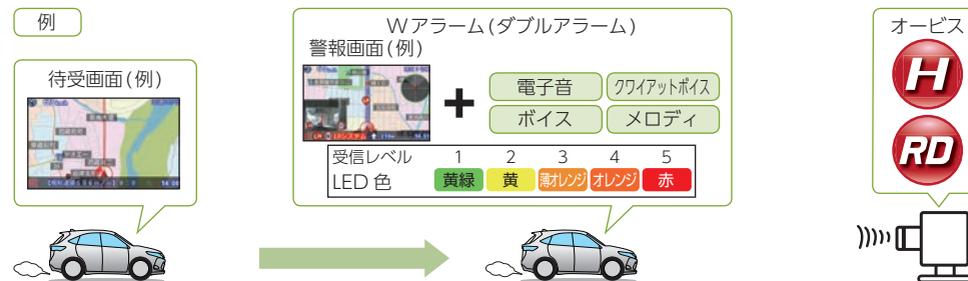
パネルなし	1パネル(初期値)	2パネル
		
マップのみで、警報パネルを表示しません。	画面に小さな警報パネルが表示されます。	画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。警報距離内にある最大2件の警報を行います。miniレーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。

## 取締りレーダー波を受信すると…

警報・告知を行うマップ画面に切り替わります。

※ [待受⇄警報画面切替 2/3] (P.111) で、[待受固定] を選択の場合は、画面が切り替わりません。

※ 電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディは変更できます。(P.132)



### 1. ジングル

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことで、

例

「ジングル」+「〇〇m先オービスです」

オービス

### 2. Wアラーム(ダブルアラーム)

音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

### 3. 後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

### 4. オートクワイアット

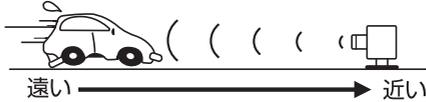
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

### 5. ミュート機能

警報中にジャンプウィンドウの[MUTE]にタッチすると、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

## 2. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

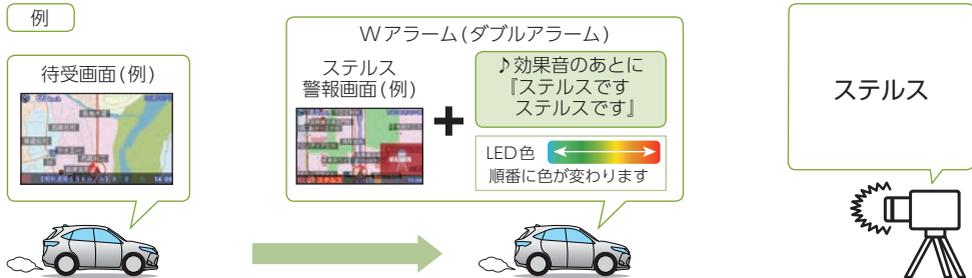
取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーー—』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

## 3. ステルス波を受信すると

警報を行うマップ画面と専用の警報ボイスで警告します。

※ [待受⇄警報画面切替 2/3] (P.111) で、[待受固定] を選択の場合は、画面が切り替わりません。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音(メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。

## 4. レーダー波3識別(iDSP)について

レーダー探知機能は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル (P.125) により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]

[アイキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

・iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

■ ステルス波



■ 通常レーダー波



■ キャンセル告知



・フルマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。

100 ・新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

## GPS ターゲットに接近すると…

### 1. フルマップレーダースコープ

本機に登録されたGPS ターゲットに近づくと、「待受⇄警報画面切替 2/3」で接近切替 (1000/500m) (P.111) のときは待受画面から全国版フルマップ上でターゲットの存在をお知らせする警報画面に切り替わります。走行している道路の先にあるGPS ターゲットを前もって知ることができます。



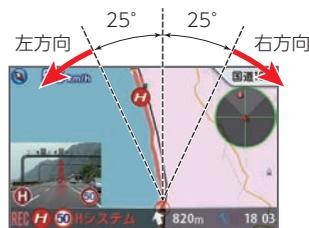
- ※ 1：制限速度表示は、オービス(ループコイル/ LH システム/新H システム/レーダー式オービス)と一部の取締りエリア警報時に表示します。
- ※ 制限速度表示は、オービス(ループコイル/ LH システム/新H システム/レーダー式オービス)と一部の取締りエリア警報時に表示します。
- ※ 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- ※ 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ※ GPS非測位時、走行速度は表示しません。
- ※ OBDIIアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

# 警報ボイスについて

## 1. 左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

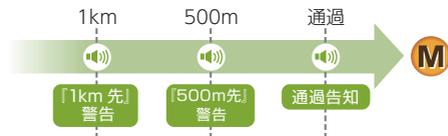
- ・「右方向」、「左方向」のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

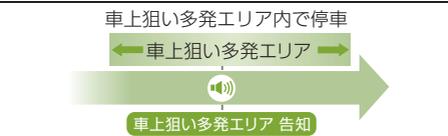
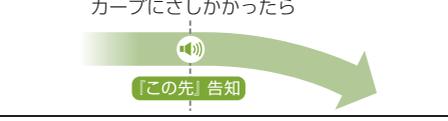


※ この画面のイラストは説明用です。実際の画面とは異なります。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
<b>オービス5段階警報</b>	2km(高速道のみ) 1km 500m 直前 通過	※ 1km手前では制限速度もお知らせします。普通自動車の制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応していません。 ※ 500m手前ではカメラ位置もお知らせします。 ※ 直前では走行速度告知も行います。 ※ 制限速度切替告知は高速道路のみでLED色は黄色になります。
<b>LC</b> (ループコイル)	[2km先] 警報	
<b>LH</b> (新Hシステム)	[1km先] 警報	
<b>H</b> (LHシステム)	[500m先] 警報	
<b>RD</b> (レーダー式)(小型オービス)	制限速度告知 カメラ位置告知 直前走行速度告知 速度超過告知	通過告知 制限速度切替告知
	※ オービス警報時の音(オービスジングル)は変更できます。(P.141)	
	LED色 <b>赤</b>	
	※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。	

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS警告音の音(警報ジングル)は変更できます。(P.141)	
<b>取締りエリア</b>	1km エリア進入 エリア脱出	※ GPS警告時の音(オービスジングル)は変更できます。(P.132) ※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ レーダー探知機能に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。 ※ トンネル内追尾式取締りエリア、「トンネル出口直後速度取締りエリア」から脱出した場合は、取締り圏外識別警告は行いません。 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない取締りエリアは、制限速度告知を行いません。
(移動オービス)	[1km先] 警告	取締りエリア 警告
(速度取締り)	制限速度告知	取締り圏外 識別警告
(追尾式取締り)		
(交差点取締り)		
(その他取締り)		
	LED色 <b>黄</b>	レベル 1 2 3 4 5 取締り頻度 低 高
<b>STOP</b> (一時停止取締り)	約100m	※ レーダー探知機能に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。
	[すぐ先] 警告	
	LED色 <b>黄</b>	
<b>検問エリア</b>	1km エリア進入 エリア脱出	※ 1km手前では左右方向もお知らせします。 ※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。
(シートベルト検問)	[1km先] 警告	検問エリア 警告
(携帯電話検問)		検問圏外 識別警告
(飲酒検問)		
(その他の検問)		
	LED色 <b>黄</b>	レベル 1 2 3 4 5 取締り頻度 低 高
(交差点監視ポイント)	約300m	
	[すぐ先] 警告	
	LED色 <b>黄</b>	
(信号無視抑止システム)	約300m	
	[すぐ先] 警告	
	LED色 <b>黄</b>	
(高速交通警察隊)	500m	
	[500m先] 警告	
	LED色 <b>黄</b>	

ターゲットの種類	🚗 お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS警告音の音(警告ジングル)は変更できます。(P.141) ※ GPS告知時の音(告知ジングル)は変更できます。(P.141)	
 (駐禁監視エリア) LED色 黄	 駐禁監視エリア 駐禁最重点(重点)エリア 警告	※ レーダー探知機能に 登録されている違法 駐車取締りガイドライン の最重点地域・重点 地域内で停車するとお 知らせします。
※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。		
 (一時停止注意 ポイント)	<b>サイレント警報</b> MAP上のアイコンで表示します。	※ 東京都23区/名古屋市 内/大阪市内の一時停止 ポイントが登録されてい ます。
 (マイエリア) LED色 黄	 1km 500m 通過 「1km先」警告 「500m先」警告 通過告知	※ 移動オービスがよく出 没する地点や、新たに 設置されたオービスポ イントなどをマイエリ アとして自由に登録で きます。
 (ゾーン30エリア) LED色 黄	 エリア告知	※ ゾーン30エリアに入ると お知らせします。
※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。		
 (ラウンドアバウト)	<b>サイレント警報</b> MAP上のアイコンで表示します。	
 (Nシステム) LED色 青	 約300m 「すぐ先」告知	※ Nシステム： 自動車ナンバー読み取 り装置
 (交通監視システム) LED色 青	 約300m 「すぐ先」告知	※ 交通監視システム： 画像処理式交通流計測 システムなど
 (警察署) LED色 青	 500m 「500m先」告知	
 (交番) LED色 青	 500m 「500m先」告知	

ターゲットの種類	🚗 お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があ ります。 ※ GPS告知時の音(告知ジングル)は変更できます。(P.141)	
 (事故多发エリア) LED色 青	 約300m 「すぐ先」告知	
 (車上狙い多发エリア) LED色 青	 車上狙い多发エリア内で停車 車上狙い多发エリア 車上狙い多发エリア 告知	※ レーダー探知機能に 登録されている車上 狙い多发域内で停車す ると、お知らせします。
※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。		
 (踏切)	<b>サイレント警報</b> MAP上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能に 登録されている踏切 ポイントのアイコンを 表示します。
 (急(連続)カーブ) (高速道路のみ) LED色 青	 カーブにさしかかったら 「この先」告知	※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。
 (分岐(合流) ポイント) (高速道路のみ) LED色 青	 分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら 「この先」分岐告知 「この先」合流告知	※ GPSの受信状況やGセ ンサー/ジャイロセン サーの動作状況により、 インターチェンジ出口走 行中に、本線の分岐を告 知することがあります。
※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。		
 (ETCレーン) LED色 緑	 ETCレーンにさしかかったら ETCレーン お知らせ	※ ETCレーンの位置に よって「右側/左側/中 央/両サイド」でお知ら せします。 ※ 交通量や時間による ETCレーンの位置変更 には対応しておりませ ん。目安としてお考え ください。
※ アイコンは「マップ」画面 上には表示されません。		
※ 実際の料金所のブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合 は実際の標識にしたがって進入してください。		
 (サービスエリア)  (パーキングエリア)  (ハイウェイオアシス) LED色 緑	 1km 「1km先」お知らせ 「スマートインターチェンジ」お知らせ 「ガステーション」お知らせ	※ サービスエリア、パー キングエリアおよびハ イウェイオアシスのお 知らせをOFFに設定す ると、スマートインター チェンジ、ガステーション のお知らせも行 いません。

ターゲットの種類	🚗 お知らせするタイミング(距離)	
	※ GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS告知時の音(告知ジングル)は変更できます。(P.141)	
(長い(連続)トンネル) (高速道路のみ) LED色 緑		
(ハイウェイラジオ) (高速道路のみ) LED色 緑		※ ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。 受信エリア
(県境)(高速道路および主要一般道路のみ) LED色 緑		※ 県境に接近するとお知らせします。 ※ 全ての道路の県境が登録されているわけではありませんのであらかじめご了承ください。
※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。		
(道の駅) LED色 緑		
(ビューポイント・パーキング) LED色 緑		
(駐禁エリア付近駐車場)	サイレント警報 MAP上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている駐車場のアイコンを表示します。
(消防署)	サイレント警報 MAP上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている消防署のアイコンを表示します。
(公衆トイレ)	サイレント警報 MAP上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。

## 各種無線電波を受信すると…

アンテナユニットは、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線14バンド} = 17 \text{ BAND}$$

### ■ 無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

## 1. 無線14バンド受信機能

※ 無線受信時の音(無線ジングル)は変更できます。(P.141)

無線の種類	LED	説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム)  『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』* ※ カーロケ無線の発信源が遠ざかった可能性が高いとき	ピンク 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締り無線 『取締り無線です』	ピンク	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線 『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われます。その電波を受信して、移動局が近くにいる可能性を察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締り特小無線 『特小無線です』	水色	取締り現場では、取締り無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締りをしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

無線の種類	LED	説明
署活系無線 🔊『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使う無線が署活系無線です。
警察電話 🔊『警察電話です』	水色	移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 🔊『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用する無線です。
レッカー無線 🔊『レッカー無線です』	水色	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用します。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 🔊『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用していない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 🔊『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用していない場合は受信できないことがあります。
消防無線 🔊『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 🔊『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 🔊『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。
警備無線 🔊『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

## 2. ベストパートナー 6 識別

各無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号]

### ■ ベストパートナー機能を使用するには…

「カーロケ無線」「取締り無線」「デジタル無線」の設定 ( P.122 ) をすべて「ON」にする。

※ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	LED	説明
並走追尾注意 🔊『スピード注意』 (2回繰り返し)	ピンク	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意 🔊『遠ざかりました』 (2回繰り返し)	ピンク	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締り注意 🔊『取締り注意』 (2回繰り返し)	ピンク	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき
検問注意 🔊『検問注意』 (2回繰り返し)	ピンク	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別 🔊『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	ピンク 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 🔊『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

## 設定メニューの表示方法

待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ[設定TOP]にタッチします。変更したい項目を選択すると各種設定が細かく変更できます。



設定	
待受	… P.111
モード	… P.122
警報	… P.128
画面・LED	… P.130
音声	… P.132
投稿	… P.135
リマインダー	… P.139
システム	… P.140
カスタム	… P.141
DR	… P.161
OBD	… P.143
WLAN	… P.148

### ■ [EXIT]と[BACK]について

画面左下にある[EXIT]にタッチすると待受画面に戻ります。

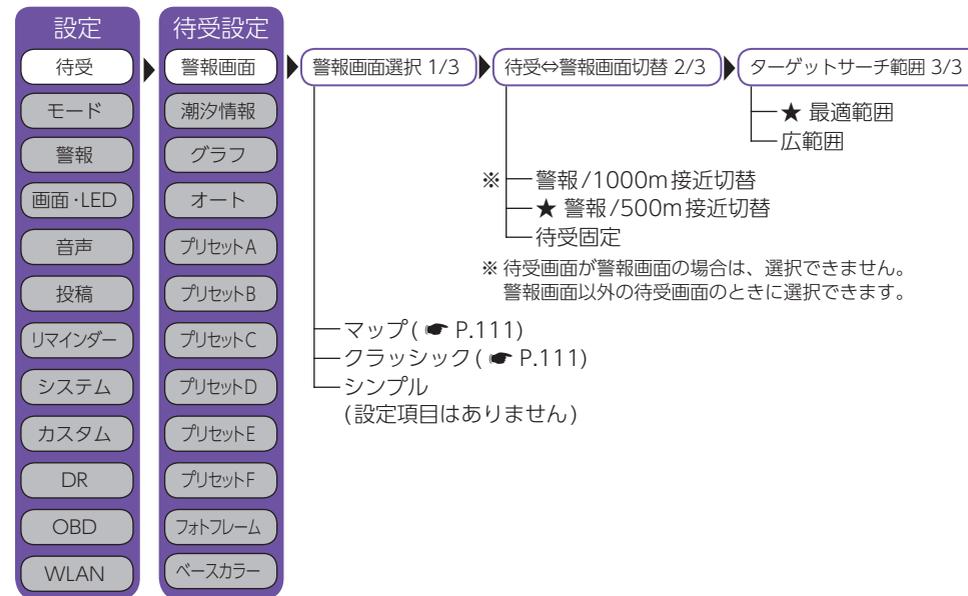
[BACK]にタッチすると表示していた画面のひとつ前の画面に戻ります。



## 待受

### 1. [警報画面]の説明

★：初期値



#### ■ 警報画面選択 1/3

- ・マップ …… 全国版の地図が表示され、その上を自車アイコンが移動します。
- ・クラシック …… 自車とターゲットの位置をシンプルな画面で表示します。
- ・シンプル …… 最小限の情報と大きな警報パネルで表示します。

#### ■ 待受⇄警報画面切替 2/3

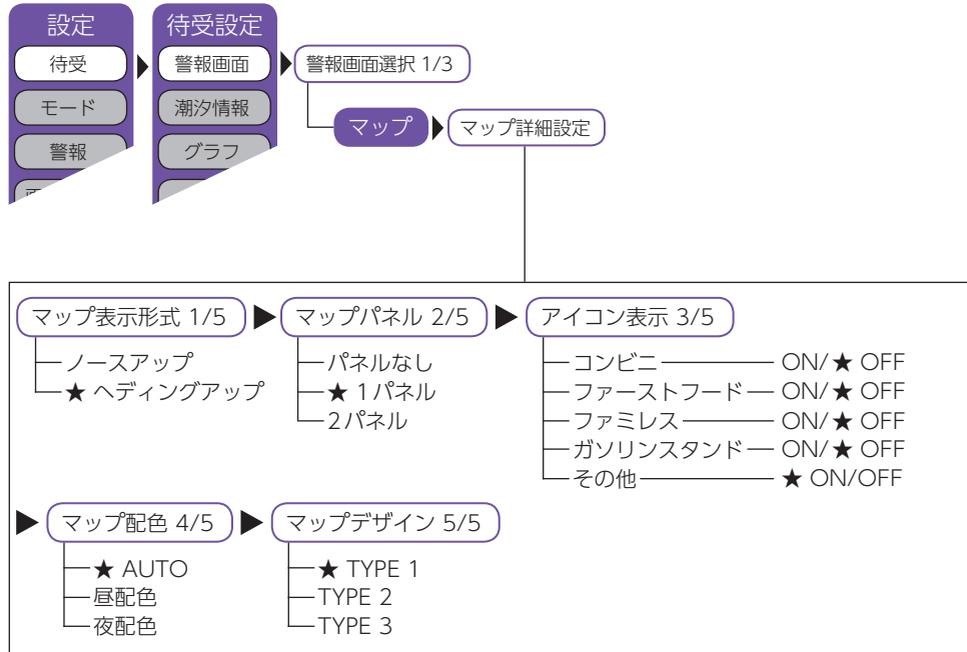
- ・警報 1000m(500m) 接近切替 …… 警報音声発生時、またはターゲットが約 1000m(500m)まで接近すると、待受画面が警報画面以外の場合は警報画面に自動的に切り替わります。
- ・待受固定 …… ターゲットが近づいても設定した待受画面で固定され、メッセージウィンドウによる警告を行います。  
※ 「フォトフレーム」[OFF]ではメッセージウィンドウは常時表示されません。

#### ■ ターゲットサーチ範囲 3/3

- ・最適範囲 …… ターゲットに応じて、最適な距離になってから表示を行います。
- ・広範囲 …… 赤、黄ターゲットに対して広範囲な警告を行います。

## 2. [マップ詳細設定]の説明

★：初期値



- マップ表示形式 1/5** ※2マップの場合は左側のマップ画面に適用されます。
  - ・ノースアップ……………常に北が上の状態で地図が表示されます。
  - ・ヘディングアップ……………常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。
- マップパネル 2/5** (P.98)
  - ・パネルなし……………マップ画面のみを表示し、警報パネルを表示しません。
  - ・1パネル……………画面の左側に小さな警報パネルが表示されます。
  - ・2パネル……………画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。miniレーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自転車との位置関係がわかるようになっています。
- アイコン表示 3/5**
  - ・ON/OFF……………画面の地図上に表示される「コンビニ」、「ファーストフード」、「ファミレス」、「ガソリンスタンド」、「その他」のアイコンのON/OFFを設定できます。

## ■ マップ配色 4/5

- ・AUTO / 昼配色 / 夜配色……………AUTOを選択すると、日の出～日没は昼配色、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は夜配色になります。それぞれ配色を固定することもできます。



<昼配色>

<夜配色>

## ■ マップデザイン 5/5

- ・TYPE 1……………初期値の画面です。右上の表示欄には道路名称、または住所を表示します。
- ・TYPE 2……………道路のコントラストを重視した画面です。右上の表示欄には常に住所が表示されます。
- ・TYPE 3……………青色をベースにシンプルにした画面です。右上の表示欄には住所と道路名称の2つを表示します。  
※TYPE 3にした場合、アイコンのデザインが変更されます。

例：夜配色の場合



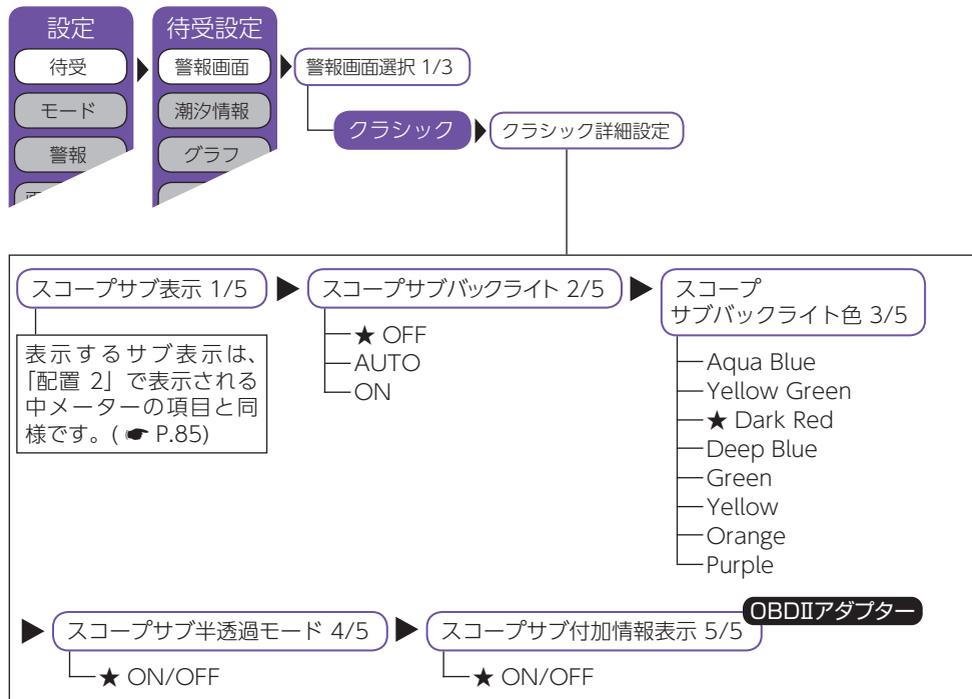
<TYPE 1>

<TYPE 2>

<TYPE 3>

### 3. [クラシック詳細設定]の説明

★：初期値



#### ■ スコープサブ表示 1/5

スコープサブ表示を選択するとクラシック画面の左上にサブ表示がひとつ表示されます。表示するサブ表示は「配置 2」で表示される中メーターの項目と同様です。(P.85)

警報パネルを選択して、警報が必要な距離に無い場合はスコープサブ表示は表示されません。また、画面下にも警報情報が表示されます。

#### ■ スコープサブバックライト 2/5、スコープサブバックライト色 3/5

スコープサブ表示の背景色が、フレックスディマーにより夜間と判定された時や、トンネルなどで周囲が暗くなった時(画面・LEDの設定でフレックスディマーを「照度センサ+衛星情報」に設定が必要)、およびOBDIIアダプターによる接続時にGPSが受信できなかった場合(トンネル内など)にスコープサブ表示の背景色が変わります。また、背景色を8種類から選択できます。

※ スコープサブバックライト 2/5が「OFF」の場合、スコープサブバックライト色 3/5の選択ができません。スコープサブバックライトを「OFF」以外にしてから選択をしてください。

#### ■ スコープサブ半透過モード 4/5

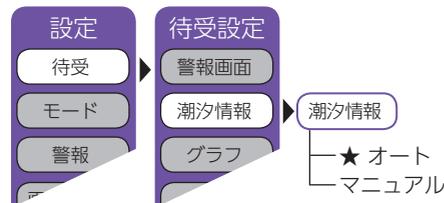
スコープサブ半透過モードをONにすると、スコープサブ表示の背景が半透明になります。

#### ■ スコープサブ付加情報表示 5/5 **OBDIIアダプター**

スコープサブ付加情報表示をONにすると、車両が停車してしばらくすると今回の走行情報を表示します。車両が動き出すと、通常の表示に戻ります。OBDIIアダプターで接続すると有効になります。

### 4. [潮汐情報]の説明

★：初期値



#### ■ 検潮所自動選択

検潮所自動選択をオートにすると、GPS測位によって得られた現在地近辺の情報を表示します。マニュアルにすると、全国の登録された102地点から選択できます。

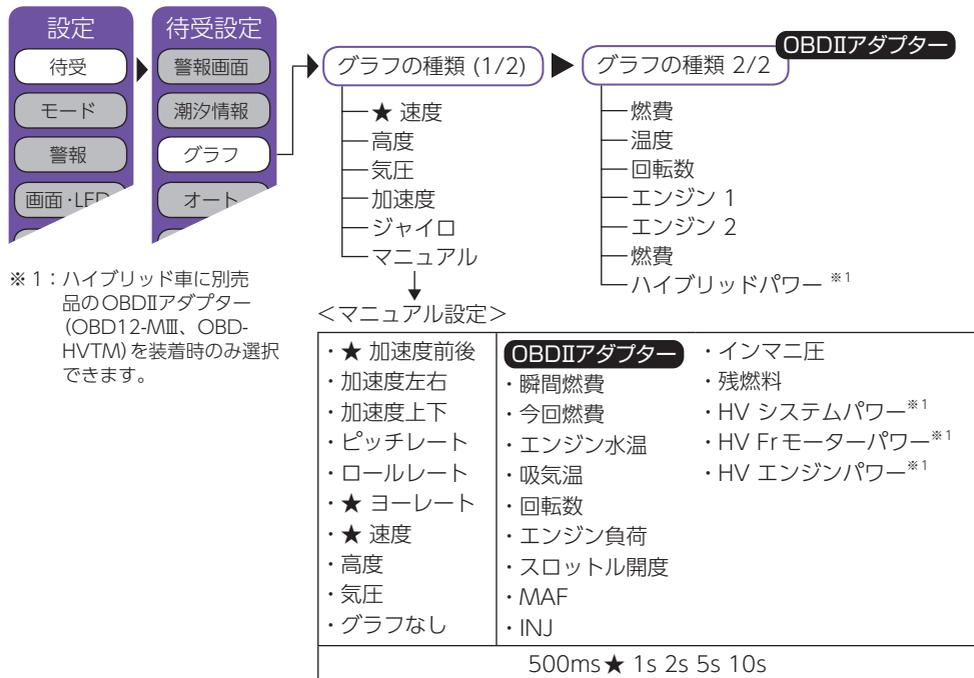
※ 初期値は「オート」です。

全国登録地点(以下より選択可能)

・稚内	・船渡	・布良	・神津島	・師崎	・洲本	・高知	・長崎	・那覇
・網走	・鮎川	・千葉	・三宅島	・鳥羽	・富山	・土佐清水	・口之津	・南大東島
・花咲	・仙台新港	・晴海	・八丈島	・尾鷲	・能登	・宇和島	・三角	・石垣島
・釧路	・相馬	・芝浦	・父島	・熊野	・三国	・松山	・大分	・与那国島
・小樽	・小名浜	・横須賀	・南鳥島	・浦神	・舞鶴	・境	・油津	
・苫小牧西	・深浦	・大島(岡田)	・舞阪	・串本	・宇野	・西郷	・大泊	
・函館	・秋田	・江ノ島	・赤羽根	・白浜	・呉	・浜田	・鹿兒島	
・下北	・酒田	・下田	・豊橋港	・御坊	・広島	・徳山	・枕崎	
・亀飛	・粟島	・石廊崎	・形原	・和歌山	・高松	・下関	・対馬	
・八戸	・新潟西港	・内浦	・名古屋	・淡輪	・小松島	・博多	・福江	
・宮古	・佐渡	・清水港	・鬼崎	・大阪	・阿波由岐	・佐世保	・種子島	
・釜石大	・大洗勝浦	・御前崎	・衣浦	・神戸	・室戸岬	・大浦	・奄美大島	

## 5. [グラフ]の説明

★：初期値



※1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIIアダプター (OBDI12-MIII、OBDI-HVTM) を装着時のみ選択できます。

### ■ グラフの種類 1/2 (※OBDIIIアダプターで接続すると「1/2」になります。)

車両の変化をグラフ表示します。マニュアルに設定すると最大3項目を同時に表示できます。

- ・速度 ..... 速度の変化を表示します。
- ・高度 ..... 高度の変化を表示します。
- ・気圧 ..... 気圧の変化を表示します。
- ・加速度 ..... 車両の前後、左右、上下方向の加速度変化を表示します。
- ・ジャイロ ..... 「ピッチレート」「ロールレート」「ヨーレート」の変化を表示します。
- ・マニュアル ..... [マニュアル]にタッチすると、マニュアル設定が有効になります。最大3項目のグラフが表示でき、それぞれのグラフの更新時間を設定できます

### ■ グラフの種類 2/2 **OBDIIIアダプター**

本機をOBDIIIアダプターで接続すると、さまざまなエンジン情報をグラフで表示できます。

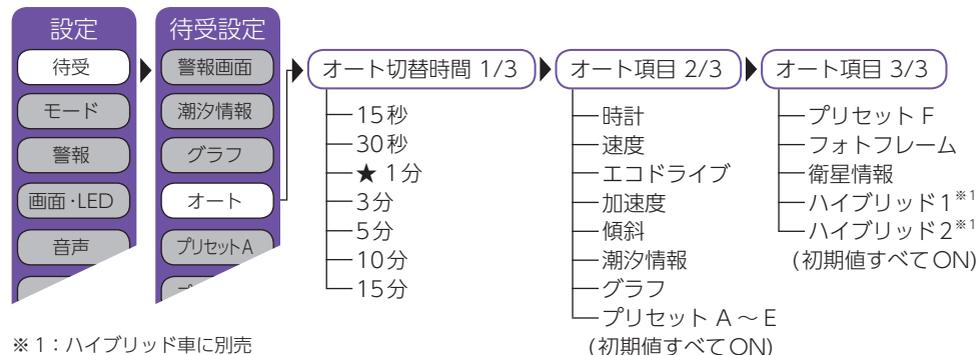
- ・燃費 ..... 車両の燃費の変化を表示します。
- ・温度 ..... 各種温度の変化を表示します。
- ・回転数 ..... エンジン回転数の変化を表示します。

- ・エンジン 1 ..... 「エンジン負荷」「スロットル開度」の変化を表示します。
- ・エンジン 2 ..... 「MAF」「INJ」「インマニ圧」の変化を表示します。
- ・燃料 ..... 「残燃料」「燃料レベル」の変化を表示します。
- ・ハイブリッドパワー ..... 「HVシステムパワー」「HVFr モーターパワー」「HVエンジンパワー」の変化を表示します。

※ 車両により、表示できない項目があります。

## 6. [オート項目]の説明

★：初期値



※1：ハイブリッド車に別売品のOBDIIIアダプター (OBDI12-MIII、OBDI-HVTM) を装着時のみ選択できます。

### ■ オート切替時間 1/3

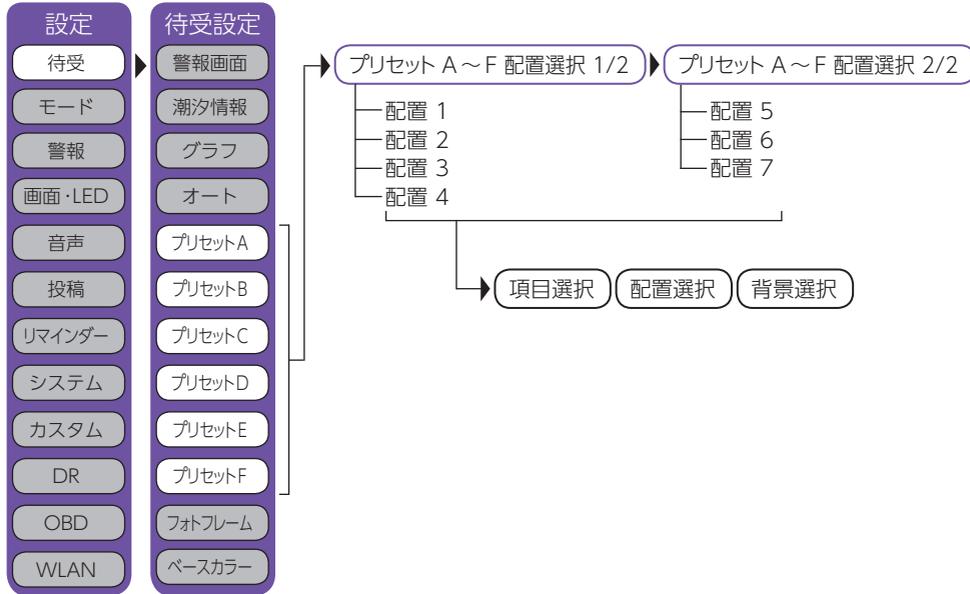
待受設定で「オート」を選択した場合に、待受画面の切り替わる時間を設定できます。

### ■ オート項目 2/3, 3/3

待受設定で「オート」を選択すると、選択した待受画面を順にスライド表示します。

※ 初期値は、すべて「ON」です。

## 7. [プリセット]の説明



### ■ プリセット A～F

プリセットA～Fに表示する配置をプリセットごとに設定できます。配置を選択し、表示された位置のメーター、項目をダイレクトに選択、変更できます。また、プリセットごとに背景を設定することもできます。

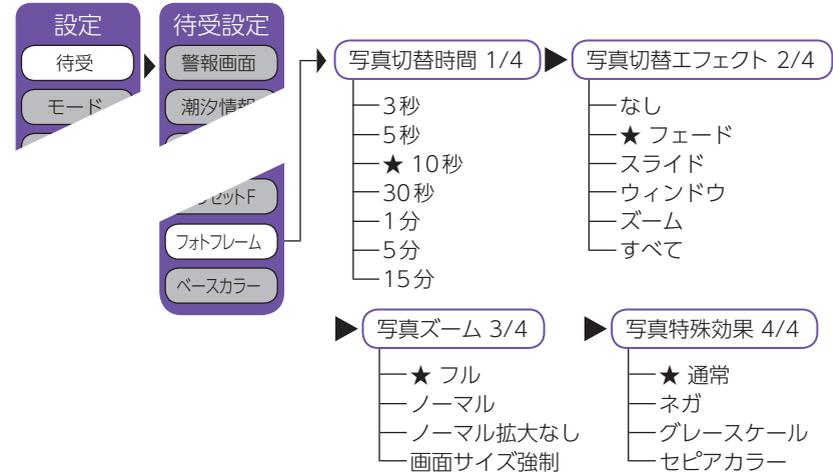
- ・配置は7種類から選択できます。項目はOBDIIアダプターで接続すると最大210項目以上から選択できます。

※ 車両により、表示できない項目は選択できません。

※ 背景画像を設定するには、あらかじめ付属品のディスプレイユニット用SDカードに写真データを保存する必要があります。写真データの保存方法は、「フォトフレーム」の項目を参照ください。

## 8. [フォトフレーム]の説明

★：初期値



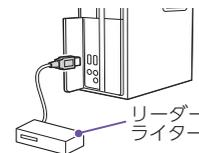
本機能は、あらかじめ装着されているディスプレイユニット用SDカード、または別売品の「無線LAN機能付きSDカード(OP-WLSD16)」の所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。

画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。再生される写真の順番は、ほぼSDカードに書き込まれた写真の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

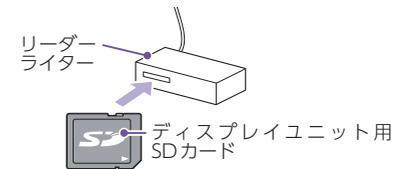
※ ディスプレイユニットに装着されていたディスプレイユニット用SDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようご注意ください。

### ■ 画像保存方法

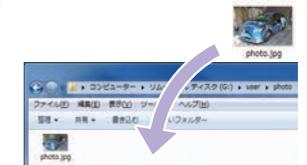
#### 8-1 リーダーライターをパソコンに接続する



#### 8-2 ディスプレイユニット用SDカードをリーダーライターに挿入する



#### 8-3 データを入れる



画像データをSDカードの「user」→「photo」フォルダに入れます。

「photo」以下4階層までフォルダ対応可能。

- ・画像データ対応形式(拡張子)：JPEG(.jpg)
- ・最大画像サイズ：幅または高さ8,000ピクセル
- ・最大保存ファイル数：最大100ファイル(ディスプレイユニット用SDカードの容量を超えない範囲)
- ・最大ファイル容量：約3MB(1ファイル)

### ■ 写真切替時間 1/4

ディスプレイユニット用SDカードに保持された写真データの表示を切り替える時間を設定できます。3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、15分の中から選択します。

※初期値は「10秒」です。

### ■ 写真切替エフェクト 2/4

写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択できます。

- ・なし……………現在の写真が瞬時に、次の写真に切り替わります。
- ・フェード……………現在の写真が徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・スライド……………横から次の写真がスライドして、次の写真に切り替わります。
- ・ウィンドウ……………現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって、次の写真に切り替わります。
- ・ズーム……………現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・すべて……………「なし」以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

### ■ 写真切替ズーム 3/4

写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

- ・フル……………写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ・ノーマル……………写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ・ノーマル拡大なし……………写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
- ・画面サイズ強制……………写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

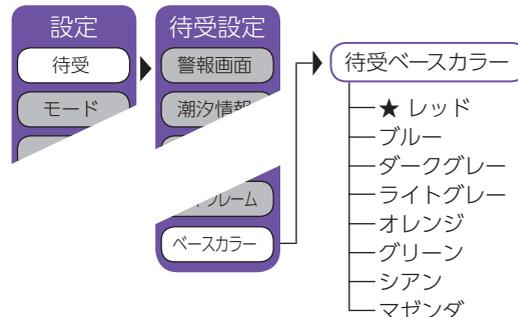
### ■ 写真特殊効果 4/4

写真データの表示方法を変更できます。

- ・通常……………写真データをそのまま表示します。
- ・ネガ……………ネガポジ反転して表示します。
- ・グレースケール……………白黒写真にして表示します。
- ・セピアカラー……………セピア職にして表示します。

## 9. [ベースカラー]の説明

★：初期値



### ■ 待受ベースカラー

待受画面のベースカラーをレッド/ブルー/ダークグレー/ライトグレー/オレンジ/グリーン/シアン/マゼンダの8種類から選択できます。



# モード

## 1. [モード]の説明

本機にはカスタマイズを行うためのプリセットが4種類（「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」）と、お好みによりすべての機能を個別に設定できる「マニュアルモード」があります。初期値は「ノーマルモード」です。

### ノーマルモード

機能同士のバランスを重視したモードです。

### ミニマムモード

レーダー、無線、GPSすべてにおいて、最低限の項目だけをONに設定します。

### スペシャルモード

取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。

### オールオンモード

すべての機能をONに設定します。

### マニュアルモード

すべての機能を個別にON / OFFが設定できます。

## 2. モードの変更方法

### 2-1 待受画面にタッチする



### 2-2 [設定TOP]にタッチする



### 2-3 [モード]にタッチする



### 2-4 設定したいプリセットを選択し、[EXIT]にタッチする



選択したモードに変更されます。  
※ 選択したモードは、青色になります。

## ■ レーダーの設定

項目	画面表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
iキャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	125
キャンセルサウンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	126
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	126

## ■ GPSの設定

項目	アイコン	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
オービス		ON	ON	ON	ON	ON	79
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
制限速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
カメラ位置告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
取締エリア		レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	80
検問エリア		レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	80
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	80
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	80
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	80
駐禁監視エリア※		ON	OFF	ON	ON	ON	81
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	81
Nシステム		OFF	OFF	ON	ON	ON	81
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	81
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	81
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	81
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
急(連続)カーブ※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
分岐合流ポイント※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
ETCレーン※		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82

項目	アイコン	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
SA(サービスエリア)	SA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
PA(パーキングエリア)	PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ハイウェイオアシス	OA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
スマートIC	SA PA OA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ガステーション	SA PA	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
トンネル	T	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ハイウェイラジオ	WR	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
県境※	C	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
道の駅	ES	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ビューポイントパーキング	BP	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
駐車場	P	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
消防署	F	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
公衆トイレ	WC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ゾーン30※	30	ON	OFF	ON	ON	ON	81
ラウンドアバウト	RA	OFF	OFF	ON	ON	ON	81

※「マップ」画面上に表示されません。

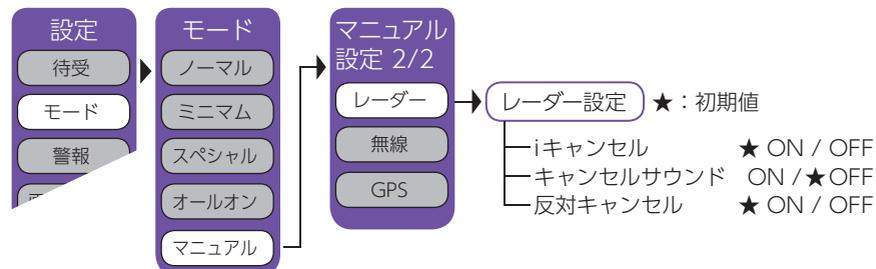
### ■ 無線の設定

項目	画像表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	-
カーaoke無線	Z カーaoke近接	ON	ON	ON	ON	ON	107
取締無線	Z 取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	107
デジタル無線	Z デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	107
取締特小無線	Z 特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	108
警活系無線	Z 署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	108
警察電話	Z 警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	108
警察活動無線	Z 警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	108
レッカー無線	Z レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	108
ヘリテレ無線	Z ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108
消防ヘリテレ無線	Z 消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108

項目	画像表示	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
消防無線	Z 消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108
新救急無線	Z 新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108
JH(高速道路)無線	Z 高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108
警備無線	Z 警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	108

### 3. マニュアルモードでのレーダー設定

※「お好みモード選択機能の設定」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



※ マニュアルにタッチすると「モード1/2」になります。

### ■ アイキャンセル(iキャンセル)【特許 第3902553号、第4163158号】

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

※登録数は、アイキャンセル、マイエリア( P.65)、マイキャンセルエリア( P.64)の合計で10,000箇所まで可能です。

※10,000箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

### ■ アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目]



※ GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。

※ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。

※ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。

※ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。

※ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」( P.140)をご覧ください。

## ■ キャンセルサウンド（アイキャンセルサウンド）

アイキャンセル中、マイキャンセル中に、『キャンセル中です』と10秒に1回音声を発する機能です。

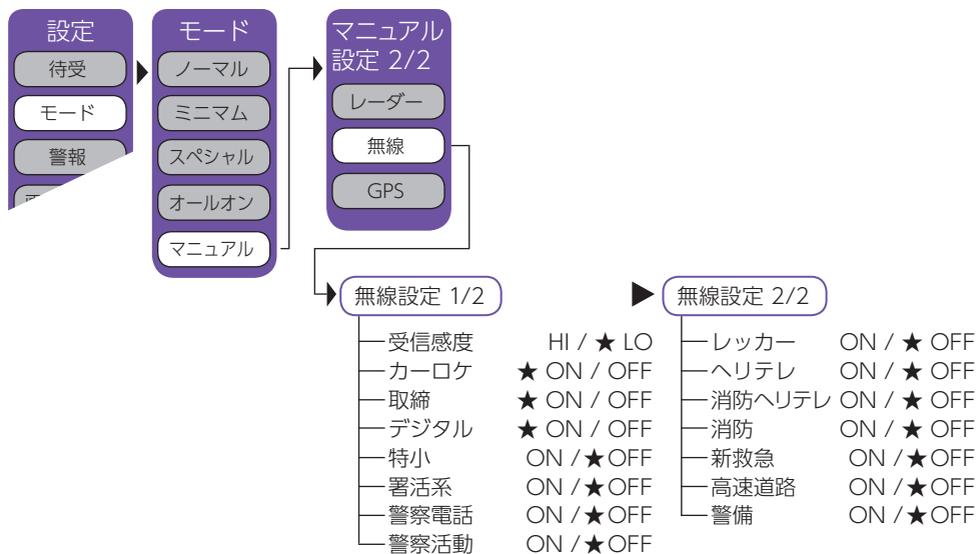
## ■ 反対キャンセル（反対車線オービスキャンセル機能）

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

## 4. マニュアルモードでの無線設定

★：初期値

※「お好みモード選択機能の設定でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

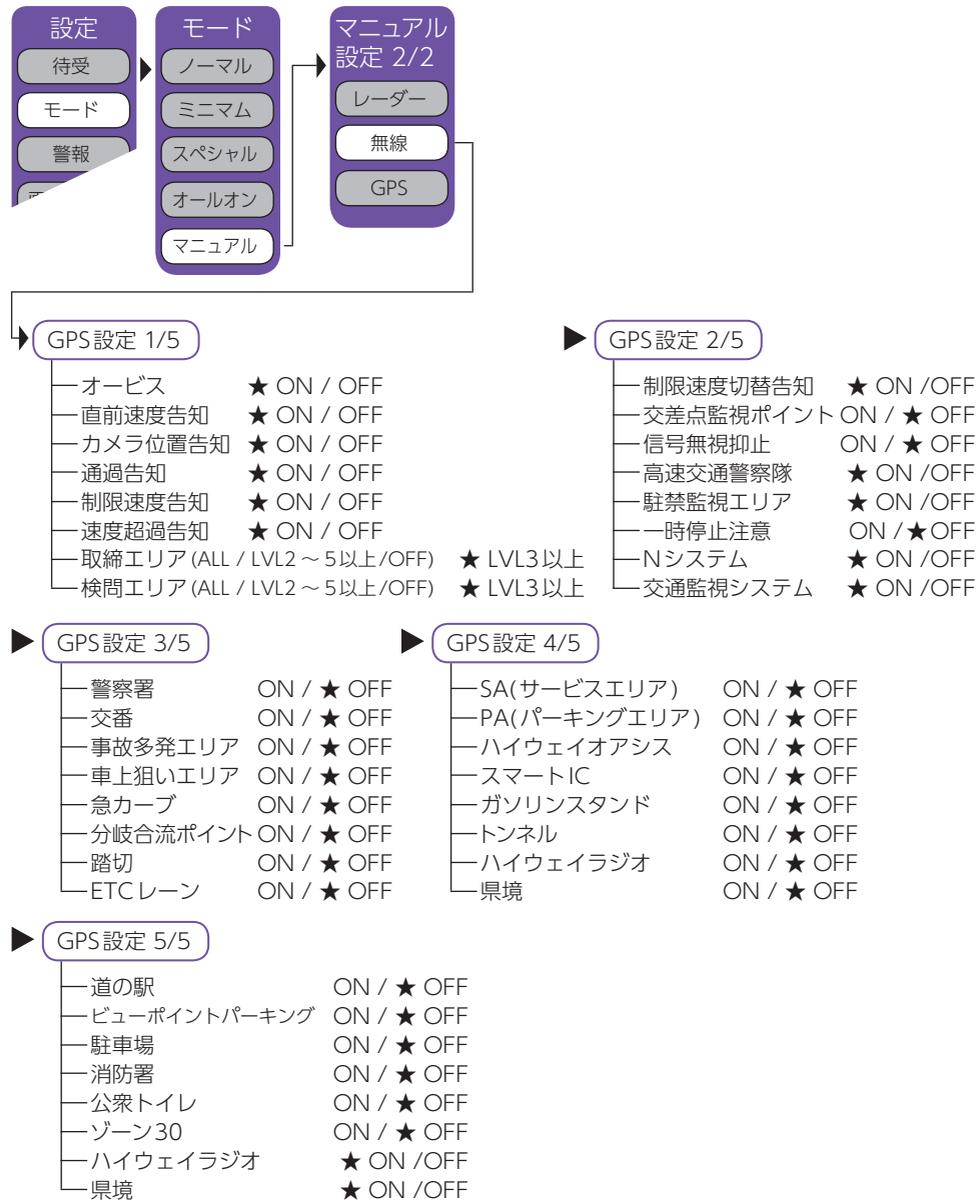


設定項目の詳細説明は ● P.107「無線14バンド受信機能」を参照ください。

## 5. マニュアルモードでのGPS設定

★：初期値

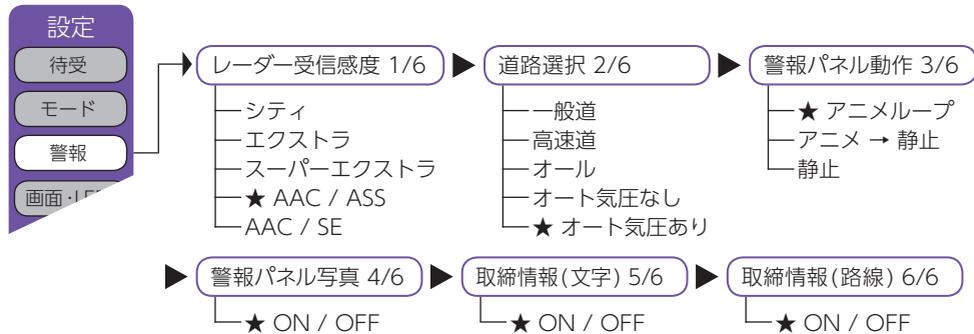
※「お好みモード選択機能の設定」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



設定項目の詳細説明は ● P.102「警報ボイスについて」を参照ください。

1. [警報]の説明

★：初期値



■ レーダー受信感度 1/6

レーダー受信感度を選択できます。

※ 受信感度が高いほど速くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ周波数の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度を選択ください。

● 「シティ」・「エクストラ」・「スーパーエクストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラ	高速道
↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

● 「AAC/ASS」

GPS測位機能(別売品のOBDIIアダプターで接続されている場合はOBD車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

・AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

・ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

GPS測位機能(別売品のOBDIIアダプター(● P.19)で接続されている場合はOBDII車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km ~ 29km		警報しない
30km ~ 39km	シティ	警報する
40km ~ 79km	エクストラ	
80km ~	スーパーエクストラ	

※ 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエクストラになります。  
 ※ 走行中にGPSが測位できなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(別売品のOBDIIアダプター(● P.19)で接続されている場合を除く。)

● 「AAC/ASS」

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカット(AAC)し、時速30km以上は受信感度がスーパーエクストラに固定されます。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km ~ 29km		警報しない
30km ~	スーパーエクストラ	警報する

※ GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。(別売品のOBDIIアダプター(● P.19)で接続されている場合を除く。)

■ 道路選択 2/6

GPS 警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート気圧なし」「オート気圧あり」から選択することができます。

※ GPS54識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし オート気圧あり	走行道路(一般道か高速道)をGPSの位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ・一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道/高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ・GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

■ 警報パネル動作 3/6

警報時に表示される警報パネルの動作を設定できます。

- ・アニメループ …………… 警報パネルのアニメーションを警報終了まで繰り返します。
- ・アニメ→静止 …………… 警報パネルのアニメーションを行った後は、警報パネルの静止画を表示します。
- ・静止 …………… 警報パネルのアニメーションを行わず、警報パネルの静止画を表示します。

■ 警報パネル写真 4/6

警報時に表示される警報パネルを表示した後に、「実写警報 REAL PHOTO」の表示を行うかの設定ができます。「ON」に設定すると、警報パネルを表示した後に実写警報パネルに切り替わります。「OFF」に設定すると、警報パネルを警報終了まで表示し、実写警報パネルに切り替わりません。

■ 取締情報(文字) 5/6

メッセージウィンドウに表示される取締り情報のON/OFFを設定できます。

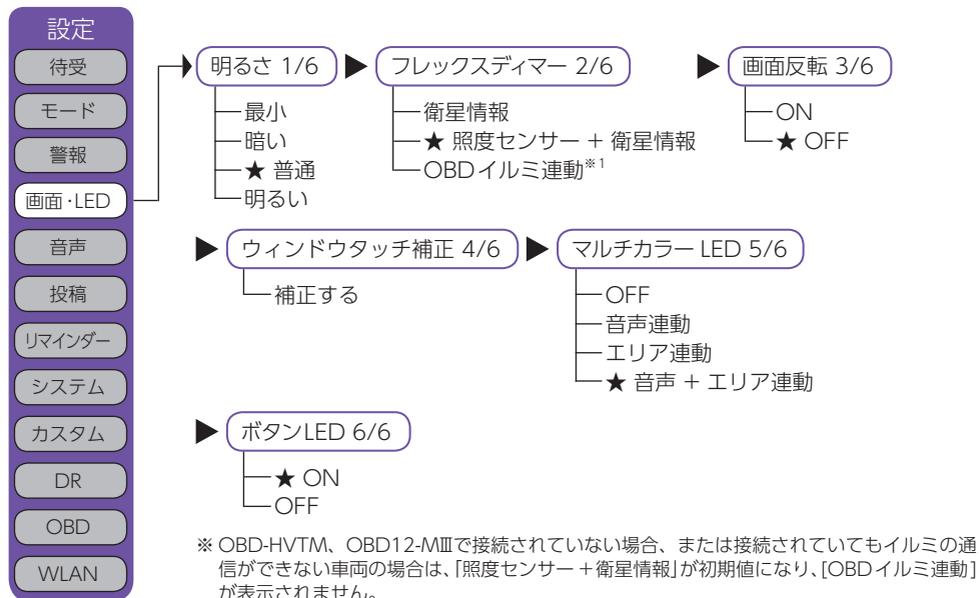
■ 取締情報(路線) 6/6

地図上の路線に表示される取締り情報のON/OFFを設定できます。

# 画面・LED

## 1. [画面・LED]の説明

★：初期値



※ 1：別売品のOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を装着時のみ選択できます。

### ■ 明るさ 1/6

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「普通」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

### ■ フレックスディマー 2/6

画面明るさの「昼照度」「夜照度」を切り替えるために衛星による時間・位置で切り替えるか、周囲の明るさ [ 照度センサー ] と衛星による時間・位置で切り替えるかを選択します。初めてOBDIIアダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) で接続し、本機を取り付けた場合などに [OBD イルミ連動] が表示されませんが、イルミ信号を受信すると表示されます。

※ 取付位置によっては、設定を「照度センサー + 衛星情報」にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

### ■ 画面反転 3/6

[ON]に設定すると、画面表示の上下を反転することができます。

### ■ ウィンドウタッチ補正 4/6

画面にタッチしたときの反応が悪い場合やズレがある場合、次の手順でタッチパネルを補正してください。

1. [補正する]にタッチすると「ウィンドウタッチ補正」の画面が表示されます。画面に表示される[+]に爪先などでタッチしてください。
2. [+]位置が移動して表示されますので、それぞれの[+]位置にタッチしてください。
3. 補正が完了すると「ウィンドウタッチ補正終了」が表示され、[OK]にタッチすると設定画面に戻ります。

### ■ マルチカラー LED 5/6

警報の種類によりLEDの色、明るさで警報をお知らせします。

- ・OFF ..... 警報時に一切点灯しません。
- ・音声連動 ..... 警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音の大きさに応じて明るさが変化します。
- ・エリア連動 ..... 警報するターゲットからの距離、状況によって、各警報色のLEDを点灯します。優先度の高い警告が優先されます。ターゲットとの距離により点滅し、接近するにつれて点滅が速くなります。
- ・音声 + エリア連動 ..... 警音声連動の光り方が優先され、音声連動の警告条件が成立しない場合は、エリア連動で光ります。音声連動、エリア連動両方の警告条件が成立しなかった場合は点灯しません。

### ■ ボタンLED 6/6

表示部のキーの点灯のON/OFFを切り替えます。[OFF]に設定すると消灯します。

1. [音声]の説明

★：初期値



■ ナレーター切替 1/11

警告時やお知らせ時の口調を6種類から選べます。お好みに応じて選択してください。

日本語女性 1 ~ 4	お好みに応じて選択してください。
日本語男性	
英語女性	

■ ボイスモード 2/11

ボイスモードを切り替えると本機のお知らせ内容を切り替えることができます。

- ・ノーマル …… 従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
- ・アシスタント …… ノーマルに加え、「あいさつ」「ベストパートナー+ (プラス)」「日没告知」「リマインダー告知」「オービスカウントダウン (残り距離 400mから)」を追加します。
- ・アドバイス …… アシスタントに加え、「オービスカウントダウン (残り距離 900mから)」「その他」を追加します。

追加ボイスについて

- ・ベストパートナー+ (プラス)：従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPSの複合で判断します。
- ・日没告知：GPSによって計算された日没時間になるとお知らせします。
- ・リマインダー告知：リマインダーを設定し、設定に到達したときに、画面とともに音声でもお知らせします。
- ・オービスカウントダウン：オービスに接近したときに、100mごとに残り距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。
- ・あいさつ：電源ONにし、GPSを測位したときに、時間や日付によりあいさつします。
- ・その他：安全やエコに関するお知らせをします。「照度低下告知 (周辺が暗くなったとき)」「エコドライブ告知 (エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

■ レーダー警報音 3/11

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

- ・電子音 …… 『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
- ・ボイス …… ♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
- ・クワイアットボイス …… ♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
- ・メロディ 1 …… オリジナルメロディ パターン1 (メロディ 1) で警報します。
- ・メロディ 2 …… オリジナルメロディ パターン2 (メロディ 2) で警報します。
- ・メロディ 3 …… オリジナルメロディ パターン3 (メロディ 3) で警報します。
- ・メロディローテーション …… レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム (メロディ 1→メロディ 2→メロディ 3の順) で警報します。

■ 無線警報音 4/11

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「ボイスクラシック」「復調クラシック」「OFF」の中から選択できます。

※「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

「ボイス」設定のとき

- ・各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- ・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
- ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- ・カーロケ無線 (● P.107) とベストパートナー6識別 (● P.109) は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

## 「ボイスクラシック」設定のとき

- ・各無線を受信すると、電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。
- ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

## 「復調クラシック」設定のとき

- ・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを電子音とボイスでお知らせします。
- ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- ・カーロケ無線(● P.107)とベストパートナー6識別(● P.109)は、復調を行わず、電子音とボイスによるお知らせのみとなります。

## ■ オービスロケーション 5/11

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

## ■ 速度警告音 6/11

時速110km/hを超えると電子音で速度オーバーを警告します。GPSが非測位の時は警告できません。

OBDIIアダプターで接続した場合はGPSが非測位の時でも警告を行います

## ■ 測位アナウンス 7/11

「測位アナウンス」のON/OFFが選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源をONにしてから、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

## ■ リラックスチャイム 8/11

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています、休憩しませんか?』とお知らせします。

## ■ 時報 9/11

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

## ■ 操作音 10/11

「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

## ■ 起動音 11/11

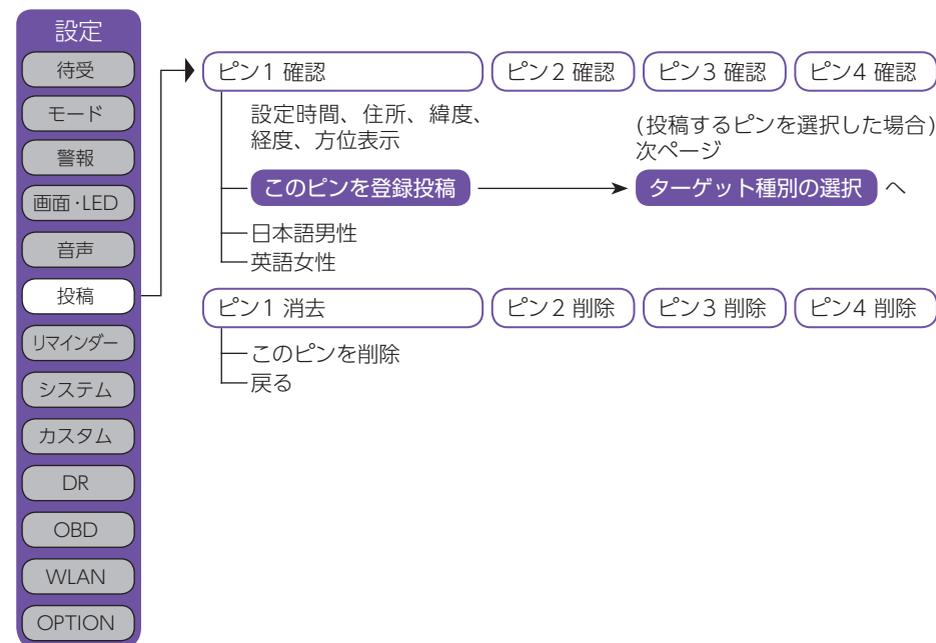
「ON」に設定すると、本体起動時に起動音が出ます。

## 投稿

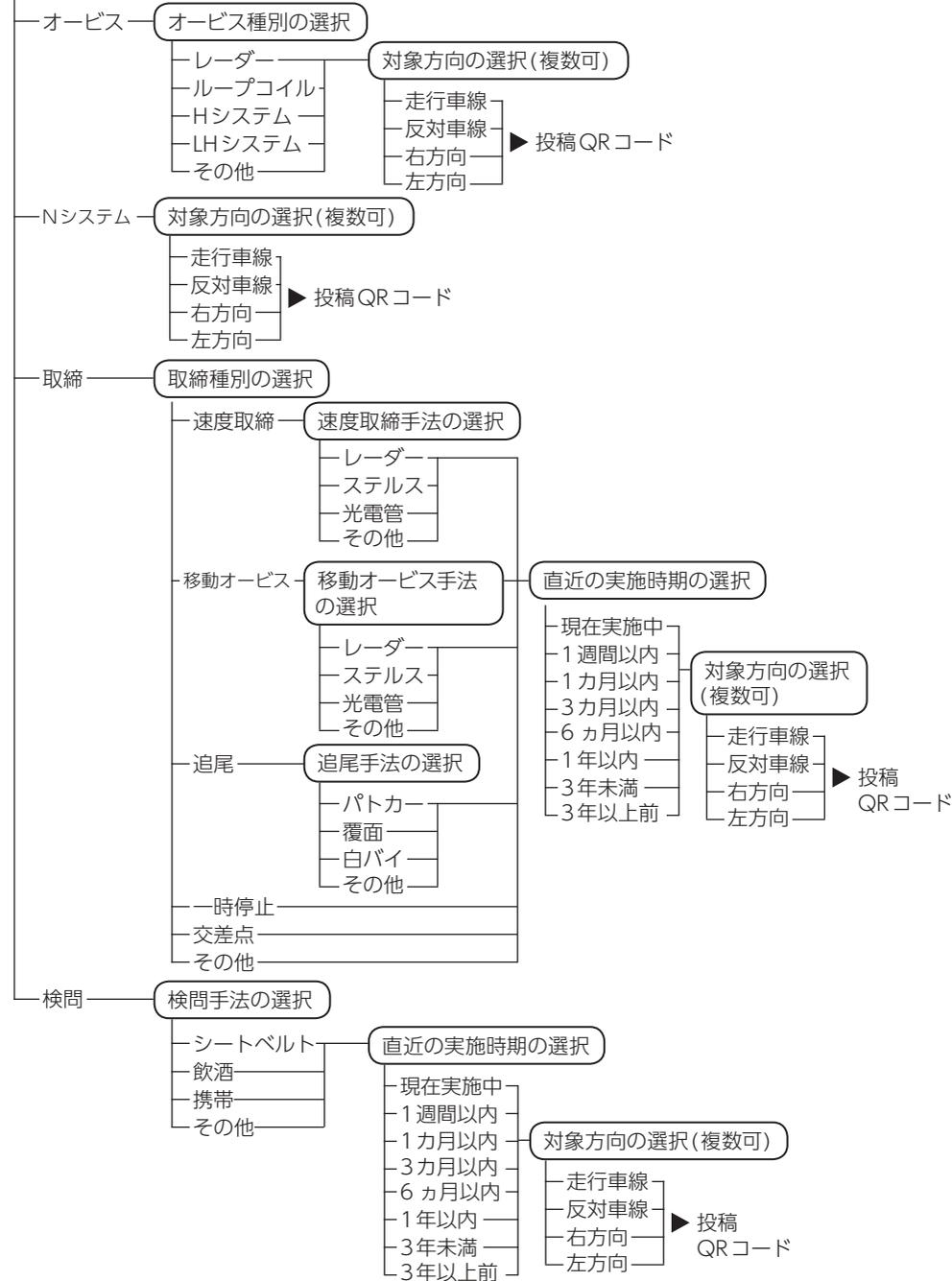
### 1. [投稿]の説明

投稿ピンメニューにそって、投稿のためのQRコードを表示できます。

設定→投稿ピンメニューから投稿するピンを選択します。最大4箇所のピンが登録でき、それぞれ個別にピンを削除できます。登録されたピンの項目が有効になります。



## ターゲット種別の選択



## 投稿ピンメニュー

登録されているピンの項目が有効になっているので、投稿するピンの項目にタッチします。設定された日時、住所、緯度経度、方位が表示されます。「このピンを登録投稿」にタッチすると、投稿情報の編集画面に移動します。「このピンを削除投稿」は、以前取締り機があったが撤去された場合などに使用します。

## ターゲット種別の選択

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

- ・オービス ..... 道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締り装置。
- ・Nシステム ..... 道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
- ・取締 ..... 人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締りや、車両に測定装置を積載しての取締り、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締り。
- ・検問 ..... すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

## オービス種別の選択

オービスの種類を選択します。

- ・レーダー ..... 車両に向けてレーダー波を放射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。アンテナユニットでレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
- ・ループコイル ..... 道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
- ・Hシステム ..... 車両に向けてレーダー波を放射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
- ・LHシステム ..... 道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。測定装置付近にパトランプが設置されています。
- ・その他 ..... 上記に当てはまらない、またはよく分からない場合。

## 対象方向の選択(複数可)

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

- ・走行車線 ..... 自車の進行方向に向かって設置されています。
- ・反対車線 ..... 自車の進行方向と反対方向(反対車線)に設置されています。
- ・右方向 ..... 自車に対して右方向の道路に設置されています。
- ・左方向 ..... 自車に対して左方向の道路に設置されています。

## ■ 取締種別の選択

取締りの種類を選択します。

- ・速度取締 …………… 歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締り。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合があります。
- ・移動オービス …………… ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締り。
- ・追尾 …………… 車両により走行中の自車を追尾しての取締り。
- ・一時停止 …………… 一時停止違反の取締り。
- ・交差点 …………… 信号無視などの取締り。
- ・その他 …………… 上記に当てはまらない場合。

### 速度取締り、移動オービス手法の選択

- ・レーダー …………… レーダー波を用いた取締り。
- ・ステルス …………… 計測する瞬間だけ電波を発射する取締り。
- ・光電管 …………… 道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締り。
- ・その他 …………… 上記以外の手法による取締り。

### 追尾手法の選択

- ・追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面(パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

## ■ 直近の実施時期の選択

取締りが行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1ヶ月以内」「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」「1年以内」「3年未満」「3年以上前」から選択します。

## ■ 検問手法の選択

検問の種類を選択します。

- ・シートベルト …………… シートベルト検問。
- ・飲酒 …………… 飲酒運転検問。
- ・携帯 …………… 携帯電話検問。
- ・その他 …………… 上記以外の検問。

## ■ 投稿QRコード

QRコードの読み取り以外に、WLAN経由での投稿もできます。

あらかじめ、接続先設定と My Yupiteru ID、パスワードの設定が必要です。

WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]を選択するとサーバーへ接続し、投稿を行い、以下が表示されます。



成功：「投稿完了 投稿ありがとうございました」

My Yupiteruにログインできないとき：「ID又はパスワードが違います」

## リマインダー

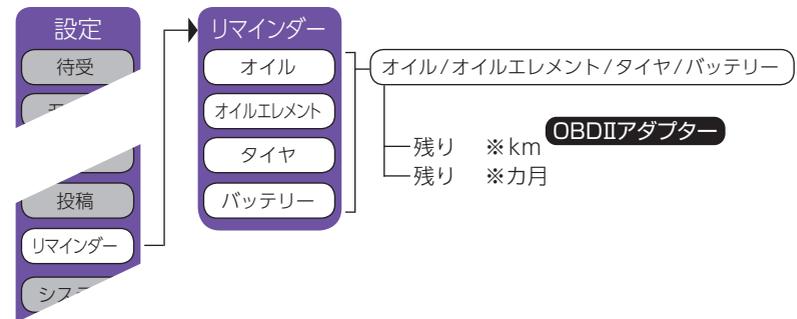
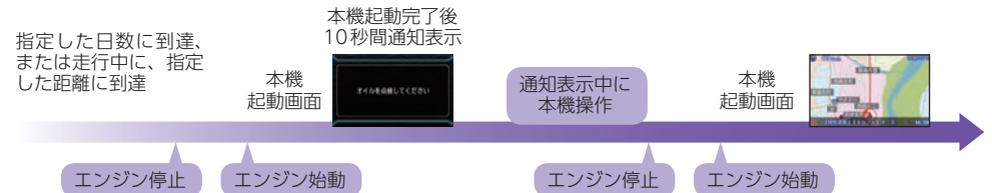
### 1. [リマインダー]の説明

設定メニューに沿って、リマインダー設定の各種設定変更ができます。各項目について日数で通知をおこないます。OBDIIアダプターで接続すると距離での通知が可能になります。

通知は指定した日数、または距離到達後のエンジン始動時(本機起動後)に約10秒間、最大3回通知されます。通知が表示されている時に操作を行うと通知が消え、次回起動時に通知が表示されなくなります。

※ ハイブリッド車にOBDIIアダプターで接続した場合は、「オイル」「オイルエレメント」の項目は、エンジンが始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

- 通知確認操作…通知表示中に本機の操作をすると、3回通知前でも次回から表示されません。



### ■ オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー

各項目について、設定した日数による通知が設定できます。OBDIIアダプターで接続すると設定した距離による通知が設定可能になります。「0ヶ月」に設定するとOFFになります。

(OBDIIアダプターで接続した場合は「0km」「0ヶ月」でOFFになります。)

初期値は「OFF」に設定されています。

※ 設定単位は、距離は1,000km単位、日数は1ヶ月単位になります。

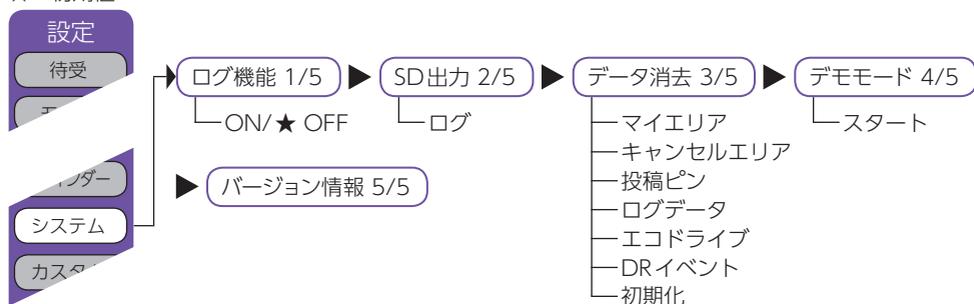
※ システム設定の「データ消去」→「初期化」を行うと設定した日数、距離もクリアされ、OFFになります。

※ 日数、距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前(通知中)の残り日数、残り距離はリセットされ、再設定後の日数、距離での通知になります。

# システム

## 1. [システム]の説明

★：初期値



### ■ ログ機能 1/5

「ON」に設定すると、約20.5時間分の走行データを記録できます。(P.69)

※ 測位状況および走行の状況により異なります。

### ■ SD出力 2/5

ログ機能で記録した走行データを付属品のディスプレイユニット用SDカードにコピーします。

・ スタートを選択するとコピーを開始します。

### ■ データ消去 3/5

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「投稿ピン」「ログデータ」「エコドライブ」「DRイベント」のデータを消去・クリアできます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

※ 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、投稿ピン、ログデータ、エコドライブ、DRイベント)を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。

※ いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。

※ ディスプレイユニット用SDカードに登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

### ■ デモモード 4/5

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

※ スタートを選択するとデモモードが始まります。

※ デモモード中に画面タッチするとデモモードは終了します。

※ 本機がOBDIIアダプター(P.17)で接続されていない場合でも、OBDII関連の待受画面が表示されます。

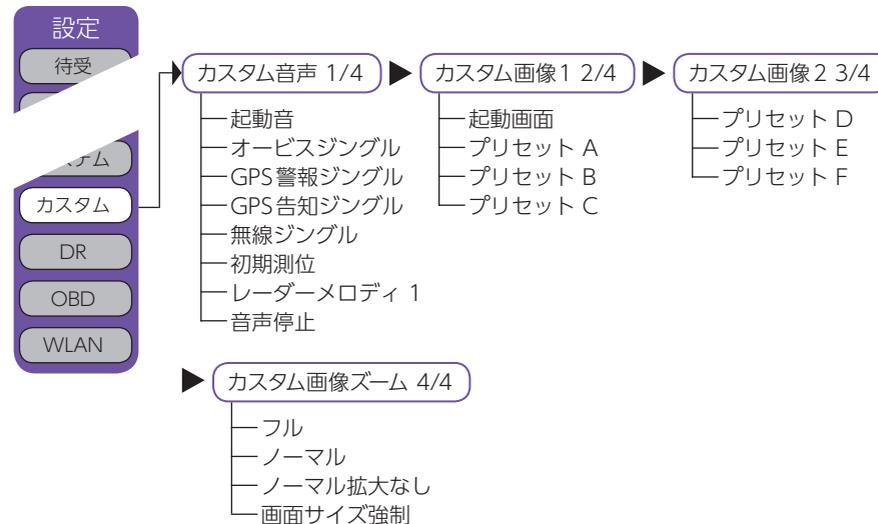
### ■ バージョン情報 5/5

収録データの「オービスデータ」-「実写データ」-「公開取締情報」公開日-「リアルタイム配信」(投稿により収集された情報)-「地図データ」-「プログラム」(ソフトウェアのバージョン)が表示されます。

※ 公開取締り情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。

# カスタム

## 1. カスタム]の説明



### ■ カスタム音声 1/4

本機能は、あらかじめディスプレイユニットに装着されているディスプレイユニット用SDカード、または別売品の「無線LAN 機能付SD カード(OP-WLSD16)」の所定のフォルダに、パソコンなどで音楽データを保存しておく必要があります。

起動時や各警報時などに流れる音をお好みの音楽などに変えることができます。再生中に音を停止するときは「音声停止」にタッチします。

※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音がなります。その場合は違うファイルでお試ください。

※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。

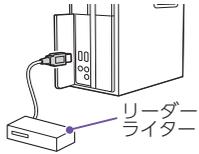
例(起動音)： 1.mp3(「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります)

### 保存ファイル名

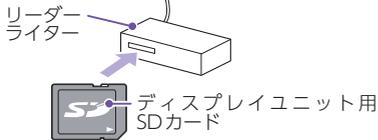
- ・ 起動音：1.mp3(再生時間上限なし)
- ・ オービスジングル：2.mp3(再生時間上限15秒)
- ・ GPS警報ジングル：3.mp3(再生時間上限15秒)
- ・ GPS告知ジングル：4.mp3(再生時間上限15秒)
- ・ 無線ジングル：5.mp3(再生時間上限15秒)
- ・ GPS初期測位：6.mp3(再生時間上限15秒)
- ・ レーダーメロディ：7.mp3(再生時間上限なし)

■ 音声保存方法

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する



1-2 ディスプレイユニット用SDカードをリーダーライターに挿入する



1-3 データを入れる



画像データをSDカードの「user」→「Sound」フォルダに入れます。

■ カスタム画像 1 2/4、カスタム画像 2 3/4

「起動画面」「プリセット A～F」の背景画面が選択できます。画像ファイルの保存方法は「フォトフレーム」設定項目の説明を参照ください。(P.119「画像保存方法」)

ディスプレイユニット用SDカードに保存した画像ファイルを削除したり、入れ替えたりした場合は、背景に設定されている画像が変更されることがあります。その場合は、再度画像を選択してください。

「起動画面」には4種類のオープニングムービーが収録されています。

① 季節(春夏秋冬で切り替わります) ※初期値

② 大メーター

③ SUPER CAT ロゴ

④ 小メーター

※ 写真をオープニングにすることもできます。

「プリセット A～F」には4種類の背景画像が収録されています。

① 黒 ※初期値

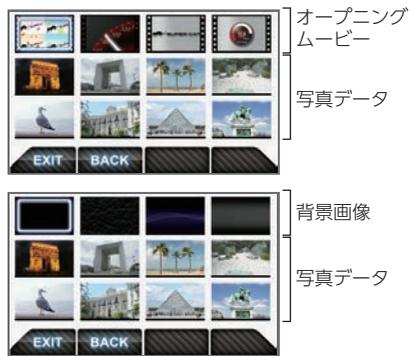
② 革

③ 波

④ 黒木目

※ 写真を背景にすることもできます。

※ 収録されている写真データ以外の写真を設定するには、あらかじめ付属品のディスプレイユニット用SDカードに画像データを保存する必要があります。



■ カスタム画像ズーム 4/4

〈カスタム画像〉で背景にする画像を表示する時の表示サイズを選択できます。

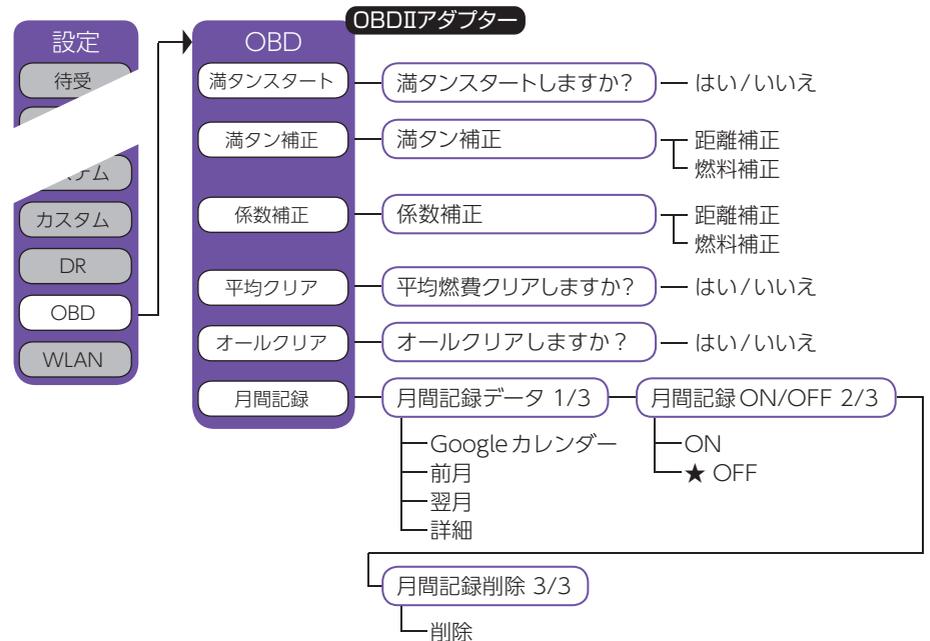
- ・フル ..... 写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ・ノーマル ..... 写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ・ノーマル拡大なし ..... 写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。
- ・画面サイズ強制 ..... 写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

OBD

1. [OBD]の説明

ご購入状態のままでは走行距離/給油量で計算した燃費(実燃費)と本機が表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、本機内のOBDIIアダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。

★: 初期値



## ■ 満タンスタート( P.145)、満タン補正( P.146)

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

## ■ 係数補正( P.147)

係数補正は、燃費計算を行う上でのOBD情報の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

また、すでにOBDIIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

## ■ 平均クリア

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットできます。

「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

## ■ オールクリア

オールクリアは、OBDIIアダプターから受け取った車両に関連するレーダー探知機内の数値をリセットします。(車両側OBDIIに影響はありません。)

オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

※ オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

## ■ 月間記録データ 1/3

[月間記録] を選択すると、その月の月間記録データが表示されます。手動でGoogleカレンダーに月間記録を登録する場合は、[Googleカレンダー]にタッチしてください。( P.157)

[前月]、[翌月] でデータの表示月を変更することができます。[詳細] を選択すると、月の記録データの詳細が表示されます。ひと月に記録できる件数は、最大2,000件です。

## ■ 月間記録 ON/OFF 2/3

月間記録のON/OFF が設定できます。

## ■ 月間記録削除 3/3

記録された月間記録を削除できます。

## 2. 満タンスタート

※ 車両が停止した状態で操作してください。

### 2-1 満タン給油する



油面の位置を覚えてください。

※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

### 2-2 待受画面にタッチする



### 2-3 [設定TOP]にタッチする



### 2-4 [OBD]にタッチする



### 2-5 [満タンスタート]にタッチする



### 2-6 [[はい]にタッチする



### 2-7 [OK]にタッチする



※ [OK]にタッチしなくても自動で手順[2-5]画面に戻ります。

### 2-8 車両のトリップメータをリセットし走行する



満タン補正進捗率が100%になり「満タン補正」アイコンが点灯するまで走行してください。

※ 「満タン補正」アイコンが点灯したまま長く走れば、それだけ補正制度が向上します。

### 3. 満タン補正

満タンスタート後に行ってください。

※ 車両が停止した状態で操作してください。

#### 3-1 満タン給油する



前回給油時の油面位置まで給油してください。

#### 3-2 P.145手順「2-2～2-4」を行う

#### 3-3 [満タン補正]にタッチする



#### 3-4 [距離補正]にタッチする



#### 3-5 走行距離を入力し[OK]にタッチする



※ 走行距離はトリップメーターで確認してください。

#### 3-6 [燃料補正]にタッチする



#### 3-7 給油量を入力し[OK]にタッチする



※ 給油量は給油伝票で確認してください。

#### 3-8 [OK]にタッチする

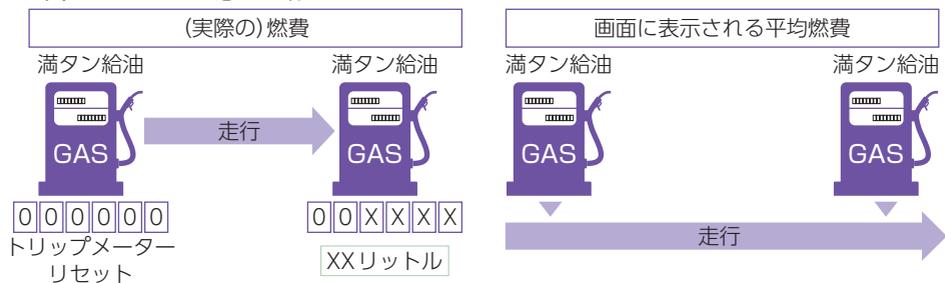


#### 3-9 [EXIT]にタッチする



待受画面に戻ります。

・実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



### 4. 係数補正

※ あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。

※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

#### 4-1 P.145手順「2-2～2-4」を行う

#### 4-2 [係数補正]にタッチする



#### 4-3 [距離補正]にタッチする



#### 4-4 [距離係数]を入力し、[OK]にタッチする



#### 4-5 [燃料補正]にタッチする



#### 4-6 [燃料係数]を入力し、[OK]にタッチする



より正確な数値に修正されます。

※ 待受画面に戻る場合は、[OK]にタッチ後、[EXIT]にタッチしてください

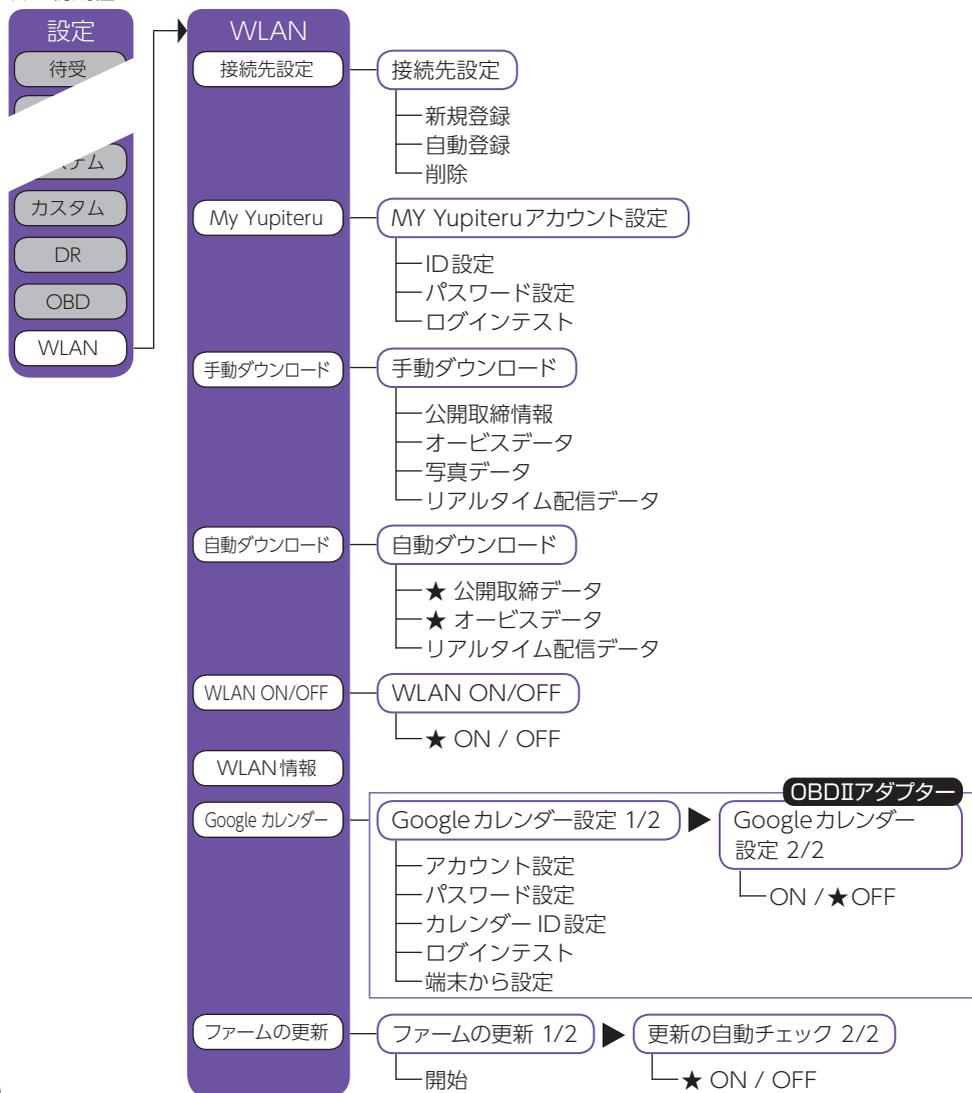
# 無線LAN(WLAN)

## 1. [WLAN]の説明

本機能は別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」をご購入いただき、ディスプレイユニットにあらかじめ装着されている、ディスプレイユニット用SDカードと入れ替えてご使用ください。

※ 別売品の「無線LAN機能付SDカード(OP-WLSD16)」を装着しないと、[WLAN]は表示されません。

★：初期値



ダウンロード項目	ダウンロード制限	手動	自動
公開取締情報	制限なし	○	○
オービス/コンテンツデータ	My Yupiteru有料会員のみ(要機種登録)	○	○
写真データ	My Yupiteru有料会員のみ(要機種登録)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN経由の投稿	My Yupiteru会員	○	—

※ WLANで接続している場合、メッセージウィンドウにアイコンが表示されます。



### ■ 接続先設定

本機にWLAN 機器( 接続先) を登録するには、「新規登録( パスワード認証) ● P.151」と「自動登録( プッシュ認証) ● P.152」の2 種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。接続先は8 件まで登録できます。

一度設定しておけば、以降は自動的に接続が行われます。

本機では、ログインが必要な無線LAN サービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線LAN サービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

### ■ My Yupiteru

My Yupiteruのアカウントを設定します。

### ■ 手動ダウンロード

各項目でダウンロードを行います。写真データはデータ量が大きいため、ダウンロードに時間が掛かります。写真データのダウンロードは手動ダウンロードのみ可能です。ダウンロード中に電源を切るとは避けてください。

※ My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ]と[写真データ]が選択できません。



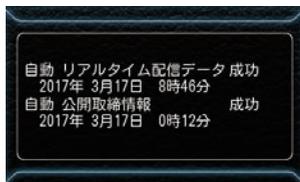
### ■ 自動ダウンロード

あらかじめ、ダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN 接続が確立されていれば、電源ON のたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。WLAN 接続が確立されていれば、最初のデータ確認から30分ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新データの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。自動ダウンロード中は、警報を行いません。

※ My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ]が選択できません。



・自動ダウンロードが終了し、本機にデータが取り込まれる



とデータの情報を表示し、自動的に通常の画面に戻ります。

### ■ WLAN ON/OFF

WLANの機能をOFFにしたいときに使用します。

※ 初期値はONです。

### ■ WLAN 情報

WLAN情報を表示します。

接続先 .....現在接続しているアクセスポイント名 (SSID)

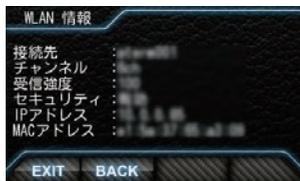
チャンネル .....現在接続しているチャンネル

受信強度 .....現在の受信強度

セキュリティ .....現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示

IPアドレス .....本機に割り当てられているIPアドレス

MACアドレス .....本機無線LANの物理アドレスを表示します。(OP-WLSD16の裏面にも「MAC:」の後ろに記載されています。アクセスポイントでMACアドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。)



### ■ Google カレンダー、Google カレンダー設定 1/2 **OBDIIアダプター**

月間記録をGoogleカレンダーに登録できます。

登録されるデータは、運転開始日時、運転終了日時、距離、燃費、緯度、経度になります。

### ■ Google カレンダー自動 2/2 **OBDIIアダプター**

「ON」に設定すると、月間記録を自動でGoogleカレンダーに登録できます。

### ■ ファームの更新 1/2

「開始」にタッチすることでダウンロードサーバーに最新バージョンのファームであるかを確認し、最新のバージョンでない場合は更新や更新内容の確認ができます。

### ■ 更新の自動チェック 2/2

「ON」に設定すると、WLAN接続が確立されていれば、電源ONのたびにダウンロードサーバーに最新のバージョンの有無を確認し、最新のバージョンがある場合は待受画面のメッセージウィンドウに、「ファームの更新があります」と一定時間表示します。

## 2. 接続先設定

### ■ 新規登録の場合(パスワード認証)

#### 2-1 待受画面にタッチする



#### 2-2 [設定TOP]にタッチする



#### 2-3 [WLAN]にタッチする



#### 2-4 [接続先設定]にタッチする



#### 2-5 [新規登録]にタッチする



#### 2-6 アクセスポイントにタッチする



※ アクセスポイントがSSID非公開の場合は、[Manual]にタッチし、SSIDを入力してください。

#### 2-7 パスワードを入力し、[接続]にタッチする



#### 2-8 接続結果を確認する



<成功した場合>



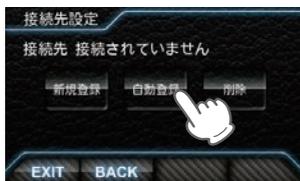
<失敗した場合>

※ 接続に成功すると「成功しました」と表示され、使用可能になります。接続に失敗した場合は再度お試しください。

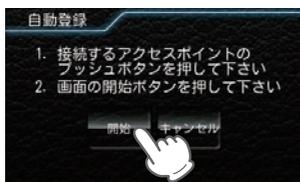
## ■ 自動登録の場合(プッシュ認証)

2-1 P.151 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

2-2 [自動登録]にタッチする



2-3 [開始]にタッチする



接続するアクセスポイントのプッシュボタンを押して、[開始]にタッチしてください。

2-4 接続結果を確認する



<成功した場合>



<失敗した場合>

※ 失敗した場合は再度、手順「2-2」から行ってください。

接続したくない接続先がある場合は、[削除]で削除してください。本機メニュー[初期化]では、接続先は削除されません。

## 3. My Yupiteru

機種登録があっても、無料会員の場合は、(機種名)データ更新プラン：無効と表示されます。

※ My Yupiteruのアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ [オービスデータ][写真データ]のダウンロードには、「My Yupiteruのアカウント」、ご利用機種での「Ittyクラブ」のプラン加入が必要です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

※ 本機を廃棄したり、人に譲ったりする際など、ID・パスワードを削除したい場合は、[BS]で文字を全部消去して[設定]を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用される恐れがあります。

3-1 P.151 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

3-2 [My Yupiteru]にタッチする



3-3 [ID設定]にタッチする



3-4 My YupiteruのIDを入力し [設定]にタッチする



3-5 [パスワード設定]にタッチする



3-6 My Yupiteruのパスワードを入力し [設定]にタッチする

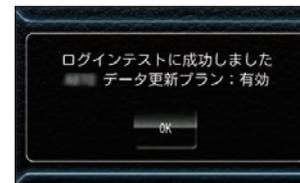


3-7 [ログインテスト]にタッチする

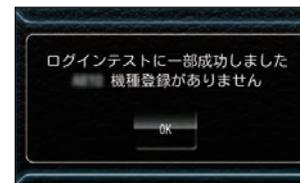


※ WLAN接続ができていない場合、[ログインテスト]はタッチできません。

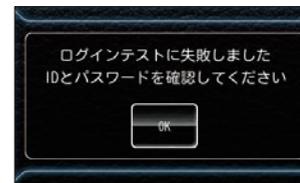
3-8 検索結果を確認する



<成功した場合>



<失敗した場合>



<失敗した場合>

※ 失敗した場合は、My YupiteruのIDとパスワードを確認し、再度ログインテストを行ってください。

## 4. Googleカレンダーを設定する

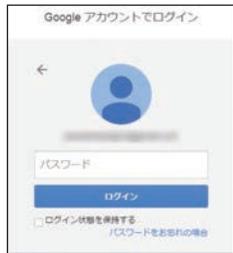
パソコンや端末(スマートフォンなど)を使用してGoogleカレンダー設定を行ってください。  
[① Googleカレンダーを作成する]\*1 → P.155 [② Googleカレンダーセキュリティを設定する]\*1 → P.155 [③ Googleカレンダーを設定する]の手順で行ってください。

※1: パソコンや端末(スマートフォンなど)のブラウザ等で行ってください。

### ① Googleカレンダーを作成する(パソコンで設定する場合)

※ あらかじめお使いのGoogleカレンダーを使用する場合は新しくカレンダーを作成する必要はありません。  
P.155 [② Googleカレンダーセキュリティを設定する(パソコンで設定する場合)]へ進んでください。

#### 4-1 Googleにログインする



パスワードを入力し、Googleにログインしてください。

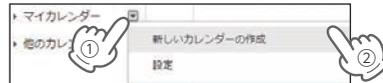
※ Googleアカウントの登録を行う場合は、パソコンや端末(スマートフォンなど)で行ってください。

#### 4-2 カレンダーをクリックする



☰ をクリックし、カレンダーをクリックします。

#### 4-3 新しいカレンダーを作成する



マイカレンダーの▼をクリックし、「新しいカレンダーを作成」をクリックします。



カレンダー名に「月間記録」と入力し、「カレンダーを作成」をクリックします。



月間記録の▼をクリックし、「カレンダー設定」をクリックします。

#### 4-4 Googleカレンダー IDを確認しメモする

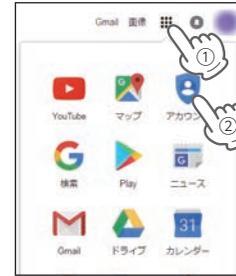


※ 本機の登録が必要になります。必ずメモしてください。

### ② Googleカレンダーセキュリティを設定する(パソコンで設定する場合)

#### 4-1 Googleにログインする

#### 4-2 セキュリティの設定をする



☰ をクリックし、アカウントをクリックします。

#### 4-3 [接続済みのアプリとサイト]をクリックする



### ③ Googleカレンダーを設定する

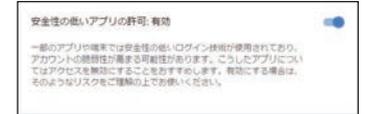
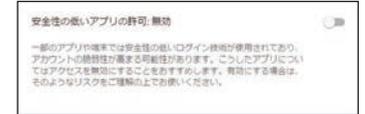
※ 端末(スマートフォンなど)から設定を行うこともできます。

#### 4-1 P.151 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

#### 4-2 [Googleカレンダー]にタッチする



#### 4-4 [安全性の低いアプリの許可]のスイッチをクリックし有効にする



※ 「無効」ではログインテストが成功しません。

#### 4-3 [アカウント設定]にタッチする



#### 4-4 Googleアカウントを入力し [設定]にタッチする



※ 入力したGoogleアカウントはカレンダーID設定に反映されます。

#### 4-5 [パスワード設定]にタッチする



#### 4-6 Googleパスワードを入力し [設定]にタッチする



#### 4-7 [カレンダーID設定]にタッチする



※ 初めからあるGoogleカレンダーを使用する場合は、手順[4-9]へ進んでください。

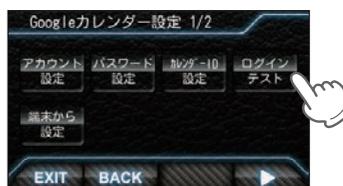
#### 4-8 GoogleカレンダーIDを入力し [設定]にタッチする



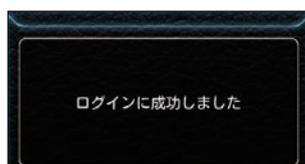
☛ P.154 手順 [4-4] でメモしたGoogle カレンダー ID を入力してください。

※ 初めからあるGoogleカレンダーを使用する場合は、GoogleアカウントがGoogleカレンダーIDになります。

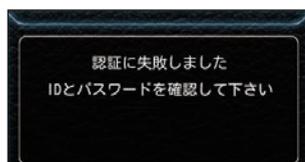
#### 4-9 [ログインテスト]にタッチする



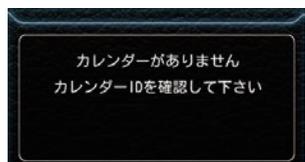
#### 4-10 検索結果を確認する



<成功した場合>



<失敗した場合>



<失敗した場合>

※ ログインに失敗した場合は、画面表示を確認し、再度ログインテストを行ってください。

### 5. 月間記録をGoogleカレンダーに登録する

※ 月間記録はGoogleアカウント、Googleパスワード、GoogleカレンダーIDが本機に設定されていない場合はGoogleカレンダーに登録できません。

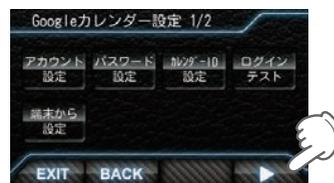
#### ■ 自動で行う場合

##### 5-1 ☛ P.151 手順「2-1 ~ 2-3」 を行う

##### 5-2 [Googleカレンダー]にタッチする



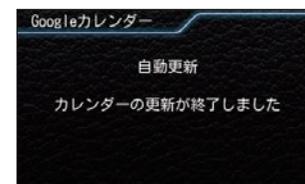
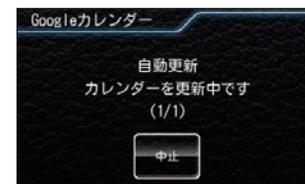
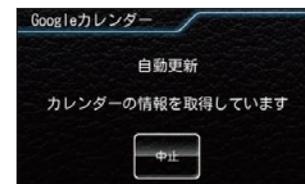
##### 5-3 [▶]にタッチする



##### 5-4 [ON]にタッチする



※ ネットワークに接続すると、画面が自動で切り替わり更新開始します。



更新終了後、元の画面に戻ります。  
※ 更新途中で中止する場合は、[中止]にタッチしてください。

#### ■ 手動で行う場合

##### 5-1 ☛ P.151 手順「2-1 ~ 2-3」 を行う

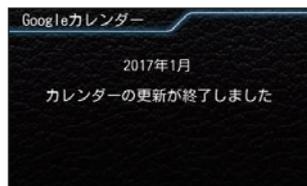
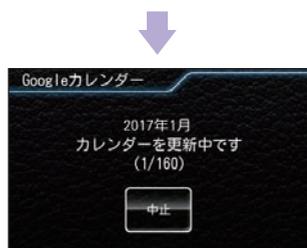
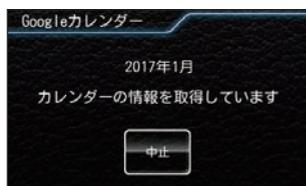
##### 5-2 [OBD]にタッチする



### 5-3 [月間記録]にタッチする



### 5-4 [Googleカレンダー]にタッチする



更新終了後、元の画面に戻ります。  
 ※ 更新途中で中止する場合は、[中止]にタッチしてください。  
 ※ 登録済みの場合は、「すでに登録済みです」と表示されます。

## 6. 端末からGoogleカレンダー設定をする

本機と端末（スマートフォンなど）がテザリングで接続されている、または同じ無線LAN親機でネットワークに接続されている場合に端末からGoogleカレンダー設定を行うことができます。

※ 設定できる項目は、[アカウント設定][パスワード設定][カレンダーID設定]です。

### 6-1 P.151 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

### 6-2 [Googleカレンダー]にタッチする



### 6-3 [端末から設定]にタッチする



QRコードを表示します。  
 ※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し、[BACK]にタッチし再度、[設定QRコード]にタッチしてください。

### 6-4 QRコードを読み込む



端末（スマートフォンなど）で表示されたQRコードを読み込むとブラウザが開きます。

※ 本機の設定は読み込まれません。

### 6-5 設定する



アカウント、パスワード、カレンダーIDを入力してください。

### 6-6 本機に設定を反映する



「転送に成功しました」と表示され、設定が本機に反映されます。  
 [閉じる]にタッチして終了してください。

※ 接続に失敗した場合は、「失敗しました」と表示されます。接続を確認し、[閉じる]にタッチし再度、[送信]にタッチしてください。

## 7. ファームを更新する

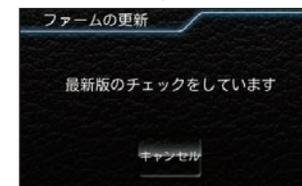
※ ファームの更新中は電源OFFしないでください。

### 7-1 P.151 手順「2-1 ~ 2-3」を行う

### 7-2 [ファームの更新]にタッチする



### 7-3 [開始]にタッチする

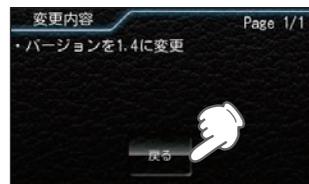
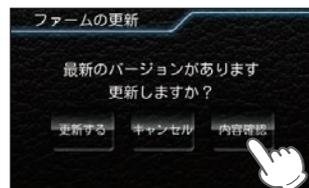


最新バージョンの有無を確認します。

※ 接続に失敗した場合は、「ネットワークに接続していません」と表示されます。接続を確認し再度、[開始]にタッチしてください。

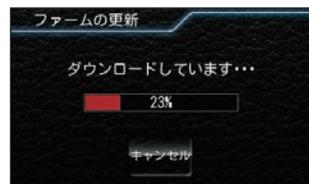
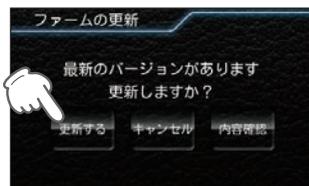
※ 本機のバージョンが最新の場合は、「すでに最新です」と表示されます。

### 7-4 [内容確認]にタッチする



ファームの更新内容を確認し、[戻る]にタッチしてください。

### 7-5 [更新する]にタッチする



ファームの解凍後一度自動で再起動し、その後ファームの書き込みを行います。

### 7-6 バージョン確認する

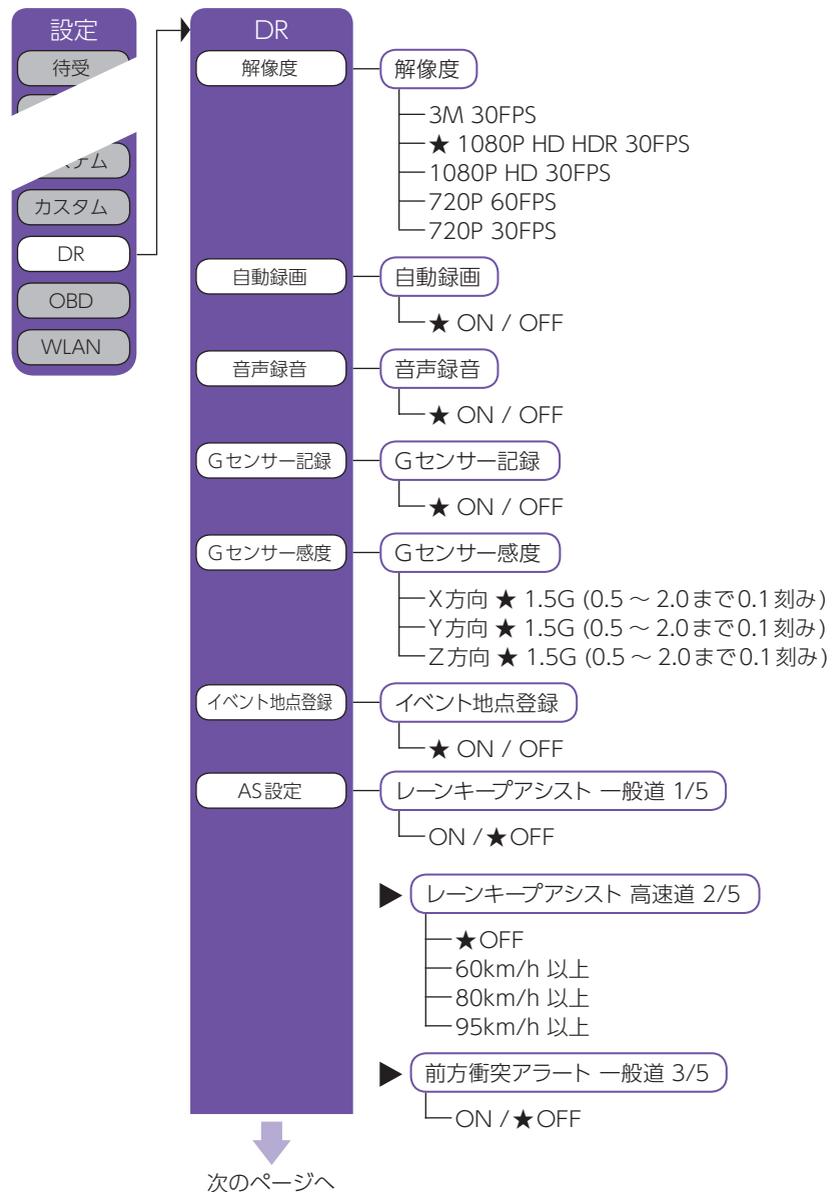
▶ P.140「バージョン情報 5/5」でプログラム(ソフトウェアのバージョン)を確認してください。

※ ファームの更新に失敗した場合は再度、手順[7-5]から行ってください。

## DR (ドライブレコーダー)

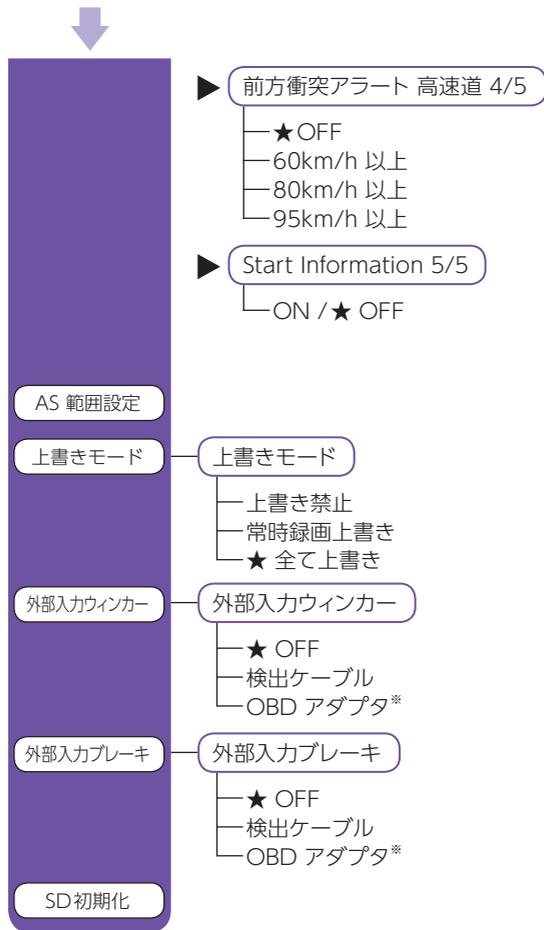
### 1. [DR]の説明

★：初期値



次のページへ

前のページから



## ■ 解像度

録画の解像度を選択します。

3M 30FPS	録画の解像度を選択します。
1080P HD HDR 30FPS	3M : 2304 × 1296 1080P : 1920 × 1080
1080P HD 30FPS	720P : 1280 × 720
720P 60FPS	「1080P HD HDR 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、Active Safety機能が有効になります。
720P 30FPS	※「1080P HD (HDR) 30FPS」設定時のみHDRが有効になります。

## ■ 自動録画

エンジン連動で録画開始のON/OFFを設定します。

## ■ 音声録音

音声録音のON/OFFを設定します。

## ■ Gセンサー記録

Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。

## ■ Gセンサー感度

X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。感度は数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。

## ■ イベント地点登録

イベント発生した際のアイコンの画面表示をON/OFFを設定します。  
※ [OFF] に設定しても、イベント記録を行うとメッセージウィンドウにてお知らせします。

## ■ Gセンサー記録設定

Gセンサー記録を使用するかON/OFFで設定します。

## ■ AS設定

「レーンキープアシスト」と「前方衝突防止アラート」を使用するには本機にてAS設定が必要です。

※ 設定をせずに使用するとうまくはたらかない場合があります。

※ AS設定は [1080P HDR 30fps] および [1080P HD 30fps] のみ機能します。

### ・レーンキープアシスト 一般道 1/5

一般道でレーンキープアシスト機能を使用するかをON/OFF切り替えます。初期値は「OFF」です。

### ・レーンキープアシスト 高速道 2/5

高速道でレーンキープアシスト機能が動作する速度を設定します。OFF、60km/h以上、80km/h以上、95km/h以上から設定します。初期値は「OFF」です。

### ・前方衝突防止アラート 一般道 3/5

一般道で前方衝突防止アラート機能を使用するかをON/OFF切り替えます。初期値は「OFF」です。

### ・前方衝突防止アラート 高速道 4/5

高速道で前方衝突防止アラート機能が動作する速度を設定します。OFF、60km/h以上、80km/h以上、95km/h以上から設定します。初期値は「OFF」です。

### ・Start Information 5/5

Start Information機能を使用するかをON/OFF切替します。初期値は「OFF」です。

## ■ AS範囲設定

Active Safetyの動作範囲を設定します。(☛ P.59 「レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う」)

※ 設定をせずに使用するとうまくはたらかない場合があります。

※ AS設定は[1080P HDR 30fps]および[1080P HD 30fps]のみ機能します。

## ■ 上書きモード

上書き設定をします。

上書き禁止 : それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。

常時録画上書き : それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

全て上書き : それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから削除して上書きされます。

## ■ 外部入力ウィンカー

ウィンカー情報の入力先を設定します。

ウィンカー使用中は車線変更中とみなし、レーンキープアシスト機能による警告を行わなくなります。

初期値は[OFF]です。

OBDIIアダプターで接続している場合こちらも使用することができます。ウィンカー検出ケーブル接続確認は☛ P.50を参照ください。

## ■ 外部入力ブレーキ

ブレーキ情報の入力先を設定します。

前方衝突防止アラート機能にて、ブレーキを踏んでいることを認識すると警告を行わなくなります。

初期値は[OFF]です。

OBDIIアダプターで接続している場合こちらも使用することができます。ブレーキ検出ケーブル接続確認は☛ P.51「ブレーキ検出ケーブル接続確認方法」を参照ください。

## ■ SD初期化

カメラユニット用のSDカードのフォーマットを行います。(☛ P.13 「SDカードフォーマットの手順」)

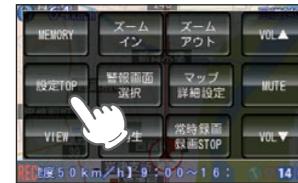
※ 付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

## 2. [解像度]を変更する

### 2-1 待受画面にタッチする



### 2-2 [設定TOP]にタッチする



### 2-3 [DR]にタッチする



### 2-4 [解像度]にタッチする



### 2-5 選択したい解像度にタッチし、[EXIT]にタッチする



選択した解像度に変更されます。

## 3. [Gセンサー感度]を変更する

### 3-1 手順[2-1]～[2-3]を行う

### 3-2 [Gセンサー感度]にタッチする



### 3-3 ◀▶ にタッチし、方向(X、Y、Z)を選択し、▽△ にタッチし、値を変更します



### 3-4 設定したい感度に変更し、[EXIT]にタッチする



設定した感度に変更されます。

## 再生モードの表示・再生方法

再生モードを表示すると、自動的に常時録画が停止します。

### 1. 再生モードを表示する

#### 1-1 待受画面にタッチする



#### 1-2 [再生]にタッチする



#### 1-3 再生したいファイルの記録方法にタッチする



<フォルダ選択画面>



<ファイル選択画面>  
ファイル選択画面を表示します。

- ・常時録画とは… P.29
- ・イベント記録とは… P.30

### 2. ディスプレイユニットで録画ファイルを再生する

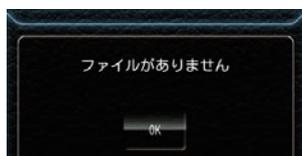
#### 2-1 再生したい録画ファイルを選択し、▶にタッチする



<ファイル選択画面>



<ファイル再生画面>



※ ファイルがない場合、ファイル選択画面に「ファイルがありません」と表示します。  
[OK]にタッチするとフォルダ選択画面に戻ります。



※ ファイルが再生できない場合、ファイル選択画面に [X] を表示します。

### 3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

#### 3-1 画面にタッチし、|| にタッチする



一時停止を解除し、再生する場合 || にタッチする。

### 4. 録画を再開する

録画を再開するとメッセージウィンドウに録画アイコンを表示します。

#### ■ 自動録画 ON の場合

#### 4-1 [EXIT]にタッチする



ドライブレコーダー画面もしくは待受画面を表示し、自動的に録画を開始します。

#### ■ 自動録画 OFF の場合

#### 4-1 [EXIT]にタッチする



#### 4-2 待受画面にタッチする



#### 4-3 [常時録画START]にタッチする



録画が再開します。

## 録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 保護した録画ファイルは、フォーマット( P.59)することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ( P.178「録画ファイルの読み出しについて」)などしてからフォーマットしてください。

### ⚠ 注意

❗ 初期値では、保護していない録画ファイルは、各記録方法の上限に達すると、上書きされます。(初期値「上書きモード：全て上書き」)

## 1. 録画ファイルを保護する

### 1-1 待受画面にタッチする



### 1-2 [再生]にタッチする



### 1-3 保護したい録画ファイルのある記録方法にタッチする



<フォルダ選択画面>

### 1-4 保護したい録画ファイルにタッチする



選択した録画ファイルに黄色い枠がつかます。

### 1-5 アイコンにタッチする



選択中のファイルを保護します。



※ 保護が完了するとファイル選択画面上で アイコンを表示します。

保護を解除する場合は、再度手順1-4～1-5を行ってください。  
保護を解除すると、ファイル選択画面上の アイコンの表示が消えます。

## 再生モード

再生モードでは、録画ファイルをディスプレイユニットで再生できます。

※ 再生モードの表示方法は P.166 を参照ください。



<ファイル選択画面>



<ファイル再生画面>

No.	表示名	説明
①	フォルダアイコン	常時録画フォルダを選択中に表示します。
		Gセンサー記録フォルダを選択中に表示します。
		フォンタッチ記録フォルダを選択中に表示します。
②	操作メニュー	録画ファイルを保護/保護解除、削除などを行います。( P.170「操作メニュー」)
③	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを黄色い枠で表示します。
④	記録日時	録画した日時を表示します。
⑤	ページ数	現在のページ/総ページを表示します。
⑥	再生	選択した録画ファイルを再生します。
⑦	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。
⑧	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。
		再生中に表示します。
		早送り中に表示します。
		巻き戻し中に表示します。
		一時停止中に表示します。
		3倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
		6倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
0.5倍速の早送り・逆再生中に表示します。		
⑨	記録映像	録画ファイルを再生します。
⑩	再生時間	現在の再生時間/ファイル総時間を表示します。
⑪	速度切替・一時停止	再生中のファイルの再生速度を切り替え及び、再生・一時停止を行います。
⑫	音声切替	再生中のファイルの音声のON/OFFを切り替えます。

## 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。

◀ ボタンと ▶ ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。



※ ▶▶ は早送り、◀◀ は巻き戻し、▶▶ は通常の再生です。  
 ※ 早送り、巻き戻し中は音声再生されません。



## 操作メニュー

アイコン	説明	
	保護 / 保護解除	選択中の録画ファイルを保護します。保護したファイルを選択中に押すと、保護解除します。(● P.168「録画ファイルの保護について」) ※ 保護した録画ファイルは、本機の「削除」では削除できません。保護を解除するか、SDカードをフォーマットすることで削除できます。(● P.13「SDカードフォーマットの手順」)
	削除	選択中の1ファイルを削除します。
	全削除	録画ファイルをすべて削除します。

保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになると、カメラユニットの録画を停止します。(● P.31「上書きモードについて」)  
 必要に応じて録画ファイルをパソコンにバックアップなどしてから、本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。(● P.13「SDカードフォーマットの手順」)

## 専用ビューアソフトで再生する

カメラユニットで録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、Google Maps と連動させて表示することができます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

### 1. 準備する

以下の仕様を満たしたパソコンで専用ビューアソフトを使用することができます。

OS : Microsoft Windows 7、8または10  
 CPU: Core2Duo相当、2.0GHz以上  
 メモリ : 2GB 以上

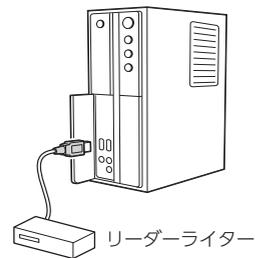
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。  
<http://www.yupiteru.co.jp/>
- ※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

### ⚠ 注意

! パソコンやSDカードリーダーライターからSDカードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターの取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SDカードを破損させてしまう恐れがあります。

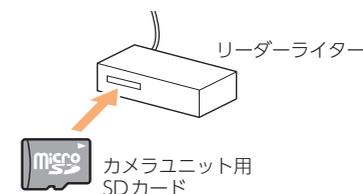
### 2. 専用ビューアソフトをインストールする

#### 2-1 リーダーライターをパソコンに接続する

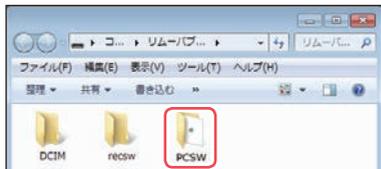


※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

#### 2-2 カメラユニット用SDカードをリーダーライターに接続する



2-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW]フォルダをダブルクリックする



※ SDカードのフォーマットを行った場合、[PCSW]フォルダも削除されます。弊社ホームページよりダウンロードすることができます。  
http://www.yupiteru.co.jp/

2-4 [setup.exe]をダブルクリックする



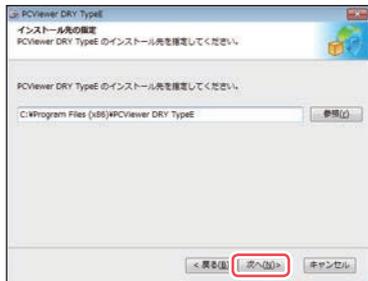
2-5 [次へ]をクリックする



2-6 「同意する」をクリックする

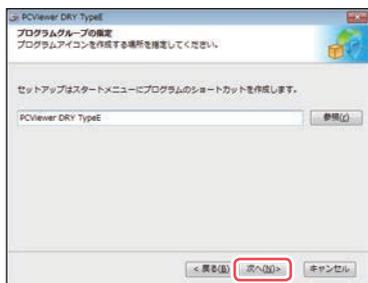


2-7 [次へ]をクリックする



※ 「参照」をクリックすると、インストール先を指定できます。

2-8 [次へ]をクリックする



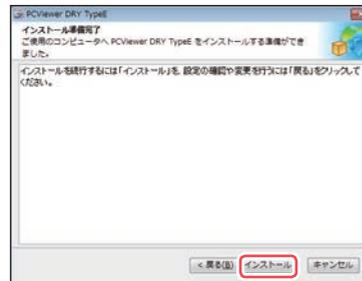
※ 「参照」をクリックすると、プログラムアイコンを作成する場所を指定できます。

2-9 「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする



※ チェックを入れると、デスクトップ上にアイコンを作成します。

2-10 [インストール]をクリックする



2-11 [完了]をクリックする

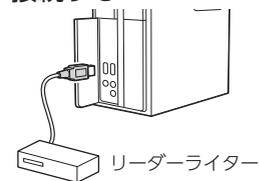


3. 専用ビューアソフトをバックアップ(コピー)する

専用ビューアソフトは付属品のカメラユニット用SDカード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをお勧めします。

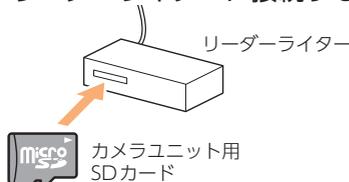
例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合・・・

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する

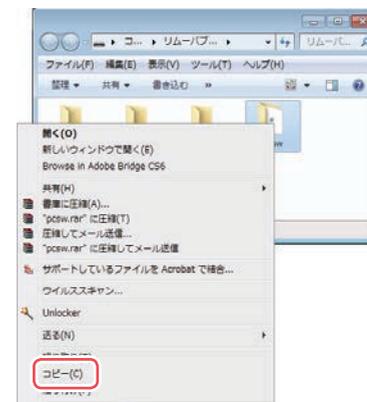


※ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

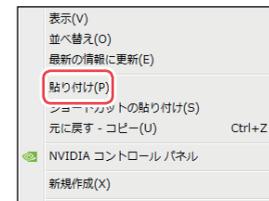
3-2 カメラユニット用SDカードをリーダーライターに接続する



3-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW]フォルダ上で右クリックし、[コピー]を選択する



3-4 デスクトップ上で右クリックし、[貼り付け]を選択する



デスクトップに[PCSW]のフォルダがコピーされます。

## 4. 専用ビューアソフトを起動する

- 4-1 デスクトップにある[PC Viewer DRY TypeE]アイコンをクリックする

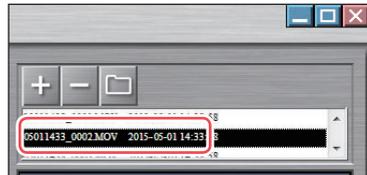


専用ビューアソフトが起動します。

・専用ビューアソフトの詳細は  
● P.175「専用ビューアソフト」を参照ください。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。● P.172「手順 2-9」

- 4-2 再生したい録画ファイルをダブルクリックする



選択した録画ファイルが再生します。

・専用ビューアソフトの詳細は  
● P.175「専用ビューアソフト」を参照ください。

## 5. 録画ファイルを再生する

- 5-1 (フォルダを再生リストに読込) をクリックする



- 5-2 接続したカメラユニット用SDカードの再生したいフォルダを選択し、[OK]をクリックする



選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

## 6. 専用ビューアソフトを終了する

- 6-1 専用ビューアソフト右上の [X] をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

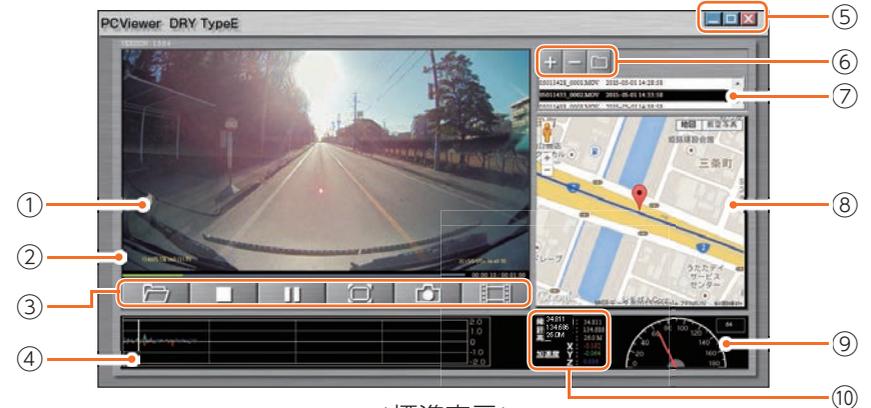
## 専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Gセンサーグラフ等を表示できます。

※ 専用ビューアソフトのインストールは ● P.69「地図閲覧サービス(無料)」を参照ください。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

### 1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示>



<全画面表示>

No.	表示名	説明	
①	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。	
②	タイムライン	クリック位置から再生できます。	
③	ファイル コントロール	 1 ファイルを開く	録画ファイルを1ファイル開いて再生します。 「1 ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
		 停止	再生中の録画ファイルを停止します。
		 再生/ 一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
		 ウィンドウ サイズ切替	映像の全画面表示/標準表示を切り替えます。
		 静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGファイル)に変換して保存します。
		 1フレーム 再生	クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。
④	Gセンサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれているGセンサーデータをX軸、Y軸、Z軸でグラフ表示します。	
⑤	プログラム	 最小化	ウィンドウを最小化します。
		 最大化 元に戻す	ウィンドウを最大化/元に戻します。
		 閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑥	再生リストの 操作	 ファイルを再生 リストへ追加	再生リストに1ファイル追加します。
		 ファイルを再生 リストから削除	再生リストから1ファイル削除します。 ※ 再生リストから削除してもカメラユニット用SDカード内の録画ファイルは削除されません。
		 フォルダを再生 リストに読み込み	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑦	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。 ファイル名の詳細は  P.178を参照ください。	
⑧	地図表示	読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Google Maps)は表示されません。	
⑨	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。 GPSデータがない場合は変化しません。	
⑩	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度(X・Y・Z)を表示します。	

## 2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトが不要になった場合、以下の方法でパソコンから削除できます。

### 2-1 スタートメニューの[PC Viewer DRY TypeE]から、[PC Viewer DRY TypeE Uninstall]を選択する

### 2-2 [[はい]をクリックする



アンインストールを開始します。

### 2-3 [OK]をクリックする



アンインストールが完了します。



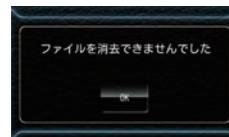
## こんなときは

※ 下記のメッセージが頻繁に表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

エラーメッセージ	対処方法
<b>SDカードを挿入して下さい</b> (SDカードを挿入して下さい)	<input type="checkbox"/> カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。
<b>SDカードエラー</b> (SDカードエラー)	<input type="checkbox"/> カメラユニット用SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHCカード ・容量：4～32GB ・SDスピードクラス：Class10以上 <input type="checkbox"/> カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。 <input type="checkbox"/> 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルもすべて削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
<b>SDカードがいっぱいです</b> (SDカードがいっぱいです)	<input type="checkbox"/> 上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画がカメラユニット用SDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。上書きモードの設定は、「DR設定」→「上書きモード」で確認できます。(● P.164「上書きモード」) <input type="checkbox"/> 保護したファイルでカメラユニット用SDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(● P.168)か、カメラユニット用SDカードをフォーマットする(● P.13)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、再生モード(● P.166)のファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。
<b>イベント領域がいっぱいです</b> (イベント領域がいっぱいです)	<input type="checkbox"/> 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」または「常時録画上書き」に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、「DR設定」→「上書きモード」で確認できます。(● P.164「上書きモード」) <input type="checkbox"/> 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(● P.168)か、カメラユニット用SDカードをフォーマットする(● P.13)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、再生モード(● P.166)のファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。



- カメラユニット用SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。  
記録媒体：microSDHCカード  
容量：4～32GB  
SDスピードクラス：Class10以上
- カメラユニット用SDカードが正しく挿入されていますか。
- 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。  
カメラユニットからカメラユニット用SDカードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SDカードが認識できるか確認してください。



- パソコンなどで録画ファイルを削除してください。  
本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。(● P.178「録画ファイルの読み出しについて」)
- 本機でカメラユニット用SDカードをフォーマットしてください。  
フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(● P.13「SDカードフォーマットの手順」)



- ドライブレコーダー接続ケーブルを確認してください。  
ドライブレコーダーが外れていないか確認をしてください。



- ディスプレイユニット用SDカードが挿入されているか確認してください。  
ディスプレイユニット用SDカードが挿入されていないと使用することができません。  
また、データの破損等は有償での交換となります。弊社お客様ご相談センターまでご連絡ください。

## 故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

### 電源がONにならない

- 電源スイッチがONになっていますか。
- 電源直結コードがはずれていませんか。
- 付属品のディスプレイユニット用SDカードを装着していますか、または抜けていませんか。  
本機は付属品のディスプレイユニット用SDカード(SDカードアダプター/microSDカード)装着していないと起動しません。
- 各コードのヒューズが切れていないか確認してください。  
切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。  
※ コードの種類によって、ヒューズが違います。
- 初めてOBD IIアダプターを車両に取り付けていませんか。  
初めて起動する場合、起動に数分かかることがあります。

### 電源がOFFにならない

- OBDIIアダプター取り付け時はイグニッションのOFFから本機の電源がOFFになるまで数秒から数十秒かかります。  
OBDIIアダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源をOFFしないでください。

### OBDIIアダプター接続中に突然電源がOFFになった

- OBDIIアダプターのコネクタが外れていないか確認してください。  
車両の振動などによってコネクタが緩むことがあります。

### 何も表示しない

- 「マナーモード」になっていませんか。  
待受画面にタッチして解除してください。
- 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。  
待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VIEW]をタッチし待受画面を変更してください。

### 画面が常に暗い

- フレックスディマーの設定で「照度センサ+衛星情報」に設定すると、設定場所によっては常にフレックスディマーが動作する場合があります。その場合は、取り付け場所を変更するか設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

### 音が出ない

- 音量「0」になっていませんか。  
待受画面にタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL ▲]にタッチして音量を調整してください。

### GPS 警報しない

- GPS 測位していましたか。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

### レーダー警報しない

- 電源ONになっていますか。
- 取締りレーダー波が発射されていましたか。  
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。
- マイキャンセル登録したエリアではありませんか。
- アイキャンセルしていませんか。
- 受信感度が「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km未満の時は警報しません。
- マナーモードになっていませんか。  
待受画面にタッチして解除してください。

### 速度表示が車両の速度計と異なる

- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。  
※ OBDIIアダプター接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。  
※ 補正機能はありません。

### 地図がズレる

- GPS 測位していましたか。  
障害物や遮蔽物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。

### 取締り現場なのに350.1MHzを受信しない

- 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。
- 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。  
連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

## ひんぱんに無線警報する

- 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

## 取締りもしていないのに警報機能がはたらく

- 取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

### 取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器

電波式の自動ドア、防犯センサー / 電波式のセンサーを搭載した自動販売機 / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

## 一般道を走行中に高速道路のターゲットを GPS 警報する

- 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(● P.129)
- 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ハイウェイアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

## 誤警報がキャンセルされない

- 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。
- スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。
- GPS 測位していませんか。
- 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

## 警報の途中で警報音が小さくなる

- レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。(● P.99)

## OBDIIアダプター接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

- 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

## OBDIIアダプター接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない

- 車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が 0% にならないことがあります。

## OBDIIアダプター接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

- 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

## Google カレンダー設定ができない

- 別売品の OBDIIアダプターを接続していますか。  
Google カレンダーを設定をする場合、別売品のOBDIIアダプター(● P.19) が必要になります。

## Google カレンダー設定のログインテストに失敗する

- Google のセキュリティの「安全性の低いアプリのアクセス」の設定が「無効」になっていませんか。(● P.155)

## 衝突警報システム、わき見・居眠り運転警報器の警告しない

- 衝突警報システムの設定または、わき見・居眠り運転警報器の顔検出はしていますか。それぞれの取扱説明書をご確認ください。
- 衝突警報システムまたは、わき見・居眠り運転警報器のケーブルが外れていませんか。
- 時速 30km/h 未満では、わき見警告はしません。(● P.53)

## Start information がうまくはたらかない

- 本機の取り付け位置を確認してください。  
Start information は前方の車両を認識してお知らせをおこないます。前方車両を正しく認識できない位置に本機を設置すると、Start information がうまくはたらかない場合があります。
- 解像度を確認してください。  
解像度が「1080P HD(HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効です。解像度を「3M」、「720P 60FPS」、「720P 30FPS」のいずれかに設定した場合、レーンキーアシストと前方衝突防止アラートを「ON」に設定していても、お知らせを行いません。

## 映像が記録できない

- カメラユニット用 SD カードが正しく挿入されていますか。
- 保護したファイルでカメラユニット用 SD カードがいっぱいになっていませんか。保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(● P.168)か、カメラユニット用 SD カードをフォーマットする(● P.13) ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、再生モード(● P.166)のファイル選択画面上で  アイコンを表示します。

## レーンキープアシストや前方衝突防止アラートがうまく働かない

- 「レーンキープアシスト」「前方衝突防止アラート」の設定は「ON」になっていますか。(● P.163)
- AS設定を確認してください。  
レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、設定が必要です。「設定メニュー」→「AS設定」から設定を行います。(● P.59「レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う」)  
設定では、本機画面内の白線と道路の白線が重なるように合わせてください。
- GPS測位していましたか。  
レーンキープアシストや前方衝突アラートはGPSを即位した状態で機能します。GPS測位の状態はメッセージウィンドウの時計表示で確認できます。
- 時速60km未満ではないですか。  
一般道は60km以上でレーンキープアシスト機能や前方衝突アラートは作動します。

## イベント記録ファイルが生成されない

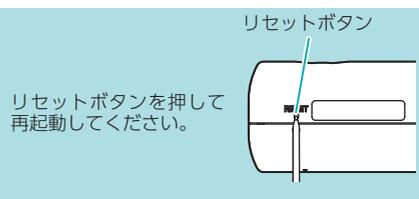
- イベント記録中に電源OFFしていませんか。  
イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合がありますが、再度電源ONすると修復されます。(● P.30「イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)」)
- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。  
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

### ■ リセットボタンについて

画面が固まって  
動かない

ボタンを押しても  
反応しない

こんなときは



リセットボタンを押して  
再起動してください。

動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、カメラユニット下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもカメラユニット用SDカードに記録したデータは消えません。

## 仕様

電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)	
消費電流	待機時：600mA以下(無線OFF時) 最大：700mA以下	
受信方式	[GPS部] 32チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	
測位更新時間	最短0.2秒	
ディスプレイユニット	液晶ディスプレイ ワイド3.0インチ	
受信周波数	[GPS部] 1.6GHz帯	
	[レーダー部] Xバンド / Kバンド	
	[UHF部] 336 ~ 470MHz帯	
	[VHF部] 154 ~ 163MHz帯	
カメラ素子	400万画素カラー CMOS	
視野角 <sup>※1</sup>	レンズ画角：対角144° 最大記録画角：対角135°(120°(水平)、68°(垂直))	
記録解像度	300万画素	
画像サイズ	3M(2304×1296)/1080P HD(1920×1080)/720P(1280×720)	
画質	HDR(ハイダイナミックレンジ) ※[解像度：1080P HD(HDR) 30FPS]	
録画ファイル構成	常時録画：1分単位 イベント記録(ワンタッチ記録、Gセンサー記録)：40秒単位	
カメラユニット用記録媒体	microSDカード(8GB付属)	
記録形式	MOV(H.264)	
フレームレート	3M、1080P HD：30コマ/秒 720P：60、30コマ/秒	
動作温度範囲	ディスプレイユニット：-20℃～+85℃	
	無線部：-10℃～+60℃	
	カメラユニット：0℃～+60℃	
外形寸法	ディスプレイユニット：97(W)×53(H)×14(D)mm	※各ユニット突起部を除く
	カメラユニット：80(W)×35(Φ)mm	
	ジャンクションユニット：49(W)×12(H)×49(D)mm	
	アンテナユニット：61(W)×21(H)×49(D)mm	
重量	ディスプレイユニット：約138g(接続ケーブル、SDカード含む)	
	カメラユニット：約66g(ブラケット含む)	
	ジャンクションユニット：約24g(接続ケーブル含む)	
	アンテナユニット：約108g(接続ケーブル含む)	

※1：解像度により記録される視野角が変化します。  
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。  
なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

・ゾーン30のデータについて

本機で使用している交通規制データは、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC)の交通規制情報を使用しています。

本機で使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、公益財団法人 日本道路交通情報センター (JARTIC)の交通規制情報、株式会社トヨタマップマスターが加工して作成したものを使用しています。

## カメラユニット用 SDカード対応一覧表

※ 本機と付属品以外のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHCカード
容量	8～32GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

### 1. 録画時間の目安

microSDカード容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	約220分	約260分	約280分	約280分	約560分
16GB	約110分	約130分	約140分	約140分	約280分
8GB(付属品)	約55分	約65分	約70分	約70分	約140分

・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

・録画時間は、常時録画とイベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)の全ての録画時間の合計です。

・お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度(● P.162)により録画可能時間は変化します。

### 2. イベント記録の最大記録件数

microSDカード容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	32件	32件	32件	32件	32件
16GB	16件	16件	16件	16件	16件
8GB(付属品)	8件	8件	8件	8件	8件

・最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

## 地図データベースについて

### 背景地図(Top,Middle,Base)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(C)2009-2015 一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2016年3月発行データ使用]
- ・©2016 INCREMENT P CORPORATION

### 詳細背景地図(City)

- ・この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- ・この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- ・この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。(平成12年 養建第1902号)
- ・この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10. 近公. 第34号
- ・この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。(承認番号 15大木建第734号)
- ・この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号 16堀第5417号)
- ・この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- ・この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- ・この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18東デ共041号)
- ・この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)18都市基交 第478号
- ・この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号)指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号)指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
- ・この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号)周防建設第56号 平成18年5月12日承認
- ・この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- ・この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18東温都第174号)
- ・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
- ・この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- ・この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- ・この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- ・この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- ・この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
- ・この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18森政第5-5号)
- ・この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
- ・この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
- ・この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)
- ・この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
- ・この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
- ・この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)
- ・この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)

- ・この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
- ・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-1 平成18年12月5日)
- ・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
- ・この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
- ・この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
- ・この地図の作成に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第360号)
- ・この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
- ・この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
- ・この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
- ・この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
- ・この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
- ・この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
- ・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第404号)
- ・この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号)平21 樽港事第33号
- ・この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。(承認番号)平成21年森計第477号
- ・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平18 林振第497号)
- ・この地図は、東根市長の承認を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
- ・この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の2千5百分の1幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都計第185号
- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
- ・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。(承認番号 平19 林振第246号)
- ・この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23田街第55号
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。(承認番号 平26情使、第74号-55号)
- ・このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成26年12月10日撮影)」を利用して作成したものである。
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平27情使、第199号-55号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平27情使、第308号-55号)

## 道路ネットワーク

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(c)2009-2015 一般財団法人日本デジタル道路地図協会(測量法第44条に基づく成果使用承認)[2016年3月発行データ使用]
- ・©2016 INCREMENT P CORPORATION